

科目名	一般教養Ⅱ（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	土屋 真実（実務経験：全日本空輸株式会社にて 4 年間客室乗務業務に携わる）
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	1 年次に習得した基礎知識を基に、繰り返し問題を解いていく。 また、テストセンターやWEBテスト以外の航空会社独自の筆記試験にも焦点を当て、どの会社の筆記試験にも自信を持って臨むことができるようにする。 並行して、毎日起こる世界中のニュースを積極的に受信し、自らの見解や考えを発言できる力を身につける。講師自身が面接時に実践した話し方、所作も伝えながら、時事の話題を面接でどう伝えるのかを学び、筆記試験のみならず面接の際の対応力も身につける。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. テストセンター復習①（言語） 2. テストセンター復習②（非言語） 3. 業界特有の一般常識（地理、時差、通貨等） 4. WEBテスト復習 5. 時事問題①（最近のニュース等） 6. 中間小テスト 7. 非言語応用問題① 8. 時事問題②（政治、国際関係の基礎知識） 9. 時事問題③（経済、社会問題の基礎知識） 10. 時事問題④（科学、文化の基礎知識） 11. 非言語応用問題② 12. 時事問題⑤（その他の基礎知識）/言語練習問題①（漢字・熟語） 13. 非言語応用③ 14. 時事問題⑤（全分野のまとめ）/言語練習問題②（ことわざ・語の成り立ち） 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	2022 最新版 史上最強 S P I & テストセンター超実戦問題集 CA&グランドスタッフ 筆記試験問題集 7 日間で完全突破
成績評価方法 及び 基準	定期試験の 100 点満点で評価し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で学習した分野の復習は必ず行うこと。 日頃から新聞、ニュース記事を読み、自分なりの見解を持つこと。
履修に 当たっての 留意点	授業内で理解ができなかった点は、積極的に質問をすること。

科目名	一般教養Ⅱ（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	土屋 真実（実務経験：全日本空輸株式会社にて 4 年間客室乗務業務に携わる）
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	これまでの総まとめとして、社会の中で生かすことのできる、より実務に基づいた一般常識を学ぶ。 世の中で起こっている時事問題に関して自身の見解を持ち、自らの言葉で周りに発信していくことができる力を身につける。難しい話題を取り上げる際はグループワークを行い、エアライン業界で最も重要と言われるチームワーク力も同時に養う。グループごとのプレゼンテーションも実施し、相手（お客様）を意識した発言ができる能力も身につける。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 言語問題演習（長文、語の意味） 2. 基本問題演習①（歴史、地理） 3. 非言語問題演習（計算問題、割合、損益） 4. 基本問題演習②（理科、文化、その他） 5. 中間小テスト 6. グループワーク①（決められた時事テーマに沿って話し合い、発表準備） 7. グループワーク②（発表準備続き） 8. グループワーク③（グループごとに発表） 9. グループワーク④（講評、振り返り） 10. レポート①（各自決められた時事テーマの中から任意のテーマを選び、レポート作成） 11. レポート②（レポート仕上げ、提出） 12. 時事演習①（決められた新聞記事等を読み、自分の見解を発表） 13. 時事演習②（決められた新聞記事等を読み、自分の見解を発表） 14. レポート講評/基本問題演習（総合） 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	講師が作成した資料を使用する
成績評価方法 及び 基準	平常点、授業内グループワーク、レポート評価 50 点 卒業試験 50 点の計 100 点満点で評価し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で学習した分野の復習は必ず行うこと。日頃から新聞、ニュース記事を読むこと。
履修に 当たっての 留意点	グループワークでは積極的に意見を出し、主体性を持って行動すること。

科目名	コンピュータ演習Ⅱ（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	矢島 親男（実務経験：なし）
学科・学年	国際エアライン科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	1年次後期に引き続きコンピュータを使用したアプリケーション（Office）のスキルアップ。現場に出てからの、コンピュータスキルとして最低限のことを身につける。 2年次前期は1年次後期から続いている PowerPoint を利用したスライドショーの作成。その後、Excel を利用した表計算およびグラフの作成。関数を理解しながら、プログラミングの基礎を学習する。 パソコン室のコンピュータを利用した演習授業。
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	PowerPoint 1. 表の活用と画像の挿入、ワードアートの挿入、その他の機能 2. 練習問題作成、スライドショー Excel 3. Excel とは、画面構成、表計算ソフトとは① 4. 表計算ソフトとは②、データ入力の基礎、保存と読み込み、ワークシート編集① 5. ワークシート編集②、関数を使った計算式① 6. 関数を使った計算式② 7. 小数点とセルの参照、罫線 8. 行の挿入 9. グラフ① 10. グラフ② 11. 条件判定① 12. 条件判定② 13. 順位付け 14. 検索関数の利用 15. Excel の便利な機能、Web ページを利用した表の作成、Word と Excel の活用
使用テキスト ・教材等	Windows10 対応 30 時間でマスター Office2016（実教出版）
成績評価方法 及び 基準	実習評価（平常点 20 点を含む）の 6 割以上確保を持って合格とする。実習評価は、毎時間内に提出する課題の点数評価の合計点とする。（事前説明後、提出課題の課題点を加味する場合もある）その他、学則に準拠する。
授業時間外 に必要な 学修内容	下欄を参照
履修に 当たっての 留意点	就職活動における公欠であっても、授業は進み、提出課題も進んでいくので、授業を抜けたのなら、登校した日に、直ちに該当授業の課題を進めて提出すること。 課題提出状況により理解度不足であると判断した場合には、実習後または指定期日に補習（実習）を実施することがある。

科目名	英検・TOEIC 対策Ⅱ①（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	松下 和子（実務経験：ECC 外語学院にて英会話及び TOEIC、英検等英語資格試験対策講座の講師歴約 20 年、大手企業、大学での TOEIC、英検、英会話講師歴約 10 年）
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	就職活動をするにあたり、英語力をアピールする際に有効な TOEIC700 点以上の高得点を目指す。各パート毎に得点力アップのための傾向と対策を行い、TOEIC 学習を通して、ビジネスシーンにおける英語運用能力をあげるための文法・語彙・リスニングなどを総合的に学び、英語力の向上をはかる。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. シラバスの確認及び TOEIC 各セクションの攻略法指導 2. Vocabulary、文法、TOEIC 各セクションの攻略法指導及び単語テスト 3. Vocabulary、文法、TOEIC 各セクションの攻略法指導及び単語テスト 4. Vocabulary、文法、TOEIC 各セクションの攻略法指導及び単語テスト 5. Vocabulary、文法、TOEIC 各セクションの攻略法指導及び単語テスト 6. Vocabulary、文法、TOEIC 各セクションの攻略法指導及び単語テスト 7. 実際の TOEIC 問題を解いてみる&解説 8. Vocabulary、文法、TOEIC 各セクションの攻略法指導及び単語テスト 9. Vocabulary、文法、TOEIC 各セクションの攻略法指導及び単語テスト 10. Vocabulary、文法、TOEIC 各セクションの攻略法指導及び単語テスト 11. Vocabulary、文法、TOEIC 各セクションの攻略法指導及び単語テスト 12. Vocabulary、文法、TOEIC 各セクションの攻略法指導及び単語テスト 13. Vocabulary、文法、TOEIC 各セクションの攻略法指導及び単語テスト 14. 総復習 15. 期末テスト
使用テキスト ・教材等	THE TOEIC TEST TRAINER TARGET 780
成績評価方法 及び 基準	期末テスト 50 点、単語テスト 20 点、TOEIC スコアー 20 点、平常点 10 点の計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	単語力習得のための学習を毎日実施すること
履修に 当たっての 留意点	毎レッスンテキスト、ノート、辞書を持参し、積極的に授業に参加すること

科目名	英検・TOEIC 対策Ⅱ①（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	松下 和子（実務経験：ECC 外語学院にて英会話及び TOEIC、英検等英語資格試験対策講座の講師歴約 20 年、大手企業、大学での TOEIC、英検、英会話講師歴約 10 年）
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	就職活動をするにあたり、英語力をアピールする際に有効な TOEIC700 点以上の高得点を目指す。各パート毎に得点力アップのための傾向と対策を行い、TOEIC 学習を通して、ビジネスシーンにおける英語運用能力をあげるための文法・語彙・リスニングなどを総合的に学び、英語力の向上をはかる。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. シラバスの確認及び TOEIC 各セクションの攻略法指導 2. Vocabulary、文法、TOEIC 各セクションの攻略法指導及び単語テスト 3. Vocabulary、文法、TOEIC 各セクションの攻略法指導及び単語テスト 4. Vocabulary、文法、TOEIC 各セクションの攻略法指導及び単語テスト 5. Vocabulary、文法、TOEIC 各セクションの攻略法指導及び単語テスト 6. Vocabulary、文法、TOEIC 各セクションの攻略法指導及び単語テスト 7. 実際の TOEIC 問題を解いてみる&解説 8. Vocabulary、文法、TOEIC 各セクションの攻略法指導及び単語テスト 9. Vocabulary、文法、TOEIC 各セクションの攻略法指導及び単語テスト 10. Vocabulary、文法、TOEIC 各セクションの攻略法指導及び単語テスト 11. Vocabulary、文法、TOEIC 各セクションの攻略法指導及び単語テスト 12. Vocabulary、文法、TOEIC 各セクションの攻略法指導及び単語テスト 13. Vocabulary、文法、TOEIC 各セクションの攻略法指導及び単語テスト 14. 総復習 15. 期末テスト
使用テキスト ・教材等	THE TOEIC TEST TRAINER TARGET 780
成績評価方法 及び 基準	期末テスト 50 点、単語テスト 20 点、TOEIC スコアー 20 点、平常点 10 点の計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	単語力習得のための学習を毎日実施すること
履修に 当たっての 留意点	毎レッスンテキスト、ノート、辞書を持参し、積極的に授業に参加すること

科目名	英検・TOEIC 対策Ⅱ②（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	佐藤 麻希（実務経験：名港海運(株)にて2年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて2年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる）
学科・学年	国際エアライン科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	英検・TOEIC 対策Ⅱは、場面ごとの英語表現・語彙を覚えることで、英語力をはかる目安として様々な業界で活用されている TOEIC テストで、航空業界就職に必要とされる 700 点以上獲得を目指すことを目的とします。 授業の方法としては、問題を解くだけでなく、正解となった理由を引き出すことで、どんな問題にも対応できる力を身につけていきます。（講義）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Listening Part 提案・勧誘・承諾等の語彙と表現を学び、正解を増やす 2. Reading Part 時制問題への対応力をつける 3. Listening Part 相手の意図を確認する表現を学ぶ 4. Reading Part 時を表す副詞節における時制問題への対応力をつける 5. Listening Part 会話の始まりと返答例を学び、正解をふやす 6. Reading Part 助動詞問題を解くコツを学ぶ 7. Listening Part ニュース関連問題への対応力をつける 8. Reading Part フレーズリーディング方法を利用して長文を読む 9. Listening Part 相手に義務を伝える表現を学ぶ 10. Reading Part 代名詞の役割と出題のパターンを知る 11. Listening Part 理由を問う表現を学習する 12. Reading Part 前置詞についての知識を増やす 13. Listening Part 苦情を伝える直接表現と間接表現を学ぶ 14. Reading Part 接続詞の役割と意味を学び、読解力を伸ばす前置詞 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	The TOEIC Test Trainer Target 650
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする 毎回行う単語テストの結果も加味する
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること

科目名	英検・TOEIC 対策Ⅱ②（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	佐藤 麻希（実務経験：名港海運(株)にて 2 年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて 2 年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる）
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	英検・TOEIC 対策Ⅱは、前期に引き続き、場面ごとの英語表現・語彙を覚えることで、英語力をはかる目安として様々な業界で活用されている TOEIC テストで、以前獲得した点数より 100 点以上あげることを目指すことを目的とします。 授業の方法としては、問題を解くだけでなく、正解となった理由を引き出すことで、どんな問題にも対応できる力を身につけていきます。（講義）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Listening Part 道路状況を伝える際の語彙と表現を学び、正解を増やす 2. Reading Part スキャニング技術を身につけて読解スピードをあげる 3. Listening Part Yes/No 疑問文への解答のコツを学ぶ 4. Reading Part 関係代名詞と関係副詞について学ぶ 5. Listening Part 意見を求めたり述べるときの表現を学ぶ 6. Reading Part 分詞構文問題への対応力をつける 7. Listening Part 意見の一致及び不一致を伝える表現を学ぶ 8. Reading Part 仮定法を学び正解を増やす 9. Listening Part 会議の目的や進行状況について素早く理解する力をつける 10. Reading Part スキミング技術について学び、活用できるようにする 11. Listening Part1-4 模試 100 問－解答及び解説 12. Reading Part5-7 模試 100 問－解答及び解説 13. Listening Part1-4 模試 100 問－解答及び解説 14. Reading Part5-7 模試 100 問－解答及び解説 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	The TOEIC Test Trainer Target 650
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする 毎回行う単語テストの結果も加味する
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること

科目名	英検・TOEIC 対策Ⅱ③（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	塩瀬 史子（実務経験：外資系航空会社にて 24 年間乗務。スーパーバイザーとして人材育成やトレーニングのインストラクター、チェックフライト等の業務指導にも携わる）
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	航空業界で活躍するには TOEIC・英検の高レベルが必要不可欠です。航空会社で学んだ経験を活かし、生徒の学習意欲を高められるよう工夫しながら授業を進めます。苦手分野に力を入れることは勿論のこと、語彙力をつけ、空所補充や長文問題、リスニング等のスコアアップに努めます。日常生活において使える英語もしっかり学びます。（講義） 実践形式で練習問題等を多く解き、出題傾向や回答方法、集中力の維持法を練習することで本番に備えます。（演習） 就職活動に必要な英語力をつけ実践で役立つ英語も強化します。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業概要と評価方法の説明。英検・TOEIC について。Greetings and Introduction. 2. Unit-1 Restaurant 3. 復習 確認 4. Unit-2 Department Store 5. 復習 確認 6. Unit-3 Train Station 7. 復習 確認 8. Unit-4 Transportation 9. 復習 確認 10. Unit-5 Post Office 11. 復習 確認 12. Unit-6 Bank 13. 復習 確認 14. Unit-7 Airport 15. 復習 確認
使用テキスト ・教材等	TOEIC L&R Test オールラウンド演習（成美堂） プリント
成績評価方法 及び 基準	期末試験（筆記）：80 点、授業内での演習：20 点、計 100 点満点中 60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語で、テレビ番組、ニュース、映画などを観て発音やスピードに慣れるよう努める。 英字新聞、英語の小説、コラムなどを読むことで文法や読解力を向上させてください。
履修に 当たっての 留意点	目標を持って英検合格、TOEIC のスコアアップを目指すため学習意欲を持って、積極的に授業に参加してください。

科目名	英検・TOEIC 対策Ⅱ③（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	塩瀬 史子（実務経験：外資系航空会社にて 24 年間乗務。スーパーバイザーとして人材育成やトレーニングのインストラクター、チェックフライト等の業務指導に携わる）
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>前期に引き続き、TOEIC のスコアアップを目指します。</p> <p>航空会社で学んだ経験を活かし、生徒の学習意欲を維持できるよう工夫しながら授業を進めます。更に語彙力を高め、語句や表現を習得します。（講義）</p> <p>練習問題を実践形式で解き、集中力をつけていきます。出題パターンや苦手を知ることにより、読む、書く、聞く、話す力を確実にすることを目指し本番に備えます。（演習）</p> <p>海外生活や旅行などに適した教材でもあるので活用させ、就職先で役立つ英語にも力を入れて、知識を増やします。</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期の復習 2. Unit-8 Hotel 3. 復習 確認 4. Unit-9 Hospital 5. 復習 確認 6. Unit-10 Events and Performances 7. 復習 確認 8. Unit-11 College 9. 復習 確認 10. Unit-12 Office 11. 復習 確認 12. Unit-13 Business Trip 13. 復習 確認 14. Unit-14 Sightseeing 15. 復習 確認
使用テキスト ・教材等	TOEIC L&R TEST オールラウンド演習（成美堂） 練習問題プリント
成績評価方法 及び 基準	期末試験（筆記）：80 点、授業内での演習：20 点、計 100 点満点中 60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語で、テレビ番組、ニュース、映画などを観て発音やスピードに慣れるよう努める。 英字新聞、英語の小説、コラムなどを読むことで文法や読解力を向上させてください。
履修に 当たっての 留意点	目標を持って英検合格、TOEIC のスコアアップを目指すため学習意欲を持って、積極的に授業に参加してください。

科目名	英検・TOEIC 対策Ⅱ④（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	土屋 真実（実務経験：全日本空輸株式会社にて 4 年間客室乗務業務に携わる）
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	実践的な英語力の指標となる TOEIC L&R テストの対策授業を行う。リスニングにおいては、シチュエーションや文化的背景を理解しながら英語を聞き取り、自信を持って使いこなすことができる力を身につける。リーディングは、文法、長文読解、語彙力の基礎要素の定着を図り、日常で応用できる総合的な英語力の向上をめざす。また、試験独自の形式、傾向を理解し、戦略を立てて高得点を狙う方法も学ぶ。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、レベルチェック 2. Unit1 Part1~4/Part5~7 時制の理解 3. Unit1 Part1~4/Part5~7 ダブルパッセージ読解 4. Unit2 Part1~4/Part5~7 現在時制の理解 5. Unit2 Part1~4/Part5~7 図表の読み取り 6. Unit3 Part1~4/Part5~7 完了時制の理解 7. Unit3 Part1~4/Part5~7 広告文の読み取り 8. Unit4 Part1~4/Part5~7 仮定法の理解 9. Unit4 Part1~4/Part5~7 図表の読み取り 10. Unit5 Part1~4/Part5~7 不定詞の理解 11. Unit5 Part1~4/Part5~7 トリプルパッセージの読解 12. Unit6 Part1~4/Part5~7 動名詞の理解 13. Unit6 Part1~4/Part5~7 チャットの読み取り 14. Unit1~ Unit6 まとめ 15. リスニングテスト
使用テキスト ・教材等	新訂版 TOEIC L&R テストへようこそ TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ
成績評価方法 及び 基準	単語テスト、期末テストの合計を 100 点満点とし、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	毎回実施する単語テストの予習
履修に 当たっての 留意点	次回の授業内容に必ず目を通してこくこと、毎日英語に触れる機会を作ること

科目名	英検・TOEIC 対策Ⅱ④（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	土屋 真実（実務経験：全日本空輸株式会社にて 4 年間客室乗務業務に携わる）
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	実践的な英語力の指標となる TOEIC L&R テストの対策授業を行う。リスニングにおいては、シチュエーションや文化的背景を理解しながら英語を聞き取ること、リーディングは、文法、長文読解、語彙力の基礎要素の定着を図ることを引き続き実施していく。さらに、後期は演習の回数を増やし、より時間感覚を持ってテストに臨むことができるよう学んでいく。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit7 Part1~4/Part5~7 分詞の理解 2. Unit7 Part1~4/Part5~7 広告文の読み取り 3. Unit8 Part1~4/Part5~7 使役の理解 4. Unit8 Part1~4/Part5~7 チャットの読み取り 5. Unit9 Part1~4/Part5~7 比較の理解 6. Unit9 Part1~4/Part5~7 ダブルパッセージの読解 7. Unit10 Part1~4/Part5~7 不定代名詞の理解 8. Unit10 Part1~4/Part5~7 図表の読み取り 9. Unit11 Part1~4/Part5~7 関係詞の理解 10. Unit11 Part1~4/Part5~7 トリプルパッセージの読解 11. Unit7~Unit11 まとめ 12. TOEIC 問題演習 13. TOEIC 問題演習 14. TOEIC 問題演習 15. リスニングテスト
使用テキスト ・教材等	新訂版 TOEIC L&R テストへようこそ TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ
成績評価方法 及び 基準	単語テスト、期末テストの合計を 100 点満点とし、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	毎回実施する単語テストの予習
履修に 当たっての 留意点	次回の授業内容に必ず目を通してこくこと、毎日英語に触れる機会を作ること

科目名	英文法クリニックⅡ①（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	佐藤 麻希（実務経験：名港海運(株)にて2年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて2年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる）
学科・学年	国際エアライン科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	英文法クリニックは、TOEIC テスト・リーディングパートの5と6に出題される英文法に焦点をあて、各項目の理解を深めつつ実際のテストでの対応力を高めることで、目標スコアを取得することを目的とします。授業の方法としては、問題を解くだけでなく、正解となった理由を引き出すことで、どんな問題にも対応できる力を身につけていきます。 （講義）
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	1. 確認テスト 英文法理解度テストを行い、現在の文法力を知る 2. 品詞① 【名詞】の接尾辞を覚えて品詞問題への対応力を高める 3. 品詞② 【形容詞】の働きと接尾辞を覚えて品詞問題を解くコツを身につける 4. 品詞③ 【副詞】【動名詞】の働きについて理解を深める 5. 比較① 【比較級】について学び、問題パターンを覚える 6. 比較② 【最上級】についての理解を深め、点数アップを目指す 7. 分詞 【現在分詞】と【過去分詞】の違いを理解し、解答のコツを学ぶ 8. 分詞構文① 分詞構文の成り立ちを学ぶ 9. 分詞構文② 分詞構文の構造を理解し出題パターンを覚える 10. 接続詞① 接続詞の役割と意味を覚え、適切な接続詞を選択できるようになる 11. 接続詞② 副詞としての働きをする接続詞について学ぶ 12. 前置詞① 前置詞と接続詞の判別の問題の解答のコツを身につける 13. 小テスト① 第2講から第6講で学んだ文法に関する確認小テスト 14. 小テスト② 第7講から第12講で学んだ文法に関する確認小テスト 15. 前期まとめ
使用テキスト ・教材等	TOEIC L&R TEST 990 点獲得 Part5 & 6 難問模試
成績評価方法 及び 基準	期末試験において100点満点で採点し、60点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること

科目名	英文法クリニックⅡ①（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	佐藤 麻希（実務経験：名港海運(株)にて2年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて2年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる）
学科・学年	国際エアライン科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	前期に引き続き、TOEIC テストによく出題される英文法に焦点をあて、各項目の理解を深めつつ実際のテストでの対応力を高めることで、より高いスコアを取得することを目的とします。授業の方法としては、問題を解くだけでなく、正解となった理由を自ら考え説明できるようにすることで、どんな問題にも対応できる力を身につけていきます。 （講義）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 代名詞 代名詞の働きと語形について理解を深める 2. 関係詞① 【関係代名詞】の働きを覚え、問題への対応力を高める 3. 関係詞② 【関係副詞】の働きを覚え、問題への対応力を高める 4. 関係詞③ 関係詞が出題されたときの解答方法を身につける 5. 時制① 時制を【点】で考えたときの文法について学ぶ 6. 時制② 時制を【線】で考えたときの文法について学ぶ 7. 時制③ 時制問題に取り組み理解を深める 8. 仮定法 仮定法を理解し日常でも活用できるようにする 9. 動詞の形① 【受動態】について学ぶ 10. 動詞の形② 様々な動詞の活用法について理解を深め、対応力をつける 11. 前置詞 TOEIC に頻出の前置詞について再度取り組む 12. 不定詞 英文読解に不可欠な不定詞の働きを学ぶ 13. 小テスト① 第1講から第7講で学んだ文法に関する確認小テスト 14. 小テスト② 第8講から第12講で学んだ文法に関する確認小テスト 15. 後期まとめ
使用テキスト ・教材等	TOEIC L&R TEST 990 点獲得 Part5 & 6 難問模試
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること

科目名	英文法クリニックⅡ②（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	松下 和子（実務経験：ECC 外語学院にて英会話及び TOEIC、英検等英語資格試験対策講座の講師歴約 20 年、大手企業、大学での TOEIC、英検、英会話講師歴約 10 年）
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	あいまいになっている英文法の知識を文法項目毎に確実に理解する。問題を解く際、根拠を持って確実に正解できるように反復練習をしていくことで理解を深め、TOEIC スコアアップにつなげていく
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. シラバスの確認及び文法問題を解いていく 2. ターゲット文法を理解後、問題を解いて解説をしていく 3. ターゲット文法を理解後、問題を解いて解説をしていく 4. ターゲット文法を理解後、問題を解いて解説をしていく 5. ターゲット文法を理解後、問題を解いて解説をしていく 6. TOEIC Part 5 の品詞問題を使って問題に取り組む及び解説 7. TOEIC Part 5 の品詞問題を使って問題に取り組む及び解説 8. TOEIC Part 5 の品詞問題を使って問題に取り組む及び解説 9. TOEIC Part 5 の品詞問題を使って問題に取り組む及び解説 10. TOEIC Part 5 & 6 の品詞問題を使って問題に取り組む及び解説 11. TOEIC Part 5 & 6 の品詞問題を使って問題に取り組む及び解説 12. TOEIC Part 5 & 6 の品詞問題を使って問題に取り組む及び解説 13. TOEIC Part 5 & 6 の模擬試験の実施 14. TOEIC Part 5 & 6 の模擬試験の解説 15. 期末テスト
使用テキスト ・教材等	Essential English Grammar for TOEIC TEST TOEIC TEST 英文法でとこだけ
成績評価方法 及び 基準	期末テスト 50 点、TOEIC スコア 30 点、平常点 20 点の計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	TOEIC 公式問題など実際の問題形式で学習し、適切な時間配分などを身につけ、スコアアップを目指すこと
履修に 当たっての 留意点	毎レッスンテキスト、ノート、辞書を持参し、積極的に授業に参加すること

科目名	英文法クリニックⅡ②（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	松下 和子（実務経験：ECC 外語学院にて英会話及び TOEIC、英検等英語資格試験対策講座の講師歴約 20 年、大手企業、大学での TOEIC、英検、英会話講師歴約 10 年）
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	あいまいになっている英文法の知識を文法項目毎に確実に理解する。問題を解く際、根拠を持って確実に正解できるように反復練習をしていくことで理解を深め、TOEIC スコアアップにつなげていく
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. シラバスの確認及び文法問題を解いていく 2. ターゲット文法を理解後、問題を解いて解説をしていく 3. ターゲット文法を理解後、問題を解いて解説をしていく 4. ターゲット文法を理解後、問題を解いて解説をしていく 5. ターゲット文法を理解後、問題を解いて解説をしていく 6. TOEIC Part 5 の品詞問題を使って問題に取り組む及び解説 7. TOEIC Part 5 の品詞問題を使って問題に取り組む及び解説 8. TOEIC Part 5 の品詞問題を使って問題に取り組む及び解説 9. TOEIC Part 5 の品詞問題を使って問題に取り組む及び解説 10. TOEIC Part 5 & 6 の品詞問題を使って問題に取り組む及び解説 11. TOEIC Part 5 & 6 の品詞問題を使って問題に取り組む及び解説 12. TOEIC Part 5 & 6 の品詞問題を使って問題に取り組む及び解説 13. TOEIC Part 5 & 6 の模擬試験の実施 14. TOEIC Part 5 & 6 の模擬試験の解説 15. 期末テスト
使用テキスト ・教材等	Essential English Grammar for TOEIC TEST TOEIC TEST 英文法でとこだけ
成績評価方法 及び 基準	期末テスト 50 点、TOEIC スコア 30 点、平常点 20 点の計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	TOEIC 公式問題など実際の問題形式で学習し、適切な時間配分などを身につけ、スコアアップを目指すこと
履修に 当たっての 留意点	毎レッスンテキスト、ノート、辞書を持参し、積極的に授業に参加すること

科目名	英文法クリニックⅡ③（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	村田 愛美（実務経験：オーストラリアの商社にて3年間、貿易業務に携わる）
学科・学年	国際エアライン科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	英語4技能（読む・聞く・話す・書く）習得を目指し、TOEIC テストや英検合格に通じる英語力の基礎を固める訓練を行います。習得状況を確認するための小テストを定期的に行い、目標の英検級の合格、及び TOEIC スコア達成を目指します。 また、英文法の基本を確認し、情報を受け取る場合にも、情報を発信する場合にも活用できる確実な英語知識を取得することを目的とします。（講義）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. be 動詞 2. 現在形 3. 過去形 4. 代名詞 5. 練習問題 1 6. 前置詞 7. 進行形 8. 名詞と冠詞 9. 助動詞 10. 練習問題 2 11. 提案と命令 12. 未来系 13. 疑問文と付加疑問文 14. 形容詞 15. 練習問題 2
使用テキスト ・教材等	Essential English Grammar for TOEIC Test TOEIC TEST 英文法出るところだけ！
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に語彙増強に努め、目標の英検級の合格、及び TOEIC スコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかりと暗記すること

科目名	英文法クリニックⅡ③（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	村田 愛美（実務経験：オーストラリアの商社にて3年間、貿易業務に携わる）
学科・学年	国際エアライン科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	英語4技能（読む・聞く・話す・書く）習得を目指し、TOEIC テストや英検合格に通じる英語力の基礎を固める訓練を行います。習得状況を確認するための小テストを定期的に行い、目標の英検級の合格、及び TOEIC スコア達成を目指します。 また、英文法の基本を確認し、情報を受け取る場合にも、情報を発信する場合にも活用できる確実な英語知識を取得することを目的とします。（講義）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 比較 2. 副詞 3. 不定詞 4. 動名詞 5. 練習問題 1 6. 接続詞 7. 受動態 8. 語形 9. 形容詞節 10. 練習問題 2 11. 副詞節 12. 条件説 13. 名詞節 14. 現在完了形 15. 練習問題 3
使用テキスト ・教材等	Essential English Grammar for TOEIC Test TOEIC TEST 英文法出るところだけ！
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に語彙増強に努め、目標の英検級の合格、及び TOEIC スコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかりと暗記すること

科目名	英文法クリニックⅡ④（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	伊東 沙織（実務経験：自分未来きょういく株式会社 英会話スクール NOVA 部門にて、外国人講師採用・指導を含むマネジメント全般を 4 年半）
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	到達目標：TOEIC スコア 650 以上 テキストを使用して ・TOEIC の出題傾向に合わせた文法理解 ・TOEIC の問題演習と解説（主に Part 5, Part 6） を行い、航空業界を目指すのに必要な英語の応募資格を備える。 毎回、授業の内容を復習するホームワークも実施。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	1. TOEIC テストとは Essential English Grammar for TOEIC Test Unit 1 問題の意図を理解する 2. Essential English Grammar for TOEIC Test Unit 1 問題の意図を理解する 3. Essential English Grammar for TOEIC Test Unit 2 品詞 4. Essential English Grammar for TOEIC Test Unit 2 品詞 5. Essential English Grammar for TOEIC Test Unit 2 品詞 6. Essential English Grammar for TOEIC Test Unit 3 比較 7. Essential English Grammar for TOEIC Test Unit 3 比較 8. Essential English Grammar for TOEIC Test Unit 4 分詞 9. Essential English Grammar for TOEIC Test Unit 4 分詞 10. Essential English Grammar for TOEIC Test Unit 5 分詞構文 11. Essential English Grammar for TOEIC Test Unit 5 分詞構文 12. Essential English Grammar for TOEIC Test Unit 6 接続詞 13. Essential English Grammar for TOEIC Test Unit 7 品詞 14. Essential English Grammar for TOEIC Test Unit 7 品詞 15. 総復習
使用テキスト ・教材等	Essential English Grammar for TOEIC Test（南雲堂） TOEIC Test 英文法 出るところだけ！（小石裕子）
成績評価方法 及び 基準	・期末試験の筆記試験を 80 点満点で採点 ・授業時間内に行う小テストの点数を 20 点満点で採点 両方で 100 点満点のうち 60 点以上で合格
授業時間外 に必要な 学修内容	・授業時間内に行う小テストに向けての自主学習 ・TOEIC テストに向けての総合的な演習
履修に 当たっての 留意点	積極的に TOEIC の試験を受験し、航空業界に就職するための応募資格を備える努力を、継続的かつ積極的に行う

科目名	英文法クリニックⅡ④（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	伊東 沙織（実務経験：自分未来きょういく株式会社 英会話スクール NOVA 部門にて、外国人講師採用・指導を含むマネジメント全般を 4 年半）
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	到達目標：TOEIC スコア 650 以上 テキストを使用して ・TOEIC の出題傾向に合わせた文法理解 ・TOEIC の問題演習と解説（主に Part 5, Part 6） を行い、航空業界を目指すのに必要な英語の応募資格を備える。 毎回、授業の内容を復習するホームワークも実施。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	1. Essential English Grammar for TOEIC Test Unit 7 前置詞と組みで使われる表現 2. Essential English Grammar for TOEIC Test Unit 7 前置詞と組みで使われる表現 3. Essential English Grammar for TOEIC Test Unit 8 代名詞 4. Essential English Grammar for TOEIC Test Unit 8 代名詞 5. Essential English Grammar for TOEIC Test Unit 9 関係詞 6. Essential English Grammar for TOEIC Test Unit 9 関係詞 7. Essential English Grammar for TOEIC Test Unit 10 時制 1（点の概念） 8. Essential English Grammar for TOEIC Test Unit 11 時制 2（線の概念） 9. Essential English Grammar for TOEIC Test Unit 10, 11 時制の復習 10. Essential English Grammar for TOEIC Test Unit 12 仮定法 11. Essential English Grammar for TOEIC Test Unit 13 動詞の形 12. Essential English Grammar for TOEIC Test Unit 13 動詞の形 13. Essential English Grammar for TOEIC Test Unit 14 注意すべき前置詞 14. Essential English Grammar for TOEIC Test Unit 15 その他注意すべき英文法事項 15. 総復習
使用テキスト ・教材等	Essential English Grammar for TOEIC Test（南雲堂） TOEIC Test 英文法 出るところだけ！（小石裕子）
成績評価方法 及び 基準	・期末試験の筆記試験を 80 点満点で採点 ・授業時間内に行う小テストの点数を 20 点満点で採点 両方で 100 点満点のうち 60 点以上で合格
授業時間外 に必要な 学修内容	・授業時間内に行う小テストに向けての自主学習 ・TOEIC テストに向けての総合的な演習
履修に 当たっての 留意点	積極的に TOEIC の試験を受験し、航空業界に就職するための応募資格を備える努力を、継続的かつ積極的に行う

科目名	インタビュー&スピーキングⅡ①（前期 30 時間（90 分/コマ））	必修・選択
担当教官	トラチャック・ロレイン（実務経験：なし）	
学科・学年	国際エアライン科 2年	
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their English interview and speaking skills. To achieve this students will study various styles of English interviews and daily speaking abilities. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.	
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction to this class and syllabus explanation. 2. Unit 1 Cherry Blossoms 3. Writing assignment 1 Sightseeing Spots in Japan 4. Unit 1 Are There Any Cherry Trees in Your Neighborhood? 5. Unit 2 Sushi 6. Writing assignment 2 My Favorite Japanese Food 7. Unit 2 Are There Any Good Sushi Restaurants Near Your House 8. Review of first two-units 9. Unit 3 The Great Buddha of Nara 10. Writing assignment 3 Castles and Shrines 11. Unit 3 Have You Ever Seen a Huge Buddha Statue? 12. Unit 4 The Bullet Train 13. Writing assignment 4 My Strengths and Weaknesses 14. Unit 4 Have You Ever Taken a Bullet Train? 15. First semester review and oral examination 	
使用テキスト ・教材等	Speech Navigator 3	
成績評価方法 及び 基準	<ul style="list-style-type: none"> ● Active participation in class ● Completing Assignments in Class ● Oral Examination 	
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.	
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.	

科目名	インタビュー&スピーキングⅡ①（後期 30 時間（90 分/コマ））	必修・選択
担当教官	トラチャック・ロレイン（実務経験：なし）	
学科・学年	国際エアライン科 2年	
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their English interview and speaking skills. To achieve this students will study various styles of English interviews and daily speaking abilities. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.	
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Welcome back and review of syllabus. 2. Unit 5 Tokyo 3. Writing assignment 1 Which big cities in Japan have you lived in or visited 4. Unit 5 Tokyo 5. Unit 6 Convenience stores 6. Writing assignment 2 What do you usually buy at convenience stores 7. Unit 6 Convenience stores 8. Review of Units 5 and 6 9. Unit 7 Paper folding 10. Writing assignment 3 Have you ever done paper folding 11. Unit 7 Paper folding 12. Unit 8 Festivals 13. Writing assignment 4 Have you ever seen any fireworks 14. Unit 8 Festivals 15. Second semester review and preparation for examination 	
使用テキスト ・教材等	Speech Navigator 3	
成績評価方法 及び 基準	<ul style="list-style-type: none"> ● Active participation in class ● Completing Assignments in Class ● Oral Examination 	
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.	
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.	

科目名	インタビュー&スピーキングⅡ②（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	張 紅燕 （実務経験：家庭教師 2 年、河合楽器にて英語講師 2 年、宮崎商事(株)にて通訳 1 年）
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	Be confident to speak. Speech , practice , input+output. Dictation.
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. File1 2. Unit 1 Cherry Blossoms + Vocabulary 3. Test + Vocabulary + Speech 4. Unit 2 Sushi + Vocabulary 5. Test + Vocabulary + Speech 6. Unit 3 The Great Buddha of Nara + Vocabulary 7. Test + Vocabulary + Speech 8. Review (Unit1~Unit3) 9. File2 Unit4 + Vocabulary 10. Unit4 Test + Vocabulary + Speech 11. Review 12. Review File1 + Unit4 13. Speech + Vocabulary + Warm up 14. Speech + Vocabulary + Warm up 15. Speech + Vocabulary + Warm up
使用テキスト ・教材等	Speech Navigator 3
成績評価方法 及び 基準	Test + Dictation + Speech 100 点満点中、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	Shadowing + Dictation + Speech of Ted
履修に 当たっての 留意点	発音に注意する

科目名	インタビュー&スピーキングⅡ②（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	張 紅燕 （実務経験：家庭教師 2 年、河合楽器にて英語講師 2 年、宮崎商事(株)にて通訳 1 年）
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	Be confident to speak. Speech , practice , input+output. Dictation.
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit 5 + Vocabulary 2. Unit5 + Test + Vocabulary 3. Unit 5 + Speech 4. Unit 6 5. Unit6 + Speech + Vocabulary 6. Vocabulary + Test 7. Unit7 8. Unit7 + Speech + Vocabulary 9. Vocabulary + Test 10. Unit8 11. Unit8 + Vocabulary + Speech 12. Project1 + Test 13. Project2 + Test 14. Project3 15. Review + Test + Notebook
使用テキスト ・教材等	Speech Navigator 3
成績評価方法 及び 基準	Test + Dictation + Speech 100 点満点中、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	Shadowing + Dictation + Speech of Ted
履修に 当たっての 留意点	発音に注意する

科目名	インタビュー&スピーキングⅡ③（前期 30 時間（90 分/コマ））	必修・選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル（実務経験：なし）	
学科・学年	国際エアライン科 2年	
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their English interview and speaking skills. To achieve this students will study various styles of English interviews and daily speaking abilities. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.	
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction to this class and syllabus explanation. 2. Unit 1 The place I live 3. Writing assignment 1 My Self-introduction 4. Unit 1 The place I live 5. Unit 2 People around me 6. Writing assignment 2 My hometown 7. Unit 2 People around me 8. Review of first two-units 9. Unit 3 Food 10. Writing assignment 3 My strengths and weaknesses 11. Unit 3 Food 12. Unit 4 Sports 13. Writing assignment 4 My hero someone I admire 14. Unit 4 Sports 15. First semester review and preparation for examination 	
使用テキスト ・教材等	瞬時にわかる英語リスニング大特訓 Speech Navigator 2	
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments in class. There will be an oral assessment and a written examination	
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.	
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.	

科目名	インタビュー&スピーキングⅡ③（後期 30 時間（90 分/コマ））	必修・選択
担当教官	マクミラン・ミッチェル（実務経験：なし）	
学科・学年	国際エアライン科 2年	
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their English interview and speaking skills. To achieve this students will study various styles of English interviews and daily speaking abilities. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.	
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Welcome back and review of syllabus 2. Unit 5 Music 3. Writing assignment 1 My Self-introduction 4. Unit 5 Music 5. Unit 6 Books and movies 6. Writing assignment 2 My hometown 7. Unit 6 Books and movies 8. Review of Units 5 and 6 9. Unit 7 Traveling 10. Writing assignment 3 My strengths and weaknesses 11. Unit 7 Traveling 12. Unit 8 jobs 13. Writing assignment 4 My hero someone I admire 14. Unit 8 Jobs 15. Second semester review and preparation for examination 	
使用テキスト ・教材等	瞬時にわかる英語リスニング大特訓 Speech Navigator 2	
成績評価方法 及び 基準	Active participation in class, completing assignments in class. There will be an oral assessment and a written examination	
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.	
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.	

科目名	インタビュー&スピーキングⅡ④（前期 30 時間（90 分/コマ））	必修・選択
担当教官	山田 美絵（実務経験：英語塾経営 28 年間）	
学科・学年	国際エアライン科 2 年	
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	英語環境での文化交流を想定し、日本の文化を伝えるドリル練習・発表をする。 英語面接の基本スキルを身につける。 （演習）	
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本の文化を伝える（花見） 2. 英語面接（自己紹介） 3. 日本の文化を伝える（食文化） 4. 英語面接（志望動機） 5. 日本の文化を伝える（寺社仏閣） 6. 英語面接（強味・弱み） 7. 現代の日本技術（鉄道） 8. 英語面接（学生生活） 9. 日本の大都市 10. 英語面接（アルバイト） 11. コンビニエンスストア 12. 英語面接（人とのかかわり） 13. 伝統工芸 14. 英語面接（圧迫面接） 15. クラス発表 	
使用テキスト ・教材等	スピーチナビゲーター 3, 英語リスニング大特訓	
成績評価方法 及び 基準	ペアプラクティス、クラス発表、期末テスト、クラスへの参加度により評価。	
授業時間外 に必要な 学修内容	YouTube などの素材を普段から使用して、英語面接に対応できるよう心掛ける。	
履修に 当たっての 留意点	積極的に授業参加し、履修内容を完全に理解するための復習を欠かさないこと。	

科目名	インタビュー&スピーキングⅡ④（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	山田 美絵（実務経験：英語塾経営 28 年間）
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	英語環境での文化交流を想定し、日本の文化を伝えるドリル練習・発表をする。 英語面接の基本スキルを身につける。 （演習）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期総復習 2. 折り紙 3. 英語面接（体験談） 4. 祭り 5. 英語面接（グループディスカッション） 6. 日本の日常生活（学生） 7. 英語面接（グループディスカッション） 8. 日本国内旅行 9. 英語面接（グループディスカッション） 10. マンガ・アニメ 11. 英語面接（グループディスカッション） 12. B級グルメ 13. エンターテインメント 14. テーマパーク 15. クラス発表
使用テキスト ・教材等	スピーチナビゲーター 3, 英語リスニング大特訓
成績評価方法 及び 基準	ペアプラクティス、クラス発表、期末テスト、クラスへの参加度により評価。
授業時間外 に必要な 学修内容	YouTube などの素材を普段から使用して、英語面接に対応できるよう心掛ける。
履修に 当たっての 留意点	積極的に授業参加し、履修内容を完全に理解するための復習を欠かさないこと。

科目名	リーディング&ライティングⅡ①（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	張 紅燕 （実務経験：家庭教師 2 年、河合楽器にて英語講師 2 年、宮崎商事(株)にて通訳 1 年）
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	Firstly, To get high and their ideal scores. Secondly, To improve their oral English as well.
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第 1 回模擬試験 + 単語 → Part 5 2. 第 2 回模擬試験 + 単語 → Part 5 3. 第 2 回 + 第 3 回 → Part 5 4. 第 3 回 + 復習（第 1 回 + 2 回 + 3 回）まとめ , Part 5 5. 第 1 回模擬試験 + 単語 → Part 6 6. 第 2 回模擬試験 + 単語 → Part 6 7. 第 3 回模擬試験 + 単語 → Part 6 8. 第 1 回 + 第 2 回 + 第 3 回 → Part 6 Review 9. 第 1 回 + 第 2 回 + 第 3 回 + 単語テスト + Review + Notebook 10. 第 1 回 → Part 7 + 単語 11. 第 2 回 + Part 7 + 単語 + 同型 12. 第 3 回 + Part 7 + 単語 + 句型 + Test 13. 第 1 回 + 第 2 回 + 第 3 回 + Part 7 + Notebook 14. 第 1 回 + 第 2 回 + 第 3 回 + Notebook + oral English + Reading 15. 全部 Review + Notebook + oral English + Reading
使用テキスト ・教材等	TOEIC L&R テスト
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	Reading（Ted video , BBC , VOA News）
履修に 当たっての 留意点	Ideas + actions + input more , please. Be confident to output.

科目名	リーディング&ライティングⅡ①（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	張 紅燕 （実務経験：家庭教師 2 年、河合楽器にて英語講師 2 年、宮崎商事(株)にて通訳 1 年）
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	Firstly, To get high and their ideal scores. Secondly, To improve their oral English as well.
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Part 5 + Part 6 Review → 第 1 回 2. article + Part 7 → 第 1 回 3. Notebook + article Review 4. article 5. Notebook + article + Review 6. Part 5 + Part 6 Review → 第 2 回 7. article + Part 7 → 第 2 回 8. Notebook + article + Review 9. article 10. Notebook + article + Review 11. article 12. Test + article + Notebook 13. Test + Vocabulary Test + article 14. speech + article + Notebook Reviews 15. speech + 第 3 回 Part 7 + Notebook Review
使用テキスト ・教材等	TOEIC L&R テスト
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	Reading + Vocabulary (Ted video , BBC , VOA web)
履修に 当たっての 留意点	Speaking + Reading + Writing

科目名	リーディング&ライティングⅡ②（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	塩瀬 史子（実務経験：外資系航空会社にて 24 年間乗務。スーパーバイザーとして人材育成やトレーニングのインストラクター、チェックフライト等の業務指導にも携わる）
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	リーディング&ライティングⅡでは TOEIC のみならず日常生活においても、基本的で役立つ英語を取り入れ学習します。 重要な文法、頻出単語、熟語などを様々な分野の文章読解力をつけ、書く力も高めます。（講義） 実践形式をとって多くの過去問題や練習問題に取り組み、集中力をつけて TOEIC のスコアを伸ばせるよう工夫していきます。（演習）就職活動が本格的になる時期、確実な英語力で目標スコアを実現させます。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	1. 授業概要と評価の説明、自己紹介、挨拶 理解度チェック 2. 第一回 模擬試験 Part 5 3. Part 5 練習問題 4. 第一回 模擬試験 Part 6 5. Part 6 練習問題 6. 第一回 模擬試験 Part 7 7. Part 7 練習問題 8. 第一回 まとめ 9. 第二回 模擬試験 Part 5 10. Part 5 練習問題 11. 第二回 模擬試験 Part 6 12. Part 6 練習問題 13. 第二回 模擬試験 Part 7 14. Part 7 練習問題 15. 第二回 まとめ
使用テキスト ・教材等	スコアが上がる TOEIC L&R テスト本番模試 600 問 改訂版（旺文社） 練習問題プリント
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 80 点満点、授業内での Quiz や単語テスト 20 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に文法を意識し、文章の作成や会話が出来るように努力する。また、疑問に思うことは納得するまで調べる。日常生活において使えるフレーズをしっかりと覚え使ってみる。
履修に 当たっての 留意点	意識を高く持ち授業に参加することは勿論、苦手な部分を克服し前向きに学習すること。

科目名	リーディング&ライティングⅡ②（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	塩瀬 史子（実務経験：外資系航空会社にて 24 年間乗務。スーパーバイザーとして人材育成やトレーニングのインストラクター、チェックフライト等の業務指導にも携わる）
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>前期に引き続き TOEIC のスコアアップを目指します。 生徒の学習意欲を維持できるよう工夫しながら授業を進めます。 更に語彙力を高め、語句や表現を習得します。（講義）</p> <p>多くの問題を解くことで出題パターンや苦手を知ることにより、読む、書く、聞く、話す力を確実につけることを目指し、出題傾向や回答方法などを練習することで本番に備えます。（演習）</p> <p>就職先で役立つ英語にも力を入れて、知識を増やします。</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期の復習 2. 第三回 模擬試験 Part 5 3. Part 5 練習問題 4. 第三回 模擬試験 Part 6 5. Part 6 練習問題 6. 第三回 模擬試験 Part 7 7. Part 7 練習問題 8. 練習問題（Part 5.6.7 復習） 9. 練習問題（リーディング強化） 10. 練習問題（ライティング強化） 11. 練習問題（就職先で役立つ英語） 12. 練習問題 13. 後期まとめ 14. 一年間のまとめ 15. 一年間のまとめ
使用テキスト ・教材等	スコアが上がる TOEIC L&R テスト本番模試 600 問 改訂版（旺文社） 練習問題プリント
成績評価方法 及び 基準	期末試験（筆記）：80 点、授業内での演習：20 点、計 100 点満点中 60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語で、テレビ番組、ニュース、映画などを観て発音やスピードに慣れるよう努める。 英字新聞、英語の小説、コラムなどを読むことで文法や読解力を向上させてください。
履修に 当たっての 留意点	TOEIC のスコアアップを目指すため学習意欲を持って、積極的に授業に参加してください。

科目名	リーディング&ライティングⅡ③（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	佐藤 麻希（実務経験：名港海運(株)にて2年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて2年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる）
学科・学年	国際エアライン科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	リーディング&ライティングⅡは、TOEIC リーディング Part 7 長文問題を、時間を意識しながら解答することと、決められた時間内にひとつでも多くの問題を解けるような力をつけることを目標にします。そのための語彙力アップは必須のため、毎回の授業で語彙テストを実施します。そして、問題出題の傾向を学び、それぞれの問題の解法のコツ・ヒントを身につけることで、英語力をはかる目安として様々な業界で活用されている TOEIC テストにおいて、航空業界就職に必要とされる 650 点獲得を目指すことを目的とします。授業の方法としては、TOEIC 問題に取り組みながら音読も行い、接客業に必要な英語の基礎能力を身につけていきます。（講義）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. スラッシュリーディングの方法を学ぶ 2. テスト1：広告、チャット、メッセージ問題に取り組む 3. テスト1：レビュー、インフォメーション、広告問題に取り組む 4. テスト1：ウェブページ、レター、チャット問題に取り組む 5. テスト1：レター、記事&メモ、ダブルレター問題に取り組む 6. テスト1：レター&メール&図面問題に取り組む 7. テスト1：広告&チャット&メール問題に取り組む 8. テスト1：広告&ダブルメール問題に取り組む 9. テスト1：第2講から8講までの復習 10. テスト2：ポストカード、チャット、お知らせ問題に取り組む 11. テスト2：レター、記事、旅程表問題に取り組む 12. テスト2：チャット、メール、インフォメーション問題に取り組む 13. テスト2：記事、アンケート&レポート問題に取り組む 14. テスト2：プレスリリース&メール問題に取り組む 15. テスト2：第10講から14講までの復習
使用テキスト ・教材等	スコアが上がる TOEIC L&R テスト本番模試 600 問改訂版
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。 また、授業内で行う単語テストの結果も加味する。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと。
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること。

科目名	リーディング&ライティングⅡ③（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	佐藤 麻希（実務経験：名港海運(株)にて2年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて2年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる）
学科・学年	国際エアライン科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	リーディング&ライティングⅡは、前期で身につけた知識と語彙力を駆使し、TOEICリーディング Part 7 長文問題の正解率をあげることを目標にします。そのための語彙力アップは必須のため、後期も毎回の授業で語彙テストを実施します。そして、問題出題の傾向を学び、それぞれの問題の解法のコツ・ヒントを身につけることで、英語力をはかる目安として様々な業界で活用されている TOEIC テストにおいて、前期より、より良い点数を獲得することを目的とします。 授業の方法としては、TOEIC 問題に取り組みながら音読も行い、接客業に必要な英語の基礎能力を身につけていきます。（講義）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. テスト 2：リスト&スケジュール&メール問題に取り組む 2. テスト 2：商品説明&レビュー&返信問題に取り組む 3. テスト 2：お知らせ&メール&記事問題に取り組む 4. 第 1 講から 3 講までの復習 5. テスト 3：請求書、アナウンス、広告問題に取り組む 6. テスト 3：クーポン、チャット、登録カード問題に取り組む 7. テスト 3：記事、チャット、お知らせ問題に取り組む 8. テスト 3：メール、お知らせ&メール問題に取り組む 9. テスト 3：広告&ブックレビュー問題に取り組む 10. テスト 3：パンフレット&用紙&メール問題に取り組む 11. テスト 3：記事&メール&テキストメッセージ問題に取り組む 12. テスト 3：ダブルメール&用紙問題に取り組む 13. 第 5 講から 12 講までの復習 14. 公式問題集 8 の Part 7 に取り組む 15. 第 14 講の解答と解説を行う
使用テキスト ・教材等	スコアが上がる TOEIC L&R テスト本番模試 600 問改訂版
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。 また、授業内で行う単語テストの結果も加味する。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと。
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること。

科目名	リーディング&ライティングⅡ④（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	村田 愛美（実務経験：オーストラリアの商社にて3年間、貿易業務に携わる）
学科・学年	国際エアライン科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	英文の基本構造を理解し、平易でありかつまとまりのある文章を書く能力を養成することを目的とする。また、英語のパラグラフのしくみを理解した上で、自分の考えを論理的で独立性の高い文にまとめる演習を行う。それらを通して語彙や文法の定着を図り、ライティングやスピーキングにも活かせる様々な英語表現を習得する。また、その技能を TOEIC スコアアップに繋げる訓練を行う。（講義）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現在形 2. TOEIC Part 1 対策 3. 過去形 4. TOEIC Part 2 対策 5. 未来系 6. TOEIC Part 3 対策 7. 進行形 8. TOEIC Part 4 対策 9. 完了形 10. TOEIC Part 5 対策 11. 助動詞 12. TOEIC Part 6 対策 13. 動詞 14. TOEIC Part 7 対策 15. Review
使用テキスト ・教材等	スコアが上がる TOEIC L&R テスト本番模試 600 問 改訂版
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に語彙増強に努め、目標の英検級の合格、及び TOEIC スコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかりと暗記すること

科目名	リーディング&ライティングⅡ④（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	村田 愛美（実務経験：オーストラリアの商社にて3年間、貿易業務に携わる）
学科・学年	国際エアライン科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	英文の基本構造を理解し、平易でありかつまとまりのある文章を書く能力を養成することを目的とする。また、英語のパラグラフのしくみを理解した上で、自分の考えを論理的で独立性の高い文にまとめる演習を行う。それらを通して語彙や文法の定着を図り、ライティングやスピーキングにも活かせる様々な英語表現を習得する。また、その技能を TOEIC スコアアップに繋げる訓練を行う。（講義）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 形容詞 2. TOEIC Part 1 対策 3. 副詞 4. TOEIC Part 2 対策 5. 前置詞 6. TOEIC Part 3 対策 7. 接続詞 8. TOEIC Part 4 対策 9. 関係詞 10. TOEIC Part 5 対策 11. 比較 12. TOEIC Part 6 対策 13. 仮定法 14. TOEIC Part 7 対策 15. Review
使用テキスト ・教材等	スコアが上がる TOEIC L&R テスト本番模試 600 問 改訂版
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に語彙増強に努め、目標の英検級の合格、及び TOEIC スコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかりと暗記すること

科目名	リスニング演習Ⅱ①（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	ジョナサン・サリッシュ（実務経験：英会話教師 12 年間）
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	In this class, students will work on improving their listening ability through mock tests and various exercises.
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Mock Test 1 - 1 2. Mock Test 1 - 2 3. Mock Test 1 - 3 4. Mock Test 1 - 4 5. Mock Test 1 - 5 6. Mock Test 1 - 6 7. Mock Test 1 - 7 8. Mock Test 2 - 1 9. Mock Test 2 - 2 10. Mock Test 2 - 3 11. Mock Test 2 - 4 12. Mock Test 2 - 5 13. Mock Test 2 - 6 14. Mock Test 2 - 7 15. 1st term review
使用テキスト ・教材等	スコアが上がる TOEIC L&R テスト本番模試 600 問
成績評価方法 及び 基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 20 points for classwork ● 80 points for final examination ● 100 points total for the course (over 60 to pass)
授業時間外 に必要な 学修内容	Reviewing words that we've gone over in class and listening practice through social media.
履修に 当たっての 留意点	The language in TOEIC is difficult, but with effort, you can improve greatly in a short time.

科目名	リスニング演習Ⅱ①（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	ジョナサン・サリッシュ（実務経験：英会話教師 12 年間）
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	In this class, students will work on improving their listening ability through mock tests and various exercises.
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Mock Test 3 - 1 2. Mock Test 3 - 2 3. Mock Test 3 - 3 4. Mock Test 3 - 4 5. Mock Test 3 - 5 6. Mock Test 3 - 6 7. Mock Test 3 - 7 8. Extra Listening and TOEIC review 1 9. Extra Listening and TOEIC review 2 10. Extra Listening and TOEIC review 3 11. Extra Listening and TOEIC review 4 12. Extra Listening and TOEIC review 5 13. Extra Listening and TOEIC review 6 14. Extra Listening and TOEIC review 7 15. 2nd term review
使用テキスト ・教材等	スコアが上がる TOEIC L&R テスト本番模試 600 問
成績評価方法 及び 基準	<ul style="list-style-type: none"> • 20 points for classwork • 80 points for final examination • 100 points total for the course (over 60 to pass)
授業時間外 に必要な 学修内容	Reviewing words that we've gone over in class and listening practice through social media.
履修に 当たっての 留意点	The language in TOEIC is difficult, but with effort, you can improve greatly in a short time.

科目名	リスニング演習Ⅱ②（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	トラチャック・ロレイン（実務経験：なし）
学科・学年	国際エアライン科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	In this class, students will work on improving their listening ability through mock tests and various exercises.
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Mock Test 1 - 1 2. Mock Test 1 - 2 3. Mock Test 1 - 3 4. Mock Test 1 - 4 5. Mock Test 1 - 5 6. Mock Test 1 - 6 7. Mock Test 1 - 7 8. Mock Test 2 - 1 9. Mock Test 2 - 2 10. Mock Test 2 - 3 11. Mock Test 2 - 4 12. Mock Test 2 - 5 13. Mock Test 2 - 6 14. Mock Test 2 - 7 15. 1st term review
使用テキスト ・教材等	スコアが上がる TOEIC L&R テスト本番模試 600 問
成績評価方法 及び 基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 20 points for classwork ● 80 points for final examination ● 100 points total for the course (over 60 to pass)
授業時間外 に必要な 学修内容	Reviewing words that we've gone over in class and listening practice through social media.
履修に 当たっての 留意点	The language in TOEIC is difficult, but with effort, you can improve greatly in a short time.

科目名	リスニング演習Ⅱ②（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	トラチャック・ロレイン（実務経験：なし）
学科・学年	国際エアライン科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	In this class, students will work on improving their listening ability through mock tests and various exercises.
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Mock Test 3 - 1 2. Mock Test 3 - 2 3. Mock Test 3 - 3 4. Mock Test 3 - 4 5. Mock Test 3 - 5 6. Mock Test 3 - 6 7. Mock Test 3 - 7 8. Extra Listening and TOEIC review 1 9. Extra Listening and TOEIC review 2 10. Extra Listening and TOEIC review 3 11. Extra Listening and TOEIC review 4 12. Extra Listening and TOEIC review 5 13. Extra Listening and TOEIC review 6 14. Extra Listening and TOEIC review 7 15. 2nd term review
使用テキスト ・教材等	スコアが上がる TOEIC L&R テスト本番模試 600 問
成績評価方法 及び 基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 50 points for classwork ● 50 points for final examination ● 100 points total for the course (over 60 to pass)
授業時間外 に必要な 学修内容	Reviewing words that we've gone over in class and listening practice through social media.
履修に 当たっての 留意点	The language in TOEIC is difficult, but with effort, you can improve greatly in a short time.

科目名	リスニング演習Ⅱ③（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	八神 光子（実務経験：国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳）
学科・学年	国際エアライン科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	TOEIC の形式、特徴を各パートで確実に攻略できるように問題形式に慣れ、回答能力を高めていく勉強をします。 繰り返しリスニング演習することで目標スコアを達成し、更なる英語力を身につけていくことを目標にします。（演習）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. TOEIC のリスニングの勉強法とは？ Part 1 から Part 4 までの説明 2. Part 1 の単語、ing の形 など特徴と説明 3. 第一回模擬試験 Part 1 演習 スクリプトを見て説明 4. Part 1 の復習 人をよく観察しよう 5. Part 2 の会話の特色、説明（疑問詞） 6. 第一回模擬試験 Part 2 演習 7. Part 2 スクリプトを見て説明 8. Part 2 の復習 よく出る単語チェック 9. 第一回模擬試験 Part 3 の特徴、説明 10. Part 3 演習 11. Part 3 スクリプトを見て説明 12. 第一回模擬試験 Part 4 演習 13. Part 4 特徴、説明 14. Part 4 スクリプトを見て説明 15. 第二回模擬試験 Part 1 and Part 2 演習
使用テキスト ・教材等	スコアが上がる TOEIC L&R テスト本番模擬 600 問
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、熟語テスト 20 点と、 学年（前期、後期）筆記試験、事前リスニング試験 80 点で合計 100 点とし、 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	TOEIC に出てくる単語、熟語の習得、及びリスニング力アップを各自で行う。 たとえば NHK 英語プログラムなどを聞いたり、映画のサブタイトルをなしで見てみる、 歌の歌詞を見ながら音に慣れるなどをすること。
履修に 当たっての 留意点	TOEIC テストを必ず受け、自分の今の実力を確認しながら、苦手な分野の勉強における アドバイスを受ける。授業中積極的に質問すること。

科目名	リスニング演習Ⅱ③（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	八神 光子（実務経験：国際センター、ライオンズ、ロータリークラブなどの通訳、翻訳）
学科・学年	国際エアライン科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	TOEIC の形式、特徴を各パートで確実に攻略できるように問題形式に慣れ、回答能力を高めていく勉強をします。 繰り返しリスニング演習することで目標スコアを達成し、更なる英語力を身につけていくことを目標にします。（演習）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第二回模擬試験 Part 1 Part 2 スクリプトを見て説明 単語テスト 2. 第二回模擬試験 Part 3 演習 3. 第二回模擬試験 Part 3 スクリプトを見て説明 単語、フレーズ説明 4. Part 3 単語、フレーズテスト 5. 第二回模擬試験 Part 4 演習 6. Part 4 スクリプトを見て説明 7. Part 4 単語、フレーズテスト 8. 第三回模擬試験 Part 1, Part 2 演習 9. Part 1, Part 2 スクリプトを見て説明 単語、フレーズテスト 10. 第三回模擬試験 Part 3 演習 11. Part 3 スクリプトを見て説明 単語、フレーズテスト 12. 第三回模擬試験 Part 4 演習 13. Part 4 スクリプトを見て説明 単語、フレーズテスト 14. TOEIC 模擬試験 15. TOEIC 模擬試験
使用テキスト ・教材等	スコアが上がる TOEIC L&R テスト本番模擬 600 問
成績評価方法 及び 基準	授業中に実施される単語、熟語テスト 20 点と、 学年（前期、後期）筆記試験、事前リスニング試験 80 点で合計 100 点とし、 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	TOEIC に出てくる単語、熟語の習得、及びリスニング力アップを各自で行う。 たとえば NHK 英語プログラムなどを聞いたり、映画のサブタイトルをなしで見てみる、 歌の歌詞を見ながら音に慣れるなどをすること。
履修に 当たっての 留意点	TOEIC テストを必ず受け、自分の今の実力を確認しながら、苦手な分野の勉強における アドバイスを受ける。授業中積極的に質問すること。

科目名	リスニング演習Ⅱ④（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	大八木 香織（実務経験：名古屋国際サービス株式会社にて3年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。）
学科・学年	国際エアライン科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<ul style="list-style-type: none"> ・ TOEIC リスニングパートについての出題形式、傾向を解説。 ・ TOEIC のリスニングパートの解法テクニックを身につける。 ・ 英語の音声に慣れ、英文を「意味のあるかたまり」としてとらえ、TOEIC で使われる状況をイメージできるようにする。（講義）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1回模擬試験 Part 1 写真描写問題についてのポイント・動作表現 2. 第1回模擬試験 Part 2 応答問題のポイント・疑問詞を使った疑問文 3. 第1回模擬試験 Part 3 会話問題のポイント 4. 第1回模擬試験 Part 3 会話問題頻出表現 5. 第1回模擬試験 Part 4 説明文問題のポイント 6. 第1回模擬試験 Part 4 説明文問題（留守番電話メッセージ） 7. 第1回模擬試験 単語まとめテスト 8. 第1回模擬試験 熟語・フレーズまとめテスト 9. 第2回模擬試験 Part 1 人、物、位置、状態を表す表現 10. 第2回模擬試験 Part 2 提案・依頼・申し出の表現 11. 第2回模擬試験 Part 3 店・電話での会話 12. 第2回模擬試験 Part 3 会社内での会話 13. 第2回模擬試験 Part 4 ガイドツアー 14. 第2回模擬試験 Part 4 宣伝 15. 前期末試験
使用テキスト ・教材等	スコアが上がる TOEIC L&R テスト本番模試 600 問
成績評価方法 及び 基準	期末試験：80 点、授業参加内容・課題、小テスト等：20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後にはスクリプトの音読シャドーイングを必ず行う。 授業外でも英語を積極的に聴く機会を作る（できるだけスクリプトがあるもので聞こえる音と文字を確認する）。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。授業中は積極的に声を出して練習する。

科目名	リスニング演習Ⅱ④（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	大八木 香織（実務経験：名古屋国際サービス株式会社にて3年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。）
学科・学年	国際エアライン科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<ul style="list-style-type: none"> ・ TOEIC リスニングパートについての出題形式、傾向を解説。 ・ TOEIC のリスニングパートの解法テクニックを身につける。 ・ 英語の音声に慣れ、英文を「意味のあるかたまり」としてとらえ、TOEIC で使われる状況をイメージできるようにする。（講義）
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第2回模擬試験 単語まとめテスト 2. 第2回模擬試験 熟語・フレーズまとめテスト 3. 第3回模擬試験 Part 1 4. 第3回模擬試験 Part 2 選択疑問文とステートメント 5. 第3回模擬試験 Part 2 Yes/No 疑問文 6. 第3回模擬試験 Part 3 オフィスでの会話（3人の会話・意図を問うもの） 7. 第3回模擬試験 Part 3 図表に関する会話 8. 第3回模擬試験 Part 4 留守番電話のメッセージ・アナウンス・ニュース 9. 第3回模擬試験 Part 4 トーク・スピーチ 10. 第3回模擬試験 Part 4 図表に関する問題 11. 第3回模擬試験 単語まとめテスト 12. 第3回模擬試験 熟語・フレーズテスト 13. リスニングパートで高得点をとるコツ 14. 問題ジャンルと先読みについて 15. 後期末試験
使用テキスト ・教材等	スコアが上がる TOEIC L&R テスト本番模試 600 問
成績評価方法 及び 基準	期末試験：80 点、授業参加内容・課題、小テスト等：20 点 計 100 点満点 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後にはスクリプトの音読シャドーイングを必ず行う。 授業外でも英語を積極的に聴く機会を作る（できるだけスクリプトがあるもので聞こえる音と文字を確認する）。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。授業中は積極的に声を出して練習する。

科目名	接客マナーⅡ（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	中根 美沙（実務経験：北海道国際航空(株)、(株)エアージャパン とともに客室乗務職）
学科・学年	国際エアライン科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	グランドスタッフ・客室乗務員・空港スタッフなど、エアライン業界を中心とした接客業を志す学生たちが、現場に出た際に役立つ社会人としてのマナーを身に付けることを目的とする。特に接客をする人間として、相手の立場に立った考え方や行動が出来るように学習を進めていく。二年生は、これから控える就職活動、そして社会人への準備を完了する為に言葉遣い・マナー・接遇・立居振る舞いを完璧に磨き上げる。 授業は主に秘書検定のテキストを使用し、社会人として必要な資質やビジネスマナーを学ぶ。また、問題集を解きながら学びが自分のものとなるようにし、秘書検定2級・準1級の取得を目指す。（講義）
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人としての意識と求められる資質について（自らの考えを持ち話し合う） 2. 社会人に必要な7つの心がけと仕事に取り組む姿勢について 3. 敬語の復習と応用（ケーススタディで正しい敬語を身に付ける） 4. 大人が使いたい慣用句と四字熟語の意味と使い方（問題を解いてみよう） 5. 社会人が使うビジネス外来語（実際に使われている場面を見つけてみよう） 6. 人間関係を良好に保つ話し方と言葉遣い 7. 時事用語と略語 8. カタカナ用語と航空業界で役に立つ業界用語 9. 用語の復習と確認問題 10. 受発信業務と秘文書の取扱いについて 11. ビジネスメールのマナー 12. 電話対応と来客対応について①（マナーと基本のルールを理解する） 13. 電話対応と来客対応について②（ケーススタディで理解を深める） 14. 受付とご案内の基本（廊下・階段での誘導、エレベーター、ドアの開閉） 15. 前期のまとめと問題演習
使用テキスト ・教材等	秘書検定2級よく出る問題！集中レッスン、秘書検定実問題集2級
成績評価方法 及び 基準	筆記試験において60%以上正解で合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	正しく美しい日本語が身に付くよう、日頃から言葉遣いや敬語の使い方に注意しながら話すよう心掛けること。普段の生活でマナーを活かせるよう意識して過ごすこと。
履修に 当たっての 留意点	ホスピタリティマインドが必要とされるエアライン業界を常に意識し、相手の立場に立つて物事を捉え、行動できるようにすること。

科目名	接客マナーⅡ（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	中根 美沙（実務経験：北海道国際航空(株)、(株)エアーアジア ともに客室乗務職）
学科・学年	国際エアライン科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>グランドスタッフ・客室乗務員・空港スタッフなど、エアライン業界を中心とした接客業を志す学生たちが、現場に出た際に役立つ社会人としてのマナーを身に付けることを目的とする。特に接客をする人間として、相手の立場に立った考え方や行動が出来るように学習を進めていく。二年生は就職活動、そして社会人への準備を完了する為に言葉遣い・マナー・接遇・立居振る舞いを完璧に磨き上げる。</p> <p>授業は主に秘書検定のテキストを使用し、社会人として必要な資質やビジネスマナーを学ぶ。また、問題集を解きながら学びが自分のものとなるようにし、秘書検定2級・準1級の取得を目指す。（講義）</p>
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 西洋料理のマナーについて（着席時とテーブルマナーについて） 2. ビュッフェ、コース料理のマナーとテーブルセッティングについて 3. 和食のマナーについて（お箸のマナーと食事中のタブー） 4. パーティの種類とドレスコードについて 5. 茶菓のマナー（ロールプレイング含む） 6. 食事のマナーについての復習と確認問題 7. グループワーク（PDCA サイクルについて学ぶ） 8. 名刺交換時のマナーと名刺管理について 9. 資料の整理とファイリングについて 10. コンピューターとインターネット用語 11. 会議・会合の基礎知識と会議用語について 12. 会議の準備と会場の設営（ケーススタディ） 13. ビジネスマナー全般のおさらい 14. 後期のまとめと問題演習 15. 一年間の総復習
使用テキスト ・教材等	秘書検定2級よく出る問題！集中レッスン、秘書検定実問題集2級
成績評価方法 及び 基準	筆記試験において60%以上正解で合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	正しく美しい日本語が身に付くよう、日頃から言葉遣いや敬語の使い方に注意しながら話すよう心掛けること。普段の生活でマナーを活かせるよう意識して過ごすこと。
履修に 当たっての 留意点	ホスピタリティマインドが必要とされるエアライン業界を常に意識し、相手の立場に立つて物事を捉え、行動できるようにすること。

科目名	プレゼンテーションⅡ①（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	伊東 沙織（実務経験：自分未来きょういく株式会社 英会話スクール NOVA 部門にて、外国人講師採用・指導を含むマネジメント全般を 4 年半）
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	客室乗務員・グランドスタッフなどの採用面接に備え、自身を魅力的に素敵に表現できるようにトレーニングを行う。接客に必要な立ち居振る舞いや好感のある第一印象を身に付けるとともに、自分の考え方を自分の言葉で表現できる姿を目指す。自身の生き方にも目を向け、ルール（自分との約束）を定めることで豊かな人生になるヒントを得る。また、世の中の出来事や常識についても知見を広げ、深みのある考え方を身に付ける。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己 PR（接客の 5 原則を意識して 1 分間） 2. 志望動機（接客の 5 原則を意識して 1 分間） 3. 自己 PR+志望動機（接客の 5 原則を意識して 1 分間） 4. 自分を素敵に語る（長所・短所） 5. 自分を素敵に語る（経験・長く続けてきたこと） 6. 自分を素敵に語る（目標・なりたい人物像） 7. 自分を素敵に語る（趣味・好きなこと） 8. チームワークについて考える 9. 5 年後・10 年後のビジョンについて 10. ポジティブな言葉・パワーワード 11. 前期末試験（事前実施）模擬面接（録画） 12. 模擬面接録画フィードバック① 13. 模擬面接録画フィードバック② 14. 表現力を磨こう（面接ブラッシュアップ） 15. 前期まとめ
使用テキスト ・教材等	担当者が作成した資料、パワーポイント
成績評価方法 及び 基準	実技試験による評価：100 点満点で評価し、60 点以上を合格とする。 （定期試験 80 点、平常授業 20 点）
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の生活において、いつも頭で考えることを意識する。 自分の経験を具体的にまとめておく。世の中の出来事や常識に目を向ける。
履修に 当たっての 留意点	感じの良い表情・話し方・立ち居振る舞いを心がけ、積極的に発言する。

科目名	プレゼンテーションⅡ①（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	伊東 沙織（実務経験：自分未来きょういく株式会社 英会話スクール NOVA 部門にて、外国人講師採用・指導を含むマネジメント全般を 4 年半）
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	客室乗務員・グランドスタッフなどの採用面接に備え、自身を魅力的に素敵に表現できるようにトレーニングを行う。接客に必要な立ち居振る舞いや好感のある第一印象を身に付けるとともに、自分の考え方を自分の言葉で表現できる姿を目指す。自身の生き方にも目を向け、ルール（自分との約束）を定めることで豊かな人生になるヒントを得る。また、世の中の出来事や常識についても知見を広げ、深みのある考え方を身に付ける。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 働き方と仕事の適性を考える 2. 接客サービスについて考える 3. グループワーク① デジタル×接客（発表） 4. グループワーク② 商品企画・PR（発表） 5. トーク力を磨こう（働くうえで大切にしたいこと） 6. トーク力を磨こう（どんな新入社員をめざすか） 7. トーク力を磨こう（キャリアビジョンについて考える） 8. 面接力ブラッシュアップ（もっと素敵にナチュラルに） 9. 面接力ブラッシュアップ（インテリジェンスを磨こう） 10. 卒業試験（事前実施）模擬面接（録画） 11. 模擬面接録画フィードバック 12. 模擬面接録画フィードバック 13. 人生のセブンルール① 豊かな人生のためのルールを考える 14. 人生のセブンルール② プレゼンテーション&フィードバック 15. 人生のセブンルール③ プレゼンテーション&フィードバック
使用テキスト ・教材等	担当者が作成した資料、パワーポイント
成績評価方法 及び 基準	実技試験による評価：100 点満点で評価し、60 点以上を合格とする。 （定期試験 80 点、平常授業 20 点）
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の生活において、いつも頭で考えることを意識する。 自分の経験を具体的にまとめておく。世の中の出来事や常識に目を向ける。
履修に 当たっての 留意点	感じの良い表情・話し方・立ち居振る舞いを心がけ、積極的に発言する。

科目名	プレゼンテーションⅡ②（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	加藤 舞（実務経験：株式会社ドリームスカイ名古屋にて7年間グランドスタッフ業務に携わる）
学科・学年	国際エアライン科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	客室乗務員・グランドスタッフなどの採用面接に備え、自身を魅力的に素敵に表現できるようにトレーニングを行う。接客に必要な立ち居振る舞いや好感のある第一印象を身に付けるとともに、自分の考え方を自分の言葉で表現できる姿を目指す。自身の生き方にも目を向け、ルール（自分との約束）を定めることで豊かな人生になるヒントを得る。また、世の中の出来事や常識についても知見を広げ、深みのある考え方を身に付ける。
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己 PR（接客の5原則を意識して1分間） 2. 志望動機（接客の5原則を意識して1分間） 3. 自己 PR+志望動機（接客の5原則を意識して1分間） 4. 自分を素敵に語る（長所・短所） 5. 自分を素敵に語る（経験・長く続けてきたこと） 6. 自分を素敵に語る（目標・なりたい人物像） 7. 自分を素敵に語る（趣味・好きなこと） 8. チームワークについて考える 9. 5年後・10年後のビジョンについて 10. ポジティブな言葉・パワーワード 11. 前期末試験（事前実施）模擬面接（録画） 12. 模擬面接録画フィードバック① 13. 模擬面接録画フィードバック② 14. 表現力を磨こう（面接ブラッシュアップ） 15. 前期まとめ
使用テキスト ・教材等	担当者が作成した資料、パワーポイント
成績評価方法 及び 基準	実技試験による評価：100点満点で評価し、60点以上を合格とする。 （定期試験 80 点、平常授業 20 点）
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の生活において、いつも頭で考えることを意識する。 自分の経験を具体的にまとめておく。世の中の出来事や常識に目を向ける。
履修に 当たっての 留意点	感じの良い表情・話し方・立ち居振る舞いを心がけ、積極的に発言する。

科目名	プレゼンテーションⅡ②（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	加藤 舞（実務経験：株式会社ドリームスカイ名古屋にて7年間グランドスタッフ業務に携わる）
学科・学年	国際エアライン科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	客室乗務員・グランドスタッフなどの採用面接に備え、自身を魅力的に素敵に表現できるようにトレーニングを行う。接客に必要な立ち居振る舞いや好感のある第一印象を身に付けるとともに、自分の考え方を自分の言葉で表現できる姿を目指す。自身の生き方にも目を向け、ルール（自分との約束）を定めることで豊かな人生になるヒントを得る。また、世の中の出来事や常識についても知見を広げ、深みのある考え方を身に付ける。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 働き方と仕事の適性を考える 2. 接客サービスについて考える 3. グループワーク① デジタル×接客（発表） 4. グループワーク② 商品企画・PR（発表） 5. トーク力を磨こう（働くうえで大切にしたいこと） 6. トーク力を磨こう（どんな新入社員をめざすか） 7. トーク力を磨こう（キャリアビジョンについて考える） 8. 面接力ブラッシュアップ（もっと素敵にナチュラルに） 9. 面接力ブラッシュアップ（インテリジェンスを磨こう） 10. 卒業試験（事前実施）模擬面接（録画） 11. 模擬面接録画フィードバック 12. 模擬面接録画フィードバック 13. 人生のセブンルール① 豊かな人生のためのルールを考える 14. 人生のセブンルール② プレゼンテーション&フィードバック 15. 人生のセブンルール③ プレゼンテーション&フィードバック
使用テキスト ・教材等	担当者が作成した資料、パワーポイント
成績評価方法 及び 基準	実技試験による評価：100 点満点で評価し、60 点以上を合格とする。 （定期試験 80 点、平常授業 20 点）
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の生活において、いつも頭で考えることを意識する。 自分の経験を具体的にまとめておく。世の中の出来事や常識に目を向ける。
履修に 当たっての 留意点	感じの良い表情・話し方・立ち居振る舞いを心がけ、積極的に発言する。

科目名	プレゼンテーションⅡ③（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	大川 通世（実務経験：なし）
学科・学年	国際エアライン科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	客室乗務員・グランドスタッフなどの採用面接に備え、自身を魅力的に素敵に表現できるようにトレーニングを行う。接客に必要な立ち居振る舞いや好感のある第一印象を身に付けるとともに、自分の考え方を自分の言葉で表現できる姿を目指す。自身の生き方にも目を向け、ルール（自分との約束）を定めることで豊かな人生になるヒントを得る。また、世の中の出来事や常識についても知見を広げ、深みのある考え方を身に付ける。
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己 PR（接客の 5 原則を意識して 1 分間） 2. 志望動機（接客の 5 原則を意識して 1 分間） 3. 自己 PR+志望動機（接客の 5 原則を意識して 1 分間） 4. 自分を素敵に語る（長所・短所） 5. 自分を素敵に語る（経験・長く続けてきたこと） 6. 自分を素敵に語る（目標・なりたい人物像） 7. 自分を素敵に語る（趣味・好きなこと） 8. チームワークについて考える 9. 5年後・10年後のビジョンについて 10. ポジティブな言葉・パワーワード 11. 前期末試験（事前実施）模擬面接（録画） 12. 模擬面接録画フィードバック① 13. 模擬面接録画フィードバック② 14. 表現力を磨こう（面接ブラッシュアップ） 15. 前期まとめ
使用テキスト ・教材等	担当者が作成した資料、パワーポイント
成績評価方法 及び 基準	実技試験による評価：100 点満点で評価し、60 点以上を合格とする。 （定期試験 80 点、平常授業 20 点）
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の生活において、いつも頭で考えることを意識する。 自分の経験を具体的にまとめておく。世の中の出来事や常識に目を向ける。
履修に 当たっての 留意点	感じの良い表情・話し方・立ち居振る舞いを心がけ、積極的に発言する。

科目名	プレゼンテーションⅡ③（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	大川 通世（実務経験：なし）
学科・学年	国際エアライン科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	客室乗務員・グランドスタッフなどの採用面接に備え、自身を魅力的に素敵に表現できるようにトレーニングを行う。接客に必要な立ち居振る舞いや好感のある第一印象を身に付けるとともに、自分の考え方を自分の言葉で表現できる姿を目指す。自身の生き方にも目を向け、ルール（自分との約束）を定めることで豊かな人生になるヒントを得る。また、世の中の出来事や常識についても知見を広げ、深みのある考え方を身に付ける。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 働き方と仕事の適性を考える 2. 接客サービスについて考える 3. グループワーク① デジタル×接客（発表） 4. グループワーク② 商品企画・PR（発表） 5. トーク力を磨こう（働くうえで大切にしたいこと） 6. トーク力を磨こう（どんな新入社員をめざすか） 7. トーク力を磨こう（キャリアビジョンについて考える） 8. 面接力ブラッシュアップ（もっと素敵にナチュラルに） 9. 面接力ブラッシュアップ（インテリジェンスを磨こう） 10. 卒業試験（事前実施）模擬面接（録画） 11. 模擬面接録画フィードバック 12. 模擬面接録画フィードバック 13. 人生のセブングルール① 豊かな人生のためのルールを考える 14. 人生のセブングルール② プレゼンテーション&フィードバック 15. 人生のセブングルール③ プレゼンテーション&フィードバック
使用テキスト ・教材等	担当者が作成した資料、パワーポイント
成績評価方法 及び 基準	実技試験による評価：100 点満点で評価し、60 点以上を合格とする。 （定期試験 80 点、平常授業 20 点）
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の生活において、いつも頭で考えることを意識する。 自分の経験を具体的にまとめておく。世の中の出来事や常識に目を向ける。
履修に 当たっての 留意点	感じの良い表情・話し方・立ち居振る舞いを心がけ、積極的に発言する。

科目名	セルフプロデュースⅡ（青春ガールズクワイア）（前期 60 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	伊東 沙織（実務経験：自分未来きょういく株式会社 英会話スクール NOVA 部門にて、外国人講師採用・指導を含むマネジメント全般を 4 年半） 大川 通世（実務経験：なし） 加藤 孝弥（実務経験：(株)パワフルヴォイスにて 2 年 5 か月、現在 猿王にてヴォイストレーナーを務める）
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	青春ガールズクワイアの活動を通して、表現力やチームワーク力を磨く。 ライブ出演を通して、自分を客観視する力を身につけ、なりたい自分に近づけていく。 また、チームの中での役割を見つけ、「当事者意識」をもって全体に貢献できるようになることが最大の目標。授業は発声練習、ステージング、MC の方法、視線の配り方、魅力的に見えるパフォーマンスを伝授。ライブパフォーマンスについては、観客の前で披露できるレベルになるまでトレーニングをする。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 青春ガールズクワイアの歴史、会則解説 2. 音域チェック、演奏曲パフォーマンス練習 3. 歌唱力チェック、演奏曲パフォーマンス練習 4. 発声の基本、演奏曲パフォーマンス練習 5. リズムについて、演奏曲パフォーマンス練習 6. 魅力的な表情について、演奏曲パフォーマンス練習 7. チームで歌うということについて、演奏曲パフォーマンス練習 8. ハーモニーについて、演奏曲パフォーマンス練習 9. リードボーカルオーディション、演奏曲パフォーマンス練習 10. リードボーカルオーディション、演奏曲パフォーマンス練習 11. MC の役割について、演奏曲パフォーマンス練習 12. 視線について、演奏曲パフォーマンス練習 13. レセプションと観客誘導について 14. 統一美について、演奏曲パフォーマンス練習 15. チームの波動について、演奏曲パフォーマンス練習
使用テキスト ・教材等	発声練習・練習音源 CD、レッスン時に使用するプリント等
成績評価方法 及び 基準	実技試験による評価：ライブ出演、チーム内オーディションのパフォーマンスを評価。 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	「青春ガールズクワイア」はサークル活動でもあるため、ライブ出演前の授業外練習、強化練習に参加。個人練習を通して常に自分のパフォーマンススキルをブラッシュアップする必要がある。
履修に 当たっての 留意点	青春ガールズクワイアの一員として「当事者意識」を持ち、チームに貢献する意識を持つ。

科目名	セルフプロデュースⅡ（青春ガールズクワイア）（後期 60 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	伊東 沙織（実務経験：自分未来きょういく株式会社 英会話スクール NOVA 部門にて、外国人講師採用・指導を含むマネージメント全般を 4 年半） 大川 通世（実務経験：なし） 加藤 孝弥（実務経験：(株)パワフルヴォイスにて 2 年 5 か月、現在 猿王にてヴォイストレーナーを務める）
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	青春ガールズクワイアの活動を通して、表現力やチームワーク力を磨く。 ライブ出演を通して、自分を客観視する力を身につけ、なりたい自分に近づけていく。 また、チームの中での役割を見つけ、「当事者意識」をもって全体に貢献できるようになることが最大の目標。授業は発声練習、ステージング、MC の方法、視線の配り方、魅力的に見えるパフォーマンスを伝授。ライブパフォーマンスについては、観客の前で披露できるレベルになるまでトレーニングをする。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ステージの構成を考える、演奏曲パフォーマンス練習 2. 音域を広げる、演奏曲パフォーマンス練習 3. リードボーカルオーディション、演奏曲パフォーマンス練習 4. リードボーカルオーディション、演奏曲パフォーマンス練習 5. チーム内での役割について、演奏曲パフォーマンス練習 6. リーダーに求められるもの、演奏曲パフォーマンス練習 7. ライブ観客動員について、演奏曲パフォーマンス練習 8. 観客対応について、演奏曲パフォーマンス練習 9. パートリーダーについて、演奏曲パフォーマンス練習 10. 音響・照明について、演奏曲パフォーマンス練習 11. チーム力強化について、演奏曲パフォーマンス練習 12. 広報、演出について、演奏曲パフォーマンス練習 13. テンションの上げ方について、演奏曲パフォーマンス練習 14. 青春ガールズクワイアのブランド力を高めるために 15. 次世代への引継ぎ、2 年生ラストライブ
使用テキスト ・教材等	発声練習・練習音源 CD、レッスン時に使用するプリント等
成績評価方法 及び 基準	実技試験による評価：ライブ出演、チーム内オーディションのパフォーマンスを評価。 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	「青春ガールズクワイア」はサークル活動でもあるため、ライブ出演前の授業外練習、強化練習に参加。個人練習を通して常に自分のパフォーマンススキルをブラッシュアップする必要がある。
履修に 当たっての 留意点	青春ガールズクワイアの一員として「当事者意識」を持ち、チームに貢献する意識を持つ。

科目名	セルフプロデュースⅡ（ビューティメイク）（前期 30 時間（90 分/コマ））	必修・選択
担当教官	小嶋祐里（実務経験:2003 年よりエステティックサロン yurihana 経営、エステティック学、セルフケアエクササイズ講師）	
学科・学年	国際エアライン科 2 年	
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>「到達目標」 肌と表情筋について理解し、好印象になれる正しいスキンケア、フェイスエクササイズ法を身につける。</p> <p>「授業の方法」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皮膚科学を学び皮膚の構造を理解する。 ・健やかで美しい肌づくりの為のスキンケアの重要性を理解する。 ・実際にクレンジング、洗顔、保湿を行い正しいスキンケアを身につける。 ・皮膚を支える表情筋について理解する。 ・メンタルヘルスの重要性を理解する。 ・表情筋によってコミュニケーション能力の向上を考察し、評価する。 	
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 皮膚科学 2. 皮膚科学 3. 正しいスキンケア 4. 食生活 5. スキンケア実践 6. アロマセラピー総論 7. 大脳生理学 8. フェイスエクササイズ 9. フェイスエクササイズ 10. メンタルヘルス 11. コミュニケーション能力の向上 12. 呼吸法 13. 呼吸法、復習 14. 試験 15. まとめ 	
使用テキスト ・教材等	講師作成プリント 美肌検定 日本エステティック協会	
成績評価方法 及び 基準	フェイスエクササイズの実技テスト エクササイズを行う際の注意点、回数、呼吸法を間違えず、効果目的の説明内容によって評価する。 実技 70 点、説明 30 点、の計 100 点満点で採点（60 点以上合格）	
授業時間外に 必要な学修内容	スキンケアやフェイスエクササイズを日頃から取り入れ、ブラッシュアップをはかります。	
履修に当たって の留意点	学生同士お互いの変化に気づき、認め合い個々の能力を高めあうことを積極的に行うこと。	

科目名	セルフプロデュースⅡ（ビューティメイク）（後期 30 時間（90 分/コマ））	必修・選択
担当教官	小嶋祐里（実務経験:2003 年よりエステティックサロン yurihana 経営、エステティック学、セルフケアエクササイズ講師）	
学科・学年	国際エアライン科 2 年	
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>「到達目標」 アロマセラピーやバランスのよい食事について理解し、身体に与える影響を知る。 またそれを活用し、自身の生活に取り入れ健康的な身体を守ることができる。</p> <p>「授業の方法」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アロマセラピーについて理解する。 ・アロマセラピーの精油の取り扱いに注意し、身体へもたらす影響を知る。 ・アロマセラピーを自身の生活に取り入れ検証する。 ・アロマセラピーをカレッジフェスティバルで活用できるよう計画、実行する。 ・学生同士、互いの変化を理解し、評価する。 	
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. アロマセラピー総論前期復習 2. 精油について 3. 香りと大脳生理学 4. バスボム作り 5. カレッジフェスティバル準備 6. カレッジフェスティバル準備 7. 睡眠と美容 8. 美容食 9. 体幹ストレッチ 10. ニキビ改善方法 11. アロマハンドトリートメント実技練習 12. アロマハンドトリートメント実技練習 13. アロマハンドトリートメント実技練習 14. 試験 15. まとめ 	
使用テキスト ・教材等	<p>講師作成プリント</p> <p>正しいスキンケア事典（吉木信子）</p>	
成績評価方法 及び 基準	<p>アロマハンドトリートメントの実技テスト</p> <p>回数や手順を間違えず、ツボ指圧の効果目的の説明内容によって評価する。</p> <p>実技 70 点、説明 30 点、の計 100 点満点で採点（60 点以上合格）</p>	
授業時間外 に必要な 学修内容	<p>良質な睡眠、正しいスキンケア方法やバランスの良い食事を日頃から取り入れ、美しく健康な身体を手に入れます。</p> <p>ハンドトリートメントを習得し、ホスピタリティーを磨きます。</p>	
履修に 当たっての 留意点	<p>学生同士お互いの変化に気づき、認め合い個々の能力を高めあうことを積極的に行うこと。</p>	

科目名	セルフプロデュースⅡ（ソーシャルマナー）（前期 30 時間（90 分/コマ））	必修・選択
担当教官	酒井 英津子（実務経験：なし）	
学科・学年	国際エアライン科 2年	
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	接客業、主に航空業界に就くことを目指している人を対象としたクラスです。お客様に対して、「心温まるホスピタリティーとは何か」を学びます。お客様から「素敵な女性（男性）」と思われるような話し方、センスを身に付けます。（演習） また、どのようなお客様に対しても対応できる知識も学びます。国内外のニュースや話題を取り上げながら一般常識や語彙力を修得し、自分の考えや意見を相手に上手く伝えられるよう指導いたします。（講義）	
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業概要と自己紹介 2. 国語力のテスト（表現力を測る） 3. コロナ禍における日本企業の現状 4. コロナ禍における海外企業の現状 5. アフターコロナで航空業界はどうなるのか？ 6. ディスカッション（テーマ：未定） 7. ロシアとEU 8. アメリカと中国の行方 9. アジアの中の日本 10. 小論文（テーマ：未定） 11. SDG's と企業 12. AI と企業 13. AI とホスピタリティー 14. スピーチ（テーマ：あなたにとってホスピタリティーとは？） 15. まとめ 	
使用テキスト ・教材等	授業時に担当者が作成し、その都度配布する資料を使用します。	
成績評価方法 及び 基準	ディスカッション 20 点、小論文 20 点、スピーチ 20 点、期末テスト 40 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とします。	
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から、新聞や本を読む習慣をつけてください。	
履修に 当たっての 留意点	ネット上やテレビで放映されているニュースを、常にチェックしてください。	

科目名	セルフプロデュースⅡ（ソーシャルマナー）（後期 30 時間（90 分/コマ））	必修・選択
担当教官	酒井 英津子（実務経験：なし）	
学科・学年	国際エアライン科 2年	
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	後期はより自分の内面を掘り下げながら「コミュニケーションのとり方」も指導いたします。自分の性格を、心理テストや作文を書くことによって客観的に捉え、上手く人間関係を築くための心の持ち方や、発想の仕方を考えていきます。更に自分の考えを、相手に上手く分かりやすく伝える訓練として、発表やディスカッションの場を設けます。またコミュニケーションをスムーズにとるには、語彙力、文章力も求められます。前期以上に、ポキャブラリーの増進を目指します。（講義と演習）	
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の性格を知る（心理テスト） 2. 性格は変えられるー持って生まれた性格、つくられた性格 3. 自分のセールスポイントは？（小論文①） 4. 自分のセールスポイントは？（発表①） 5. 自分を発信するとは？ 6. コミュニケーションの裏表 7. まとめ 8. 話し方を変える～また会いたくなる人になれているか?!～ 9. 大人らしさって何だろう（ディスカッション） 10. 価値観を問う～コンプレックスと付き合う～ 11. 人生に奥行きを持たせる 12. 成功者の伝記を読む 13. どんな自分になりたいか（小論文②） 14. どんな自分になりたいか（発表②） 15. まとめ 	
使用テキスト ・教材等	授業時に担当者が作成し、その都度配布する資料を使用します。	
成績評価方法 及び 基準	小論文①25点、発表①25点、小論文②25点、発表②25点計100点満点で採点し、60点以上を合格とします。	
授業時間外 に必要な 学修内容	毎日、簡単な日記をつけてみましょう。	
履修に 当たっての 留意点	常に「進化する」自分を目指してください。	

科目名	セルフプロデュースⅡ（ボディコントロール）（前期 30 時間（90 分/コマ））	必修・選択
担当教官	伊東 沙織（実務経験：RYT200 修了 本校にて授業を実施）	
学科・学年	国際エアライン科 2 年	
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>航空業界で求められる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・容姿や雰囲気 ・健康でしなやかな身体 ・強く落ち着いたメンタリティ <p>などを獲得するために、主にヨガのライフスタイルを学び、実践する。</p> <p>また、自分の内面（性格・習慣・理想や目標）と、ジャーナリングの時間も設けて毎回書き出して向き合うことで、頭と心を整理して、いま自分が夢を実現するためにしたいこと・すべきことを明確にして、学校生活をより充実させることを目標とする。</p>	
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の目的・スケジュールについて／ジャーナリング 2. 自分の呼吸・身体を知って整える（初級ヨガ）／アンケート／ジャーナリング 3. 自分の呼吸・身体を知って整える（初級ヨガ）／ジャーナリング 4. 姿勢改善・体幹&集中力強化（太陽礼拝）／ジャーナリング 5. 姿勢改善・体幹&集中力強化（太陽礼拝）／ジャーナリング 6. 下半身のシェイプアップ／ジャーナリング 7. 下半身のシェイプアップ／ジャーナリング 8. 集中力強化のバランストレーニング／セルフコンパッションワークシート 9. 集中力強化のバランストレーニング／セルフコンパッションワークシート 10. 上半身のしなやかさを手に入れる／ジャーナリング 11. 上半身のしなやかさを手に入れる／ジャーナリング 12. 身体の内側から整えるダイエット（デトックスヨガ）／ジャーナリング 13. 身体の内側から整えるダイエット（デトックスヨガ）／ジャーナリング 14. 前向きな気持ちに切り替えるリラックス法（リラックスヨガ）／ジャーナリング 15. 総復習で身体の変化を観察しよう 	
使用テキスト ・教材等	なし	
成績評価方法 及び 基準	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内で行う実技を 50 点満点で採点 ・期末試験の筆記試験を 50 点満点で採点 <p>以上 100 点満点のうち、60 点以上で合格</p>	
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から良い姿勢、習慣、考え方を心がけて、自分の内面・外見の両方をブラッシュアップすることを意識して生活する	
履修に 当たっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・使用する教室をいつもきれいな状態に保つ ・使用するヨガマットや用品の衛生管理を徹底する ・怪我のないよう、教員の指示に従い、段階別に無理のないよう受講する 	

科目名	セルフプロデュースⅡ（ボディコントロール）（後期 30 時間（90 分/コマ））	必修・選択
担当教官	伊東 沙織（実務経験：RYT200 修了 本校にて授業を実施）	
学科・学年	国際エアライン科 2 年	
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>航空業界で求められる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・容姿や雰囲気 ・健康でしなやかな身体 ・強く落ち着いたメンタリティ <p>などを獲得するために、主にヨガのライフスタイルを学び、実践する。</p> <p>また、自分の内面（性格・習慣・理想や目標）と、ジャーナリングの時間も設けて毎回書き出して向き合うことで、頭と心を整理して、いま自分が夢を実現するためにしたいこと・すべきことを明確にして、学校生活をより充実させることを目標とする。</p>	
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 姿勢改善・体幹強化のヨガ（太陽礼拝）／ジャーナリング 2. 姿勢改善・体幹強化のヨガ（太陽礼拝）／ジャーナリング 3. ボディバランスを観察し、スタイルを整える／ジャーナリング 4. ボディバランスを観察し、スタイルを整える／ジャーナリング 5. 美しい下半身を作るヨガ／セルフコンパッションワークシート 6. 美しい下半身を作るヨガ／セルフコンパッションワークシート 7. 集中力アップのバランストレーニング／ジャーナリング 8. 集中力アップのバランストレーニング／ジャーナリング 9. 内側から整えるダイエット（デトックスヨガ）／ジャーナリング 10. 内側から整えるダイエット（デトックスヨガ）／ジャーナリング 11. 音楽を取り入れたスタミナ強化のヨガ／ジャーナリング 12. 音楽を取り入れたスタミナ強化のヨガ／ジャーナリング 13. 中級のヨガポーズにチャレンジして、スタイルアップ／ジャーナリング 14. 中級のヨガポーズにチャレンジして、スタイルアップ／ジャーナリング 15. 総復習・一年間の自分と向き合っのジャーナリング 	
使用テキスト ・教材等	なし	
成績評価方法 及び 基準	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内で行う実技を 50 点満点で採点 ・期末試験の筆記試験を 50 点満点で採点 <p>以上 100 点満点のうち、60 点以上で合格</p>	
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から良い姿勢、習慣、考え方を心がけて、自分の内面・外見の両方をブラッシュアップすることを意識して生活する	
履修に 当たっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・使用する教室をいつもきれいな状態に保つ ・使用するヨガマットや用品の衛生管理を徹底する ・怪我のないよう、教員の指示に従い、段階別に無理のないよう受講する 	

科目名	エアラインキャリアガイダンスⅡ①（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	大川 通世（実務経験：なし）
学科・学年	国際エアライン科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	航空業界、または目指す業界に必要な基礎知識を身につけるとともに、社会の仕組み、働くことの意味、キャリアプランを考える。また、採用試験について学び、自己分析と受験のための知識領域を広げる。 授業の方法としては、ワークシートを使用しながら、解説→ワークシート記入→発表を基本とし、必要に応じてグループワークを取り入れる。
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「チーズはどこへ消えた」～変化を恐れない。現状維持を恐れよ～ 2. 劣等感との和解 ～劣等感をなくさずに克服する～ 3. リージョナルエアラインの研究① 4. リージョナルエアラインの研究② 5. JAL フィロソフィから学ぶ人生の方程式 「考え方×能力×情熱」① 6. JAL フィロソフィから学ぶ人生の方程式 「考え方×能力×情熱」② 7. 成功の目標てんびん ～目標を達成するために～ 8. 学習領域とパフォーマンス領域 ～大切なことがもっと上達する方法～ 9. センスは脳で磨かれる 10. SDGs について考える 私ができる社会貢献① ※グループワーク 11. SDGs について考える 私ができる社会貢献② ※グループワーク 12. 人生のミッションゴール ※プレゼンテーション① 13. 人生のミッションゴール ※プレゼンテーション② 14. 人生のミッションゴール ※プレゼンテーション③ 15. 前期まとめ（前期授業の振り返り）
使用テキスト ・教材等	プリント教材、アプリ動画、ビジネス番組、ドキュメンタリー番組など。
成績評価方法 及び 基準	平常授業の評価 20 点と定期試験（筆記またはレポート提出）で評価し採点。 60 点以上を合格とする。
授業時間外に 必要な 学修内容	書籍、新聞、TVニュース、ネットニュースなどから視野を広げる。 課題として指示されたワークシートの作成。
履修に 当たっての 留意点	自分の人生において大切にしたいものと、働く上で大切にしたいものの共通点を見つける。

科目名	エアラインキャリアガイダンスⅡ①（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	大川 通世（実務経験：なし）
学科・学年	国際エアライン科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	航空業界、または目指す業界に必要な基礎知識を身につけるとともに、社会の仕組み、働くことの意味、キャリアプランを考える。また、入社後にビジョンを持って長く働けるよう、働き方を具体的に想像できる学修内容を設定。 授業の方法としては解説→グループワーク→発表を基本とし、学期末に三分間スピーチを取り入れる。
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ジェームズ・ダイソンから学ぶ仕事の美学 2. 給与明細の内容を知る 3. 休日、休暇の取得のマナー 4. 社会人の休日の過ごし方 5. 年齢や社歴によって変わる働き方 6. 経営者の名言の共通点 7. 会社の行動指針 ～クレド～ 8. リフレーミングトレーニング① ～プラスの言葉で語る～ 9. リフレーミングトレーニング② ～夢を楽しく（面白く）語る～ 10. マイセブンルール プレゼンテーション① 11. マイセブンルール プレゼンテーション② 12. マイセブンルール プレゼンテーション③ 13. マイセブンルール プレゼンテーション④ 14. マイセブンルール プレゼンテーション⑤ 15. スティーブ・ジョブズ「スタンフォード大学卒業式スピーチ」
使用テキスト ・教材等	プリント教材、アプリ動画、ビジネス番組、ドキュメンタリー番組など。
成績評価方法 及び 基準	平常授業の評価 20 点と定期試験（筆記またはレポート提出）で評価し採点。 60 点以上を合格とする。
授業時間外に 必要な 学修内容	書籍、新聞、TVニュース、ネットニュースなどから視野を広げる。 課題として指示されたワークシートの作成。
履修に 当たっての 留意点	自分の人生において大切にしたいものと、働く上で大切にしたいものの共通点を見つける。

科目名	エアラインキャリアガイダンスⅡ②（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	伊藤 洋子（実務経験：なし）
学科・学年	国際エアライン科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	航空業界、または目指す業界に必要な基礎知識を身につけるとともに、社会の仕組み、働くことの意味、キャリアプランを考える。また、採用試験について学び、自己分析と受験のための知識領域を広げる。 授業の方法としては、ワークシートを使用しながら、解説→ワークシート記入→発表を基本とし、必要に応じてグループワークを取り入れる。
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「チーズはどこへ消えた」～変化を恐れない。現状維持を恐れよ～ 2. 劣等感との和解 ～劣等感をなくさずに克服する～ 3. リージョナルエアラインの研究① 4. リージョナルエアラインの研究② 5. JAL フィロソフィから学ぶ人生の方程式 「考え方×能力×情熱」① 6. JAL フィロソフィから学ぶ人生の方程式 「考え方×能力×情熱」② 7. 成功の目標てんびん ～目標を達成するために～ 8. 学習領域とパフォーマンス領域 ～大切なことがもっと上達する方法～ 9. センスは脳で磨かれる 10. SDGs について考える 私ができる社会貢献① ※グループワーク 11. SDGs について考える 私ができる社会貢献② ※グループワーク 12. 人生のミッションゴール ※プレゼンテーション① 13. 人生のミッションゴール ※プレゼンテーション② 14. 人生のミッションゴール ※プレゼンテーション③ 15. 前期まとめ（前期授業の振り返り）
使用テキスト ・教材等	プリント教材、アプリ動画、ビジネス番組、ドキュメンタリー番組など。
成績評価方法 及び 基準	平常授業の評価 20 点と定期試験（筆記またはレポート提出）で評価し採点。 60 点以上を合格とする。
授業時間外に 必要な 学修内容	書籍、新聞、TVニュース、ネットニュースなどから視野を広げる。 課題として指示されたワークシートの作成。
履修に 当たっての 留意点	自分の人生において大切にしたいものと、働く上で大切にしたいものの共通点を見つける。

科目名	エアラインキャリアガイダンスⅡ②（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	伊藤 洋子（実務経験：なし）
学科・学年	国際エアライン科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	航空業界、または目指す業界に必要な基礎知識を身につけるとともに、社会の仕組み、働くことの意味、キャリアプランを考える。また、入社後にビジョンを持って長く働けるよう、働き方を具体的に想像できる学修内容を設定。 授業の方法としては解説→グループワーク→発表を基本とし、学期末に三分間スピーチを取り入れる。
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ジェームズ・ダイソンから学ぶ仕事の美学 2. 給与明細の内容を知る 3. 休日、休暇の取得のマナー 4. 社会人の休日の過ごし方 5. 年齢や社歴によって変わる働き方 6. 経営者の名言の共通点 7. 会社の行動指針 ～クレド～ 8. リフレーミングトレーニング① ～プラスの言葉で語る～ 9. リフレーミングトレーニング② ～夢を楽しく（面白く）語る～ 10. マイセブンルール プレゼンテーション① 11. マイセブンルール プレゼンテーション② 12. マイセブンルール プレゼンテーション③ 13. マイセブンルール プレゼンテーション④ 14. マイセブンルール プレゼンテーション⑤ 15. スティーブ・ジョブズ「スタンフォード大学卒業式スピーチ」
使用テキスト ・教材等	プリント教材、アプリ動画、ビジネス番組、ドキュメンタリー番組など。
成績評価方法 及び 基準	平常授業の評価 20 点と定期試験（筆記またはレポート提出）で評価し採点。 60 点以上を合格とする。
授業時間外に 必要な 学修内容	書籍、新聞、TVニュース、ネットニュースなどから視野を広げる。 課題として指示されたワークシートの作成。
履修に 当たっての 留意点	自分の人生において大切にしたいものと、働く上で大切にしたいものの共通点を見つける。

科目名	中国語Ⅱ（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	胡 麗君（実務経験：中国語の個人レッスン 10 年、通訳業務にも長年携わる）
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	近年、来日観光・ビジネスする人々が増え続け、中国語は仕事・生活中に必要性が高まりつつある。中国語ピンインの習得、簡単な文型、自己紹介、簡単な空港会話ができるようになるまでのレベルを目指す。中国語検定 4 級を目指す。 パワーポイントを使用する。中国語を楽しく学んでほしいので、中国で有名な映画や流行的な歌などを利用して授業を進める。毎回、前回の復習を行う。必要に応じて参考資料としてプリントの配布も行う。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. “过”の使い方、疊詞、選択疑問文 2. 文章解読、練習問題 3. 聴解練習・空港用語及び会話練習 4. 比較文、二重目的語、様態補語、お金の数え方 5. 文章解読、練習問題 6. 聴解練習、空港用語及び会話練習 7. 文法：（過去形）動詞＋了、可能を表す動詞 8. 文章解読、練習問題 9. 中国映画及び音楽鑑賞 10. 聴解練習、空港用語及び会話練習 11. 動作進行、動作・状態持続 12. 文章解読、中検練習 13. 聴解練習、航空用語及び会話練習 14. 中検練習 15. 前期テスト
使用テキスト ・教材等	ケンタくんの中国語Ⅰ 中検 4 級試験問題
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容・定期テストなどを総合評価。 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日常用語及び航空用語を積極的に調べること。
履修に 当たっての 留意点	授業中積極的に中国語を使って（一言でもいいので）会話すること。 授業で使用するテキストを見ながら各自で予習、復習しておくこと。

科目名	中国語Ⅱ（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	胡 麗君（実務経験：中国語の個人レッスン 10 年、通訳業務にも長年携わる）
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	近年、来日観光・ビジネスする人々が増え続け、中国語は仕事・生活中に必要性が高まりつつある。中国語ピンインの習得、簡単な文型、自己紹介、簡単な空港会話ができるようになるまでのレベルを目指す。中国語検定 4 級を目指す。 パワーポイントを使用する。中国語を楽しく学んでほしいので、中国で有名な映画や流行的な歌などを利用しながら授業を進める。毎回、前回の復習を行う。必要に応じて参考資料としてプリントの配布も行う。
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期復習、航空会話練習 2. 補語の使い方、文章解読 3. 文章解読 4. 聴解練習、練習問題 5. 自然現象を表す無主語文、文法：“一点儿，一……就、越……越 “ 6. 文章解読 7. 練習問題、中検練習 8. 例えの表現、禁止表現、“有点儿”、動作が同時に進行する表現 9. 文章解読 10. 聴解練習、中検練習 11. 中国映画及び音楽鑑賞 12. 総合復習 1、聴解練習 13. 総合復習 2、聴解練習 14. 総合復習 3、聴解練習 15. 後期テスト
使用テキスト ・教材等	ケンタくんの中国語Ⅰ 中検準 4 級試験問題
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容・定期テストなどを総合評価。 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日常用語及び空港用語を積極的に調べること。
履修に 当たっての 留意点	授業中積極的に中国語を使って（一言でもいいので）会話すること。 授業で使用するテキストを見ながら各自で予習、復習しておくこと。

科目名	エアライン業界研究 (CA) II (前期 15 時間 (45 分/コマ)) 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	和田 香織 (実務経験：全日本空輸株式会社にて 8 年 4 ヶ月、客室乗務員業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	この授業は客室乗務員になる為に必要な知識を得る事を目的としています。 1 年間で得た知識を生かし、実践の場で活用できるスキルを身につけます。 サービスに必要な心遣いは何かを考え、おもてなしの心を養います。 更に、お客様トラブル時の心構えや、対応方法なども学び、現場に出た際に必要なスキルを得ます。 また、客室乗務員が実践するワンランク上の美しい立ち居振る舞いや言葉遣いを学びます。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. ドリンクサービスについて 3. ドリンクサービス実践 4. ミールサービスについて 5. ミールサービス実践 6. 機内英会話 7. 機内英会話実践 8. トータルサービスロールプレイ 9. 飛行機について(ボーイング) 10. 飛行機について(エアバス) 11. お客様トラブル 12. お客様トラブル実践 13. 配慮を必要とするお客様 14. 配慮を必要とするお客様対応実践 15. 前期振り返り
使用テキスト ・教材等	授業時に担当者が作成し、その都度配布する資料を使用する。 その他必要な資料については都度指示する。
成績評価方法 及び 基準	筆記試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	指示された事柄に関する関係資料の収集と、情報のまとめを作成すること。 事前準備と振り返りが必要。
履修に 当たっての 留意点	収集した情報を必ず発表し、質疑応答時には積極的に参加すること。

科目名	エアライン業界研究 (CA) II (後期 15 時間 (45 分/コマ)) 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	和田 香織 (実務経験：全日本空輸株式会社にて 8 年 4 ヶ月、客室乗務員業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	この授業は客室乗務員になる為に必要な知識を得る事を目的とする。 今までの知識を結集し、現場での活用できる知識を幅広く学びます。 どのような状況でも美しい立ち居振る舞いを心掛け、魅力あふれる人材となるよう言葉遣いも定着させます。 2年間の集大成として、サービス業に携わるものとしての心遣いやおもてなしの心を深化させていきます(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. アルコールについて 2. LCC について 3. LCC と FSC の違い 4. 国際線ファーストクラスについて 5. 世界の航空会社について 6. 外資系航空会社について 7. 外資系航空会社概要 8. ビジネスクラスサービス搭乗からお出迎え 9. ワンランク上のサービスについて 10. 機内アナウンスについて 11. 機内アナウンス実践 12. 航空航路 13. 天気 14. 接客してみよう 15. 1 年を振り返って
使用テキスト ・教材等	授業時に担当者が作成し、その都度配布する資料を使用する。 その他必要な資料については都度指示する。
成績評価方法 及び 基準	筆記試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	指示された事柄に関する関係資料の収集と、情報のまとめを作成すること。 事前準備と振り返りが必要。
履修に 当たっての 留意点	収集した情報を必ず発表し、質疑応答時には積極的に参加すること。

科目名	エアライン業界研究 (GS) II (前期 15 時間 (45 分/コマ)) 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	加藤 舞 (実務経験: 株式会社ドリームスカイ名古屋にて7年間グランドスタッフ業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	旅客機運送における空港でのグランドスタッフの業務について、これまでの知識を復習し、さらに詳しく知ってもらふ。将来自身が働く姿を想像しながら、様々な接客ケースを想定し、自分だったらどう動くかを考える力を養う。 航空業界の仕組みや基礎知識を学び、GS業務について理解を深める。(講義)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. GS(グランドスタッフ)の仕事・役割について①復習 2. GSの仕事・役割について②復習 3. GSをとりまく仕事 (CIQ・グランドハンドリング・整備・貨物) 4. GSを取り巻く仕事 (CA・パイロット・セールス・予約) 5. 航空会社のサービス ~航空運賃編~ 6. 航空会社のサービス ~マイレージプログラム編~ 7. 航空会社のサービス ~プライオリティサービス編~ 8. アライアンス・コードシェアについて 9. 機内食について 10. 時刻表を読み解く 11. 手荷物について 12. 出入国書類について 13. コンフィギュレーション (座席配列) について 14. 航空アルファベット 15. エアライン専門用語
使用テキスト ・教材等	ANA グランドスタッフ入門 担当者が作成した資料、動画、パワーポイントを使用
成績評価方法 及び 基準	平常点、確認テスト、定期試験の点数を総合評価 100点満点で採点し、60点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	空港へ行く機会や飛行機に乗る機会をできるだけ多く作り、現場で働く人物や業務をよく観察すること
履修に 当たっての 留意点	サービス介助士の資格を持っている学生は内容を復習しておくこと

科目名	エアライン業界研究 (GS) II (後期 15 時間 (45 分/コマ)) 必修・ <input type="checkbox"/> 選択
担当教官	加藤 舞 (実務経験: 株式会社ドリームスカイ名古屋にて7年間グランドスタッフ業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	グランドスタッフの業務を理解したうえで、現場で実際にどのようなケースがあるかを想定しロールプレイを取り入れ学ぶ。企業の社員としてのマインドや、接客業におけるホスピタリティ、クレーム対応能力を養うことで入社後の働く意欲を高める。 航空業界の仕組みや基礎知識を学び、GS業務について理解を深める。(講義・実習)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. CS (顧客満足) と ES (雇用満足) ① 2. CS と ES ② 3. GS としてのホスピタリティ (接客に必要な要素) 4. ケース別 接客エピソード① グループワーク 5. ケース別 接客エピソード② 発表 6. クレーム対応① 7. クレーム対応② 8. シチュエーション別ロールプレイ (チェックイン・GATE・B/C) ① 9. シチュエーション別ロールプレイ (チェックイン・GATE・B/C) ② 10. シチュエーション別ロールプレイ (チェックイン・GATE・B/C) ③ 11. 発表 12. 発表 13. 空港/都市コード・エアライン3レター・2レター総復習① 14. 空港/都市コード・エアライン3レター・2レター総復習② 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	ANA グランドスタッフ入門 担当者が作成した資料、動画、パワーポイントを使用
成績評価方法 及び 基準	実技、定期試験の点数を総合評価 100点満点で採点し、60点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	空港へ行く機会や飛行機に乗る機会をできるだけ多く作り、現場で働く人物や業務をよく観察すること
履修に 当たっての 留意点	感動したサービス、残念なサービスについて、接客を受ける側の目線で日頃から意識した生活をおくること

科目名	一般教養 I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	土屋 真実 (実務経験：全日本空輸株式会社にて 4 年間客室乗務業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	エアライン業界の就職活動における筆記試験対策 (テストセンター、WEBテスト、その他一般常識) を行う。 前期は非言語系 (数学) 分野の出題範囲を中心に、簡単な例題を挙げながら確認し、基礎知識を身につける。また、時差問題などのエアライン特有の分野についても、エアライン出身講師自身の学習法を交えながら習得していく。言語分野に関しては、漢字や言葉の意味に重点を置いて学習する。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、プレ小テスト 2. 順列・組み合わせ (P、C 使い分け) 3. 確率 (分母に置く数字、分子に置く数字) 4. 時差の基礎、業界特有の時差問題 5. 割合と比 (%、～割～分) 6. 損益算 (利益、原価、売価) 7. 料金割引 (割引率) 8. 確認小テスト 9. 仕事算 (仕事量の理解) 10. 代金清算 (文章を確実にとらえる) 11. 速度算 (速さ、時間、距離の応用) 12. 集合 (ベン図) 13. 表の解釈・情報の読み取り (表の読み方、表から数を推測する) 14. 特殊算 (鶴亀、食塩水等)・言語問題 15. 確認小テスト/前期のまとめ
使用テキスト ・教材等	2023 最新版 史上最強 S P I & テストセンター超実戦問題集 CA&グランドスタッフ 筆記試験問題集 7 日間で完全突破
成績評価方法 及び 基準	定期試験の 100 点満点で評価し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で学習した分野の復習は必ず行うこと。日頃からニュース記事を読むこと。
履修に 当たっての 留意点	授業内で理解ができなかった点は、積極的に質問をすること。

科目名	一般教養 I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	土屋 真実 (実務経験：全日本空輸株式会社にて 4 年間客室乗務業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	エアライン業界の就職活動における筆記試験対策 (テストセンター、WEBテスト、その他一般常識) を行う。 後期前半は、S P I 最頻出分野である推論分野を習得する。 その後は、WEBテスト対策、前期に学んだ各分野の演習を繰り返し行い、効率よくスピーディーに解いていく感覚を身につける。また、実際のテストと類似の問題を用いて採用試験時に柔軟に対応できる能力も身につける。言語 (国語) 分野と時事問題対策も併せて行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 推論① (正誤、順位、内訳) 2. 推論② (整数、平均、対戦、%) 3. 推論③ (位置関係)・復習/その他 (過去頻出問題、新傾向問題) 4. ウェブテスト対策 (四則計算) /漢字、熟語、ことわざ、敬語 5. テストセンター練習問題① 6. ウェブテスト対策 (グラフ、表の読み取り) 7. テストセンター練習問題② 8. 時事問題①/二語の関係、語句の意味 9. 非言語総合演習 I (実際の試験時間に準じて問題を解きスピード感を養う) 10. 言語総合演習 I (実際の試験時間に準じて問題を解きスピード感を養う) 11. 非言語総合演習 II (実際の試験時間に準じて問題を解きスピード感を養う) 12. 非言語総合演習 III (実際の試験時間に準じて問題を解きスピード感を養う) 13. 時事問題②/最近の出題傾向確認 14. 確認小テスト 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	2023 最新版 史上最強 S P I & テストセンター超実戦問題集 CA&グランドスタッフ 筆記試験問題集 7 日間で完全突破
成績評価方法 及び 基準	定期試験の 100 点満点で評価し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で学習した分野の復習は必ず行うこと。日頃から新聞、ニュース記事を読むこと。
履修に 当たっての 留意点	授業内で理解ができなかった点は、積極的に質問をすること。

科目名	コンピュータ演習 I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	矢島 親男 (実務経験 : なし)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>コンピュータを使用したアプリケーション (Office) のスキルアップ。現場に出てからの、コンピュータスキルとして最低限のことを身につける。</p> <p>1 年次後期より Word を利用した文書作成および基本的な操作技術を学ぶ。</p> <p>パソコン室のコンピュータを利用した演習授業。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<p>Word</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Word の起動と終了、入力インジケータ、文字の入力 2. 文章の入力、入力の訂正、ファイルの保存と読み込み、ページ設定 3. 移動とコピー、 4. 文書の作成 5. 文字の拡大と縮小、文字の修飾 6. 基本的な社外文書作成総合演習 7. 表を活用した文書の作成 8. 表の編集 9. 表を利用した文書作成総合演習 10. ページの色、ページ罫線の利用、ワードアートの利用 11. 図形の描画、図形の回転、図形のコピー 12. 画像の効果、挿入 13. 文字表示倍率の変更、テキストボックスの挿入 <p>PowerPoint</p> <ol style="list-style-type: none"> 14. プレゼンテーションの作成、文字修飾と図形の活用 15. グラフの活用、SmartArt の活用、アニメーション効果
使用テキスト ・教材等	Windows10 対応 30 時間でマスター Office2016 (実教出版)
成績評価方法 及び 基準	実習評価 (平常点 20 点を含む) の 6 割以上確保を持って合格とする。実習評価は、毎時間内に提出する課題の点数評価の合計点とする。(事前説明後、提出課題の課題点を加味する場合もある) その他、学則に準拠する。
授業時間外 に必要な 学修内容	下欄を参照
履修に 当たっての 留意点	<p>就職活動における公欠であっても、授業は進み、提出課題も進んでいくので、授業を抜けたのなら、登校した日に、直ちに該当授業の課題を進めて提出すること。</p> <p>課題提出状況により理解度不足であると判断した場合には、実習後または指定期日に補習 (実習) を実施することがある。</p>

科目名	英検・TOEIC 対策 I ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	塩瀬 史子 (実務経験: 外資系航空会社にて 24 年間乗務。スーパーバイザーとして人材育成やトレーニングのインストラクター、チェックフライト等の業務指導にも携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	航空業界で活躍するには英語の資格、TOEIC の高い得点が必要となります。 航空会社で学んだ経験を活かし、生徒の学習意欲を維持できるよう工夫しながら授業を進めます。 語彙力をつけ、名詞を使ったフレーズや重要動詞、文法を覚えることで、空所補充や長文問題などのスコアアップに努めます。(講義) 過去問題を解くことで出題パターンや苦手を知り、読む、書く、聞く、話す力を確実につけることを目指し、出題傾向や回答方法などを練習することで本番に備えます。(演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	8. 授業概要と評価方法の説明、TOEIC ついて、Greetings and Introduction 9. Pre-test 10. Unit-1 提案-時制 1 11. Unit-2 提案-時制 2 12. 復習 (時制) 13. Unit-3 会話を始める-助動詞 14. 復習 (助動詞) 8. Unit-4 ニュース報道-フレーズリーディング 9. 復習 (フレーズリーディング) 10. Unit-5 義務-代名詞 11. 復習 (代名詞) 12. Unit-6 理由-前置詞 13. 復習 (前置詞) 14. 前期まとめ 15. 前期まとめ
使用テキスト ・教材等	The TOEIC Test Trainer Target 650 (Cengage Learning) 練習問題 (プリント)
成績評価方法 及び 基準	期末試験 (筆記): 80 点、授業内での演習: 20 点、計 100 点満点中 60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語でテレビ番組、ニュース、映画などを観て、発音やスピードに慣れるよう努める。 英字新聞、英語の小説、コラムなどを読むことで文法や読解力を向上させてください。
履修に 当たっての 留意点	TOEIC のスコアアップを目指すため学習意欲を持って、積極的に授業に参加してください。

科目名	英検・TOEIC 対策 I ① (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	塩瀬 史子 (実務経験: 外資系航空会社にて 24 年間乗務。スーパーバイザーとして人材育成やトレーニングのインストラクター、チェックフライト等の業務指導にも携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>航空業界で活躍するには英語の資格、TOEIC の高い得点が必要となります。</p> <p>前期に引き続き、生徒の学習意欲を維持できるよう工夫しながら授業を進めます。</p> <p>後期では問題を解くスピードを上げられるようポイントをつかみ、更に集中力をつけ、スコアアップに努めます。(講義)</p> <p>出題パターンや苦手分野に力を入れて、読む、書く、聞く、話す力を確実につけることを目指します。(演習)</p> <p>就職試験が本格化しますので、役立つ英語にも取り組みます。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期の復習 2. Unit-7 苦情—接続詞 3. 復習 (接続詞) 4. Unit-8 交通情報—スキヤニング 5. 復習 (スキヤニング) 6. Unit-9 Yes/No で答える質問—関係詞 7. 復習 (関係詞) 8. Unit-10 意見—分詞構文 9. 復習 (分詞構文) 10. Unit-11 意見の一致・不一致—仮定法 11. 復習 (仮定法) 12. Unit-12 会議—スキミング 13. 復習 (スキミング) 14. Post—Test 15. 後期まとめ
使用テキスト ・教材等	The TOEIC Test Trainer Target 650 (Cengage Learning) 復習プリント
成績評価方法 及び 基準	期末試験 (筆記): 80 点、授業内での演習: 20 点、計 100 点満点中 60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語でテレビ番組、ニュース、映画などを観て、発音やスピードに慣れるよう努める。 英字新聞、英語の小説、コラムなどを読むことで文法や読解力を向上させてください。
履修に 当たっての 留意点	TOEIC のスコアアップを目指すため学習意欲を持って、積極的に授業に参加してください。

科目名	英検・TOEIC 対策 I ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	土屋 真実 (実務経験：全日本空輸株式会社にて 4 年間客室乗務業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	この授業では TOEIC L&R に必要な知識と対策を学ぶ。 各セクションの形式を熟知し、問題を繰り返し解くことでより高い点数を狙っていく。 また、テスト対策だけではなく、語彙力や文法の基礎力、頻出表現の定着を図ることで、 英語の運用能力を向上させていく。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、レベルチェック 2. 1 章 L:What Which の設問 R:動詞の時制 3. 1 章 L:Part4 R:Part6 Part7 4. 2 章 L:Who What の設問 R:自動詞と他動詞 5. 2 章 L:Part4 R:Part6 Part7 6. 3 章 L:Which Who の設問 R:主語と動詞の一致 7. 3 章 L:Part4 R:Part6 Part7 8. 4 章 L:Where Why の設問 R:動名詞 9. 4 章 L:Part4 R:Part6 Part7 10. 5 章 L:When How+形容詞/副詞の設問 R:不定詞 11. 5 章 L:Part4 R:Part6 Part7 12. 6 章 L:Why Where の設問 R:副詞 13. 6 章 L:Part4 R:Part6 Part7 14. 7 章 L:How 前置詞+Which の設問 R:分詞 15. 7 章 L:Part4 R:Part6 Part7
使用テキスト ・教材等	ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ
成績評価方法 及び 基準	授業時の単語テスト及び、定期テスト 計 100 点満点中、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	履修内容の復習 単語テストの予習
履修に 当たっての 留意点	英文は必ず声に出すこと、正しい発音で発声すること

科目名	英検・TOEIC 対策 I ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	土屋 真実 (実務経験：全日本空輸株式会社にて 4 年間客室乗務業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	この授業では TOEIC L&R に必要な知識と対策を学ぶ。 各セクションの形式を熟知し、問題を繰り返し解くことでより高い点数を狙っていく。 また、テスト対策だけではなく、語彙力や文法の基礎力、頻出表現の定着を図ることで、 英語の運用能力を向上させていく。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 8 章 L:How+形容詞/副詞、人間関係の設問 R:名詞の可算、不可算 2. 8 章 L:Part4 R:Part6 Part7 3. 9 章 L:Yes/No 形式、問題点を問う設問 R:自動詞と他動詞 4. 9 章 L:Part4 R:Part6 Part7 5. 10 章 L:Or の入った疑問、職業を問う設問 R:接続詞と接続副詞 6. 10 章 L:Part4 R:Part6 Part7 7. 11 章 L:付加疑問文、提案を問う設問 R:受動態と使役 8. 11 章 L:Part4 R:Part6 Part7 9. 12 章 L:提案/勧誘の文、行動を問う設問 R:関係詞 10. 12 章 L:Part4 R:Part6 Part7 11. 13 章 L:依頼/許可の文、会話の場所を問う設問 R:形容詞 12. 13 章 L:Part4 R:Part6 Part7 13. 14 章 L:意外な応答、最も～なのは？を問う設問 R:前置詞 14. 14 章 L:Part4 R:Part6 Part7 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ
成績評価方法 及び 基準	授業時の単語テスト及び、定期テスト 計 100 点満点中、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	履修内容の復習 単語テストの予習
履修に 当たっての 留意点	英文は必ず声に出すこと、正しい発音で発声すること

科目名	英検・TOEIC 対策 I ③ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	佐藤 麻希 (実務経験: 名港海運(株)にて 2 年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて 2 年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英検・TOEIC 対策 I は、場面ごとの英語表現・語彙を覚えることで、英語力をはかる目安として様々な業界で活用されている TOEIC テストで、航空業界就職に必要とされる 700 点以上獲得を目指すことを目的とします。 授業の方法としては、問題を解くだけでなく、正解となった理由を引き出すことで、どんな問題にも対応できる力を身につけていきます。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Listening Part1-4 提案・勧誘・承諾等の語彙と表現を学び、正解を増やす 2. Reading Part5-7 時制問題への対応力をつける 3. Listening Part1-4 相手の意図を確認する表現を学ぶ 4. Reading Part5-7 時を表す副詞節における時制問題への対応力をつける 5. Listening Part1-4 会話の始まりと返答例を学び、正解をふやす 6. Reading Part5-7 助動詞問題を解くコツを学ぶ 7. Listening Part1-4 ニュース関連問題への対応力をつける 8. Reading Part5-7 フレーズリーディング方法を利用して長文を読む 9. Listening Part1-4 相手に義務を伝える表現を学ぶ 10. Reading Part5-7 代名詞の役割と出題のパターンを知る 11. Listening Part1-4 理由を問う表現を学習する 12. Reading Part5-7 前置詞についての知識を増やす 13. Listening Part1-4 苦情を伝える直接表現と間接表現を学ぶ 14. Reading Part5-7 接続詞の役割と意味を学び読解力を伸ばす前置詞 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	新訂版 TOEIC L&R テストへようこそ
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする 毎回行う単語テストの結果も加味する
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること

科目名	英検・TOEIC 対策 I ③ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	佐藤 麻希 (実務経験: 名港海運(株)にて 2 年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて 2 年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英検・TOEIC 対策 I は、前期に引き続き、場面ごとの英語表現・語彙を覚えることで、英語力をはかる目安として様々な業界で活用されている TOEIC テストで、以前獲得した点数より 100 点以上上の獲得を目指すことを目的とします。 授業の方法としては、問題を解くだけでなく、正解となった理由を引き出すことで、どんな問題にも対応できる力を身につけていきます。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Listening Part1-4 道路状況を伝える際の語彙と表現を学び、正解を増やす 2. Reading Part5-7 スキャニング技術を身につけて読解スピードをあげる 3. Listening Part1-4 Yes/No 疑問文への解答のコツを学ぶ 4. Reading Part5-7 関係代名詞と関係副詞について学ぶ 5. Listening Part1-4 意見を求めたり述べるときの表現を学ぶ 6. Reading Part5-7 分詞構文問題への対応力をつける 7. Listening Part1-4 意見の一致及び不一致を伝える表現を学ぶ 8. Reading Part5-7 仮定法を学び正解を増やす 9. Listening Part1-4 会議の目的や進行状況について素早く理解する力をつける 10. Reading Part5-7 スキミング技術について学び、活用できるようにする 11. Listening Part1-4 模試 100 問一解答及び解説 12. Reading Part5-7 模試 100 問一解答及び解説 13. Listening Part1-4 模試 100 問一解答及び解説 14. Reading Part5-7 模試 100 問一解答及び解説 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	新訂版 TOEIC L&R テストへようこそ
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする 毎回行う単語テストの結果も加味する
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること

科目名	英検・TOEIC 対策 I ④ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	大八木 香織 (実務経験: 名古屋国際サービス株式会社にて 3 年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>TOEIC 各パートについての出題形式、傾向を解説。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TOEIC の解法テクニックを身につけることにより、解答時間の短縮を図り、得点 UP を目指します。 ・ 特に Part5,6 の頻出文法項目の確認、すべての Part の語彙を強化することを目的とします。 ・ 練習問題を数多くこなし、時間内に正確に問題を解ける力を身につけます。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション (授業の進め方、テキストについて、TOEIC について) 2. Unit 1 Part 1 写真描写 人物 3. Unit 1 Part 1 写真描写 風景 4. Unit 3 Part 2 疑問詞、付加疑問文 5. Unit 3 Part 2 提案 態・時制 6. Unit 4 Part 5 品詞 7. Unit 4 Part 5 態・時制 接続詞と前置詞 8. Unit 5 Part 5 接続詞・前置詞 9. Unit 5 Part 5 代名詞 10. Unit 6 Part 5 関係代名詞 11. Unit 6 Part 3 先読み 12. Unit 7 Part 3 目的を問う問題 13. Unit 7 Part 3 意図問題 14. Part 3 図表問題 15. ハーフ模試
使用テキスト ・教材等	Welcome to the TOEIC L&R TEST (New Edition)
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容・定期テストなどを総合評価、100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には、単語のテストの準備。各 Unit の新出単語のチェック。 授業後には復習を必ず行う。
履修に 当たっての 留意点	単語テストは 40 問中 30 問を合格とする。不合格者は次回の授業で再試を行う。

科目名	英検・TOEIC 対策 I ④ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	大八木 香織 (実務経験: 名古屋国際サービス株式会社にて 3 年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<ul style="list-style-type: none"> ・ TOEIC 各パートについての出題形式、傾向を解説。 ・ TOEIC の解法テクニックを身につけることにより、解答時間の短縮を図り、得点 UP を目指します。 ・ 問題を数多くこなし、時間内に正確に問題を解く力をつけます。 ・ 頻出会話フレーズの学習や基本的な文法事項の復習により総合的な英語運用能力の向上も目指します。 (講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. TEST 1 (リスニングセクション問題実施後解説) 2. TEST 1 (リーディングセクション) 3. TEST 1 (リーディングセクション解説) 4. TEST 2 (リスニングセクション問題実施後解説) 5. TEST 2 (リーディングセクション) 6. TEST 2 (リーディングセクション解説) 7. リスニング (意図問題・グラフィック問題のポイント) 8. リーディング (Part 6 文選択問題) 9. TEST 3 (リスニングセクション問題実施後解説) 10. TEST 3 (リーディングセクション) 11. TEST 3 (リーディングセクション解説) 12. リスニング (3 人の会話) 13. リーディング (トリプルパッセージ) 14. リーディング (文章を早く正確に読むためには) 15. 後期末テスト (リスニング)
使用テキスト ・教材等	TOEIC L&R テスト 至高の模試 600 問
成績評価方法 及び 基準	期末試験: 80 点、授業参加内容・課題、小テスト等: 20 点 計 100 点満点中 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	新出単語の復習、小テストの準備 授業外でも英語を積極的に聴いたり、読んだりする機会を作る (ニュース、英字新聞など)
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。小テストを行い、不合格者には再テストを行います。

科目名	英文法クリニック I ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	佐藤 麻希 (実務経験: 名港海運(株)にて 2 年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて 2 年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英文法クリニック I は、TOEIC テスト・リーディングパートの 5 と 6 に出題される英文法に焦点をあて、各項目の理解を深めつつ実際のテストでの対応力を高めることで、目標スコアを取得することを目的とします。授業の方法としては、問題を解くだけでなく、正解となった理由を引き出すことで、どんな問題にも対応できる力を身につけていきます。 (講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 確認テスト 英文法理解度テストを行い、現在の文法力を知る 2. 品詞① 【名詞】 の接尾辞を覚えて、品詞問題への対応力を高める 3. 品詞② 【形容詞】 の働きと接尾辞を覚えて、品詞問題を解くコツを身につける 4. 品詞③ 【副詞】【動名詞】 の働きについて理解を深める 5. 比較① 【比較級】 について学び、問題パターンを覚える 6. 比較② 【最上級】 についての理解を深め、点数アップを目指す 7. 分詞 【現在分詞】 と 【過去分詞】 の違いを理解し、解答のコツを学ぶ 8. 分詞構文① 分詞構文の成り立ちを学ぶ 9. 分詞構文② 分詞構文の構造を理解し、出題パターンを覚える 10. 接続詞① 接続詞の役割と意味を覚え、適切な接続詞を選択できるようになる 11. 接続詞② 副詞としての働きをする接続詞について学ぶ 12. 前置詞① 前置詞と接続詞の判別の問題の解答のコツを身につける 13. 小テスト① 第 2 講から第 6 講で学んだ文法に関する確認小テスト 14. 小テスト② 第 7 講から第 12 講で学んだ文法に関する確認小テスト 15. 前期まとめ
使用テキスト ・教材等	TOEIC L&R TEST 990 点獲得 Part 5 & 6 難問模試
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること

科目名	英文法クリニック I ① (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	佐藤 麻希 (実務経験: 名港海運(株)にて 2 年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて 2 年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	前期に引き続き、TOEIC テストによく出題される英文法に焦点をあて、各項目の理解を深めつつ実際のテストでの対応力を高めることで、より高いスコアを取得することを目的とします。授業の方法としては、問題を解くだけでなく、正解となった理由を自ら考え説明できるようにすることで、どんな問題にも対応できる力を身につけていきます。 (講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 代名詞 代名詞の働きと語形について理解を深める 2. 関係詞① 【関係代名詞】の働きを覚え、問題への対応力を高める 3. 関係詞② 【関係副詞】の働きを覚え、問題への対応力を高める 4. 関係詞③ 関係詞が出題されたときの解答方法を身につける 5. 時制① 時制を【点】で考えたときの文法について学ぶ 6. 時制② 時制を【線】で考えたときの文法について学ぶ 7. 時制③ 時制問題に取り組み、理解を深める 8. 仮定法 仮定法を理解し、日常でも活用できるようにする 9. 動詞の形① 【受動態】について学ぶ 10. 動詞の形② 様々な動詞の活用法について理解を深め、対応力をつける 11. 前置詞 TOEIC に頻出の前置詞について再度取り組む 12. 不定詞 英文読解に不可欠な不定詞の働きを学ぶ 13. 小テスト① 第 1 講から第 7 講で学んだ文法に関する確認小テスト 14. 小テスト② 第 8 講から第 12 講で学んだ文法に関する確認小テスト 15. 後期まとめ
使用テキスト ・教材等	TOEIC L&R TEST 990 点獲得 Part 5 & 6 難問模試
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること

科目名	英文法クリニック I ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	松下 和子 (実務経験: ECC 外語学院にて英会話及び TOEIC、英検等英語資格試験対策講座の講師歴約 20 年、大手企業、大学での TOEIC、英検、英会話講師歴約 10 年)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	あいまいになっている英文法の知識を文法項目毎に確実に理解する。問題を解く際、根拠を持って確実に正解できるように反復練習をしていくことで理解を深め、TOEIC スコアアップにつなげていく
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	16. シラバスの確認及び文法問題を解いていく 17. ターゲット文法を理解後、問題を解いて解説をしていく 18. ターゲット文法を理解後、問題を解いて解説をしていく 19. ターゲット文法を理解後、問題を解いて解説をしていく 20. ターゲット文法を理解後、問題を解いて解説をしていく 21. TOEIC Part 5 の品詞問題を使って問題に取り組む及び解説 22. TOEIC Part 5 の品詞問題を使って問題に取り組む及び解説 23. TOEIC Part 5 の品詞問題を使って問題に取り組む及び解説 24. TOEIC Part 5 の品詞問題を使って問題に取り組む及び解説 25. TOEIC Part 5 & 6 の品詞問題を使って問題に取り組む及び解説 26. TOEIC Part 5 & 6 の品詞問題を使って問題に取り組む及び解説 27. TOEIC Part 5 & 6 の品詞問題を使って問題に取り組む及び解説 28. TOEIC Part 5 & 6 の模擬試験の実施 29. TOEIC Part 5 & 6 の模擬試験の解説 30. 期末テスト
使用テキスト ・教材等	Essential English Grammar for TOEIC TEST TOEIC TEST 英文法でるとこだけ
成績評価方法 及び 基準	期末テスト 50 点、TOEIC スコア 30 点、平常点 20 点の計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	TOEIC 公式問題など実際の問題形式で学習し、適切な時間配分などを身につけ、スコアアップを目指すこと
履修に 当たっての 留意点	毎レッスンテキスト、ノート、辞書を持参し、積極的に授業に参加すること

科目名	英文法クリニック I ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	松下 和子 (実務経験: ECC 外語学院にて英会話及び TOEIC、英検等英語資格試験対策講座の講師歴約 20 年、大手企業、大学での TOEIC、英検、英会話講師歴約 10 年)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	あいまいになっている英文法の知識を文法項目毎に確実に理解する。問題を解く際、根拠を持って確実に正解できるように反復練習をしていくことで理解を深め、TOEIC スコアアップにつなげていく
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. シラバスの確認及び文法問題を解いていく 2. ターゲット文法を理解後、問題を解いて解説をしていく 3. ターゲット文法を理解後、問題を解いて解説をしていく 4. ターゲット文法を理解後、問題を解いて解説をしていく 5. ターゲット文法を理解後、問題を解いて解説をしていく 6. TOEIC Part 5 の品詞問題を使って問題に取り組む及び解説 7. TOEIC Part 5 の品詞問題を使って問題に取り組む及び解説 8. TOEIC Part 5 の品詞問題を使って問題に取り組む及び解説 9. TOEIC Part 5 の品詞問題を使って問題に取り組む及び解説 10. TOEIC Part 5 & 6 の品詞問題を使って問題に取り組む及び解説 11. TOEIC Part 5 & 6 の品詞問題を使って問題に取り組む及び解説 12. TOEIC Part 5 & 6 の品詞問題を使って問題に取り組む及び解説 13. TOEIC Part 5 & 6 の模擬試験の実施 14. TOEIC Part 5 & 6 の模擬試験の解説 15. 期末テスト
使用テキスト ・教材等	Essential English Grammar for TOEIC TEST TOEIC TEST 英文法でとこだけ
成績評価方法 及び 基準	期末テスト 50 点、TOEIC スコア 30 点、平常点 20 点の計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	TOEIC 公式問題など実際の問題形式で学習し、適切な時間配分などを身につけ、スコアアップを目指すこと
履修に 当たっての 留意点	毎レッスンテキスト、ノート、辞書を持参し、積極的に授業に参加すること

科目名	英文法クリニック I ③ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	山田 美絵 (実務経験 : 英語塾経営 28 年間)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	TOEIC 各パートについての出題形式、傾向を解説、演習を繰り返し行い、TOEIC500 点以上取得を目指す。特に、TOEIC®に出題される文法の鉄則を身につける。 (演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. TOEIC®テストの概要 2. 動詞と副詞の位置 3. 形容詞と副詞の位置 4. 名詞と形容詞の位置 5. 自動詞と副詞の位置 6. 他動詞/前置詞と名詞の位置 7. 他動詞+名詞と副詞の位置 8. 受動態と副詞の位置 9. 所有格/冠詞+前置詞と名詞の位置 10. 補語と形容詞の位置 11. 人と行為を表す名詞の判別 12. 現在分詞と過去分詞の判別 13. 複合名詞 14. 比較表現 15. 復習
使用テキスト ・教材等	TOEIC® TEST 英文法出るところだけ!
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容、筆記・Mini Test を総合評価、100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	毎週行う復習テストのために、自宅学習を必ずすること。 TOEIC® 目標スコア達成のために必要な語彙学習を家庭で行うこと。
履修に 当たっての 留意点	苦手な個所をドリル練習することで、Part 5, 6 のスコアアップを狙うこと。

科目名	英文法クリニック I ③ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	山田 美絵 (実務経験 : 英語塾経営 28 年間)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	TOEIC 各パートについての出題形式、傾向を解説、演習を繰り返し行い、TOEIC500 点以上取得を目指す。特に、TOEIC®に出題される文法の鉄則を身につける。 (演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期の総復習 2. 単数形・複数形の判別 3. 動名詞 4. 名詞と受動態の関係 5. 時制 6. 接続詞/前置詞の判別 7. 文頭の空所 8. 前置詞+ing/-ed 9. 慣用表現 10. 前置詞の基本イメージ 11. 名詞修飾 12. some/all/most of the 13. 代名詞 14. 関係詞 15. 総復習
使用テキスト ・教材等	TOEIC® TEST 英文法出るところだけ!
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容、筆記・Mini Test を総合評価、100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	毎週行う復習テストのために、自宅学習を必ずすること。 TOEIC® 目標スコア達成のために必要な語彙学習を家庭で行うこと。
履修に 当たっての 留意点	苦手な個所をドリル練習することで、Part 5, 6 のスコアアップを狙うこと。

科目名	英文法クリニック I ④ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	伊東 沙織 (実務経験: 自分未来きょういく株式会社 英会話スクール NOVA 部門にて、外国人講師採用・指導を含むマネジメント全般を 4 年半)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	到達目標: TOEIC スコア 550 以上 テキストを使用して ・基礎英文法の再学習 ・TOEIC の出題傾向に合わせた文法理解 ・TOEIC の問題演習と解説 (主に Part5, Part6) を行い、航空業界を目指すのに必要な英語の応募資格を備える。 毎回、授業の内容を復習するホームワークも実施。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1. TOEIC テストとは/簡易模試 2. TOEIC Test: Workout 300 Unit.1 動詞・主語と時制 3. TOEIC Test: Workout 300 Unit.1 動詞・主語と時制 4. TOEIC Test: Workout 300 Unit.2 主語と時制 5. TOEIC Test: Workout 300 Unit.2 主語と時制 6. TOEIC Test: Workout 300 Unit.3 頻出会話表現・動詞 7. TOEIC Test: Workout 300 Unit.3 頻出会話表現・動詞 8. TOEIC Test: Workout 300 Unit.4 文章の目的を理解する 9. TOEIC Test: Workout 300 Unit.4 文章の目的を理解する 10. TOEIC Test: Workout 300 Unit.5 前置詞 11. TOEIC Test: Workout 300 Unit.5 前置詞 12. TOEIC Test: Workout 300 Unit.6 Yes/No 疑問文・接続詞 13. TOEIC Test: Workout 300 Unit.6 Yes/No 疑問文・接続詞 14. 総復習 (簡易模試) 15. 総復習 (簡易模試)
使用テキスト ・教材等	TOEIC Test: Workout 300 (南雲堂) First Primer (Revised edition) (南雲堂)
成績評価方法 及び 基準	・期末試験の筆記試験を 80 点満点で採点 ・授業時間内で行う小テストの点数を 20 点満点で採点 両方で 100 点満点のうち 60 点以上で合格
授業時間外 に必要な 学修内容	・ホームワークでの基礎文法の理解 ・授業時間内で行う小テストに向けての自主学習 ・TOEIC テストに向けての総合的な演習
履修に 当たっての 留意点	積極的に TOEIC の試験を受験し、航空業界に就職するための応募資格を備える努力を、継続的かつ積極的に行う

科目名	英文法クリニック I ④ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	伊東 沙織 (実務経験: 自分未来きょういく株式会社 英会話スクール NOVA 部門にて、外国人講師採用・指導を含むマネジメント全般を 4 年半)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	到達目標: TOEIC スコア 550 以上 テキストを使用して ・基礎英文法の再学習 ・TOEIC の出題傾向に合わせた文法理解 ・TOEIC の問題演習と解説 (主に Part5, Part6) を行い、航空業界を目指すのに必要な英語の応募資格を備える。 毎回、授業の内容を復習するホームワークも実施。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1. TOEIC Test: Workout 300 Unit.7 頻出会話表現 (電話)・接続詞と前置詞 2. TOEIC Test: Workout 300 Unit.7 頻出会話表現 (電話)・接続詞と前置詞 3. TOEIC Test: Workout 300 Unit.8 文章の目的を理解する・同義語 4. TOEIC Test: Workout 300 Unit.8 文章の目的を理解する・同義語 5. TOEIC Test: Workout 300 Unit.9 代名詞・写真の描写問題での頻出表現 6. TOEIC Test: Workout 300 Unit.9 代名詞・写真の描写問題での頻出表現 7. TOEIC Test: Workout 300 Unit.10 品詞の使い分け・頻出会話表現 (勧誘・依頼) 8. TOEIC Test: Workout 300 Unit.10 品詞の使い分け・頻出会話表現 (勧誘・依頼) 9. TOEIC Test: Workout 300 Unit.11 頻出会話表現 (オフィス)・品詞 10. TOEIC Test: Workout 300 Unit.11 頻出会話表現 (オフィス)・品詞 11. TOEIC Test: Workout 300 Unit.12 ダブルパッセージの読み方 12. TOEIC Test: Workout 300 Unit.12 ダブルパッセージの読み方 13. 総復習 (模試) 14. 総復習 (模試) 15. 進級後の勉強法について
使用テキスト ・教材等	TOEIC Test: Workout 300 (南雲堂) First Primer (Revised edition) (南雲堂)
成績評価方法 及び 基準	・期末試験の筆記試験を 80 点満点で採点 ・授業時間内で行う小テストの点数を 20 点満点で採点 両方で 100 点満点のうち 60 点以上で合格
授業時間外 に必要な 学修内容	・ホームワークでの基礎文法の理解 ・授業時間内で行う小テストに向けての自主学習 ・TOEIC テストに向けての総合的な演習
履修に 当たっての 留意点	積極的に TOEIC の試験を受験し、航空業界に就職するための応募資格を備える努力を、継続的かつ積極的に行う

科目名	インタビュー&スピーキング I ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	トラチャック・ロレイン (実務経験：なし)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their English interview and speaking skills. To achieve this students will study various styles of English interviews and daily speaking abilities. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction to this class and syllabus explanation. 2. Unit 1 Cherry Blossoms 3. Writing assignment 1 Sightseeing Spots in Japan 4. Unit 1 Are There Any Cherry Trees in Your Neighborhood? 5. Unit 2 Sushi 6. Writing assignment 2 My Favorite Japanese Food 7. Unit 2 Are There Any Good Sushi Restaurants Near Your House 8. Review of first two-units 9. Unit 3 The Great Buddha of Nara 10. Writing assignment 3 Castles and Shrines 11. Unit 3 Have You Ever Seen a Huge Buddha Statue? 12. Unit 4 The Bullet Train 13. Writing assignment 4 My Strengths and Weaknesses 14. Unit 4 Have You Ever Taken a Bullet Train? 15. First semester review and oral examination
使用テキスト ・教材等	Speech Navigator 3
成績評価方法 及び 基準	<ul style="list-style-type: none"> ● Active participation in class ● Completing Assignments in Class ● Oral Examination
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	インタビュー&スピーキング I ① (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	トラチャック・ロレイン (実務経験：なし)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	The aim of this class is for students to develop good English study habits and to improve their English interview and speaking skills. To achieve this students will study various styles of English interviews and daily speaking abilities. Completing class assignments and active participation is expected at all times. Students will also need to study outside of class hours.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Welcome back and review of syllabus. 2. Unit 5 Tokyo 3. Writing assignment 1 Which big cities in Japan have you lived in or visited 4. Unit 5 Tokyo 5. Unit 6 Convenience stores 6. Writing assignment 2 What do you usually buy at convenience stores 7. Unit 6 Convenience stores 8. Review of Units 5 and 6 9. Unit 7 Paper folding 10. Writing assignment 3 Have you ever done paper folding 11. Unit 7 Paper folding 12. Unit 8 Festivals 13. Writing assignment 4 Have you ever seen any fireworks 14. Unit 8 Festivals 15. Second semester review and preparation for examination
使用テキスト ・教材等	Speech Navigator 3
成績評価方法 及び 基準	<ul style="list-style-type: none"> ● Active participation in class ● Completing Assignments in Class ● Oral Examination
授業時間外 に必要な 学修内容	In order to succeed students will need to study reading, writing, listening and speaking outside of class time.
履修に 当たっての 留意点	Learning a foreign language like English is not easy for anyone, however with determination and practice you will get better.

科目名	インタビュー&スピーキング I ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	塩瀬 史子 (実務経験：外資系航空会社にて 24 年間乗務。スーパーバイザーとして人材育成やトレーニングのインストラクター、チェックフライト等の業務指導にも携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	国際ビジネスにおける英語対応能力は更に必要性を増しており、力をつけることでキャリア形成の幅を広げることが出来ます。 語彙力や表現力をつけ就職活動で役立つ英語力を身につけていきます。 また、情報をシェアし対策の幅を広げます。(講義) 英語を通して日本の事を学び、誇りをもって世界に発信できるよう実践練習 (様々な場面を想定したロールプレイング) を交えながらしっかりと伝える力、対応出来る力を身につけることを目標とします。(演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1. 授業概要と評価方法の説明、インタビュー&スピーキングについて、自己紹介、 2. Unit-1 Cherry Blossoms 3. 復習・練習 4. English Interview 5. Unit-2 Sushi 6. 復習・練習 7. English Interview 8. Unit-3 The Great Buddha of Nara 9. 復習・練習 10. English Interview 11. Project 1 12. 復習・練習 13. English Interview 14. ロールプレイング 15. 前期のまとめ
使用テキスト ・教材等	Speech Navigator 3 (mpi 松香フォニックス) 練習プリント
成績評価方法 及び 基準	期末試験 (実技) : 80 点 授業内での演習 : 20 点、計 100 点満点 60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	様々なシーンを想定して英語では何と云えば良いのか、どのように気持ちを伝えられるのか考え練習しましょう。
履修に 当たっての 留意点	演習の際には積極的に行動し、コミュニケーションをとってください。

科目名	インタビュー&スピーキング I ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	塩瀬 史子 (実務経験：外資系航空会社にて 24 年間乗務。スーパーバイザーとして人材育成やトレーニングのインストラクター、チェックフライト等の業務指導に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	前期で学んだ会話のレベルを更に上げ、様々なシーンにスムーズに対応出来る英語力をつけていきます。(講義) 国際ビジネスで大切なホスピタリティや異文化コミュニケーション、プレゼンテーションのスキル等、英語力だけではないコミュニケーションスキルを磨きます。(演習) ロールプレイング等、実践練習を増やして能力を高め、就職後に必要なスキルも習得します。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期の復習 2. Unit 4 The Bullet Train 3. 復習・練習 4. Unit 5 Tokyo 5. 復習・練習 6. Unit 6 Convenience Stores 7. 復習・練習 8. Project 2 9. Unit-7 Paper Folding 10. 復習・練習 11. Unit-8 Festivals 12. 復習・練習 13. Project 3 14. Activity 15. 一年間の総まとめ
使用テキスト ・教材等	Speech Navigator 3 (mpi 松香フェニックス) 練習プリント
成績評価方法 及び 基準	期末試験 (実技) : 80 点、授業内での演習 : 20 点、計 100 点満点 60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	様々なシーンで使えるよう、英語では何と言えば良いのか、どのように気持ちを伝えられるのか考え練習しましょう。
履修に 当たっての 留意点	気持ちや要件をしっかりと伝えられるよう、必要な単語やフレーズを覚え、演習の際には積極的に行動しコミュニケーションをとってください。

科目名	インタビュー&スピーキング I ③ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	大八木 香織 (実務経験：名古屋国際サービス株式会社にて 3 年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	自分のことをいろいろな話題で表現し、自分の周りの人々や物事のこと、自分の国や海外の話題についても表現できるようにすることを目的とします。 英作文の構成の基本、スピーチの構成力、プレゼン力、会話の展開力を身につけることができるようにします。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit 1 The Place I live 2. 自分の住んでいる街について話す 3. Unit 2 People around Me 4. 自分の周りの人について話す 5. 自分の家族について話す 6. Unit 3 Food 7. 自分の好きな食べ物について話す 8. 日本の伝統的な食べ物や地方の名物について話す 9. 日本以外の国について話す 10. Unit 4 Sport 11. 自分の好きなスポーツについて話す 12. Unit 5 13. 好きな音楽について話す 14. 自分について話す 15. 前期末テスト
使用テキスト ・教材等	Speech Navigator 2
成績評価方法 及び 基準	期末試験 (プレゼンテーション) : 80 点、授業参加内容・課題、授業内発表等 : 20 点 計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から、国内外の様々なことに興味を持ち、それについて自分の意見、考えを述べる ことができるようにする。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。授業中は積極的に声を出して発言、発表する。

科目名	インタビュー&スピーキング I ③ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	大八木 香織 (実務経験: 名古屋国際サービス株式会社にて 3 年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	自分のことをいろいろな話題で表現し、自分の周りの人々や物事のこと、自分の国や海外の話題についても表現できるようにすることを目的とします。 英作文の構成の基本、スピーチの構成力、プレゼン力、会話の展開力を身につけることができるようにします。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit 6 Books and Movies 2. 好きな本や映画について話す 3. 行ってみたい国について話す 4. Unit 7 Traveling 5. 思い出に残る旅行について話す 6. Unit 8 Jobs 7. 自分が目指す職業について話す 8. 学校生活について話す 9. 趣味について話す 10. 10 年後の自分を想像してみる 11. 外国人に日本を紹介する 12. 自分の尊敬する人・好きな人について話す 13. 将来の夢について話す 14. 1 年間を振り返って 15. 後期末試験
使用テキスト ・教材等	Speech Navigator 2
成績評価方法 及び 基準	期末試験 (プレゼンテーション): 80 点、授業参加内容・課題、授業内発表等: 20 点 計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から、国内外の様々なことに興味を持ち、それについて自分の意見、考えを述べる ことができるようにする。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。授業中は積極的に声を出して発言、発表する。

科目名	インタビュー&スピーキング I ④ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	張 紅燕 (実務経験：家庭教師 2 年、河合楽器にて英語講師 2 年、宮崎商事(株)にて通訳 1 年)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	To improve oral English. To improve listening ability.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit1-Unit6 + Unit1 Words 2. Unit1-Unit15 + Unit1 + Speech 3. Unit16-Unit21 + Unit1 + Words + Presentation 4. Unit22-Unit27 + Unit2 + Words 5. Unit28-Unit33 + Unit2 + Speech + Words 6. Unit34-Unit37 + Unit2 + Presentation + Review 7. Unit38-Unit42 + Review + Speech + Shadowing 8. Unit43-Unit47 + Unit3 + Words 9. Unit48-Unit54 + Unit3 + Words + Speech 10. Unit55-Unit60 + Unit3 + Speech + Shadowing 11. Unit61-Unit66 + Unit3 + Presentation + Review 12. Unit67-Unit70 + Unit4 Sports + Words 13. Unit71-Unit73 + Unit4 + Words + Speech 14. Unit74-Unit76 + Unit4 + Word + Presentation + Shadowing 15. Review Unit1-Unit4
使用テキスト ・教材等	瞬時にわかる英語リスニング大特訓 Speech Navigator 2
成績評価方法 及び 基準	Dictation + Speech 100 点満点中、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	Listening BBC + VOA + Ted speech
履修に 当たっての 留意点	Vocabulary Speaking

科目名	インタビュー&スピーキング I ④ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	張 紅燕 (実務経験：家庭教師 2 年、河合楽器にて英語講師 2 年、宮崎商事(株)にて通訳 1 年)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	To improve oral English. To improve listening ability.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit77-Unit79 + Unit1 Words + Review 2. Unit80-Unit82 + Unit5 Words + Speech 3. Unit83-Unit85 + Unit5 Words + Shadowing 4. Unit86-Unit88 + Unit6 Words + Speech 5. Review 6. Unit5 Music + Words + Shadowing 7. Unit6 + Speech + Shadowing 8. Review Unit1-Unit3 9. Unit7 + Words + Speech 10. Unit7 + Words + Presentation 11. Unit8 + Words + Speech 12. Unit8 + Words + Shadowing 13. Unit8 + Words + Review 14. Unit8 + Words + Review 15. Review + Notebook
使用テキスト ・教材等	瞬時にわかる英語リスニング大特訓 Speech Navigator 2
成績評価方法 及び 基準	Dictation + Speech 100 点満点中、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	Listening BBC + VOA + Ted speech
履修に 当たっての 留意点	Vocabulary Speaking

科目名	リーディング&ライティング I ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	張 紅燕 (実務経験：家庭教師 2 年、河合楽器にて英語講師 2 年、宮崎商事(株)にて通訳 1 年)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	Firstly, To get high and their ideal scores. Secondly, To improve their oral English as well.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第 1 回模擬試験 + 単語 → Part5 2. 第 2 回模擬試験 + 単語 → Part5 3. 第 2 回 + 第 3 回 → Part5 4. 第 3 回 + 復習 (第 1 回 + 2 回 + 3 回) まとめ , Part5 5. 第 1 回模擬試験 + 単語 → Part6 6. 第 2 回模擬試験 + 単語 → Part6 7. 第 3 回模擬試験 + 単語 → Part6 8. 第 1 回 + 第 2 回 + 第 3 回 → Part6 Review 9. 第 1 回 + 第 2 回 + 第 3 回 + 単語テスト + Review + Notebook 10. 第 1 回 → Part7 + 単語 11. 第 2 回 + Part7 + 単語 + 同型 12. 第 3 回 + Part7 + 単語 + 句型 + test 13. 第 1 回 + 第 2 回 + 第 3 回 + Part7 + Notebook 14. 第 1 回 + 第 2 回 + 第 3 回 + Notebook + oral English + Reading 15. 全部 Review + Notebook + oral English + Reading
使用テキスト ・教材等	TOEIC L&R テスト
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	Reading (Ted video , BBC , VOA News)
履修に 当たっての 留意点	Ideas + actions + input more , please. Be confident to output.

科目名	リーディング&ライティング I ① (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	張 紅燕 (実務経験：家庭教師 2 年、河合楽器にて英語講師 2 年、宮崎商事(株)にて通訳 1 年)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	Firstly, To get high and their ideal scores. Secondly, To improve their oral English as well.
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Part5 + Part 6 Review → 第 1 回 2. article + Part 7 → 第 1 回 3. Notebook + article Review 4. article 5. Notebook + article + Review 6. Part5 + Part 6 Review → 第 2 回 7. article + Part 7 → 第 2 回 8. Notebook + article + Review 9. article 10. Notebook + article + Review 11. article 12. Test + article + Notebook 13. Test + Vocabulary Test + article 14. speech + article + Notebook Review 15. speech + 第 3 回 Part 7 + Notebook Review
使用テキスト ・教材等	TOEIC L&R テスト
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	Reading + Vocabulary (Ted video , BBC , VOA web)
履修に 当たっての 留意点	Speaking + Reading + Writing

科目名	リーディング&ライティング I ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	塩瀬 史子 (実務経験: 外資系航空会社にて 24 年間乗務。スーパーバイザーとして人材育成やトレーニングのインストラクター、チェックフライト等の業務指導にも携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>リーディング&ライティング I では TOEIC のみならず日常生活においても基本的で重要な文法を集中的に学習します。</p> <p>様々な分野の文章読解力をつけ、文章を書く力も高めます。(講義)</p> <p>実践形式をとって多くの過去問題や練習問題に取り組み 集中力をつけて TOEIC のスコアを伸ばせるよう工夫していきます。(演習)</p> <p>航空業界で学んだ経験を活かし、生徒の学習意欲を高められるよう工夫しながら授業を進めていきます。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業概要と評価の説明、自己紹介、挨拶 理解度チェック 2. 第一回 模擬試験 Part 5 3. Part 5 練習問題 4. 第一回 模擬試験 Part 6 5. Part 6 練習問題 6. 第一回 模擬試験 Part 7 7. Part 7 練習問題 8. 第一回 Part 5. 6. 7. 復習 9. 第二回 模擬試験 Part 5 10. Part 5 練習問題 11. 第二回 模擬試験 Part 6 12. Part 6 練習問題 13. 第二回 模擬試験 Part 7 14. Part 7 練習問題 15. 第二回 Part 5. 6. 7. 復習
使用テキスト ・教材等	スコアが上がる TOEIC L&R テスト本番模試 600 問 改訂版 (旺文社) 練習問題プリント
成績評価方法 及び 基準	期末試験 (筆記) 80 点満点、授業内での Quiz、演習等 20 点満点 計 100 点満点中 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	常に文法を意識し、文章の作成や会話が出来るように努力する。また、疑問に思うことは 納得するまで調べる。日常生活において使えるフレーズをしっかりと覚え使ってみる。
履修に 当たっての 留意点	意識を高く持ち授業に参加することは勿論、苦手な部分を克服し前向きに学習すること。

科目名	リーディング&ライティング I ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	塩瀬 史子 (実務経験: 外資系航空会社にて 24 年間乗務。スーパーバイザーとして人材育成やトレーニングのインストラクター、チェックフライト等の業務指導に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>前期に引き続き TOEIC のスコアアップを目指します。 生徒の学習意欲を維持できるよう工夫しながら授業を進めます。 更に語彙力を高め、語句や表現を習得し読み書きの幅を広げます (講義)</p> <p>多くの問題を解くことで出題パターンや苦手を知ることにより、読む、書く、聞く、話す力を確実につけることを目指し、出題傾向や回答方法などを練習することで本番に備えます。(演習)</p> <p>就職活動に向けて役立つ英語力や知識も増やします。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期の復習 2. 第三回 模擬試験 Part 5 3. Part 5 練習問題 4. 第三回 模擬試験 Part 6 5. Part 6 練習問題 6. 第三回 模擬試験 Part 7 7. Part 7 練習問題 8. Part 5 傾向と対策 9. Part 6 傾向と対策 10. Part 7 傾向と対策 11. 練習問題 12. 練習問題 13. 後期まとめ 14. 一年間のまとめ 15. 一年間のまとめ
使用テキスト ・教材等	スコアが上がる TOEIC L&R テスト本番模試 600 問 改訂版 (旺文社) 練習問題プリント
成績評価方法 及び 基準	期末試験 (筆記): 80 点、授業内での演習: 20 点、計 100 点満点中 60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語でテレビ番組、ニュース、映画などを観て、発音やスピードに慣れるよう努める。 英字新聞、英語の小説、コラムなどを読むことで文法や読解力を向上させてください。
履修に 当たっての 留意点	TOEIC のスコアアップを目指すため学習意欲を持って、積極的に授業に参加してください。

科目名	リーディング&ライティング I ③ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	村田 愛美 (実務経験：オーストラリアの商社にて 3 年間、貿易業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英文の基本構造を理解し、平易でありかつまとまりのある文章を書く能力を養成することを目的とする。また、英語のパラグラフのしくみを理解した上で、自分の考えを論理的で独立性の高い文にまとめる演習を行う。それらを通して語彙や文法の定着を図り、ライティングやスピーキングにも活かせる様々な英語表現を習得する。また、その技能を TOEIC スコアアップに繋げる訓練を行う。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	16. 現在形 17. TOEIC Part1 対策 18. 過去形 19. TOEIC Part2 対策 20. 未来系 21. TOEIC Part3 対策 22. 進行形 23. TOEIC Part4 対策 24. 完了形 25. TOEIC Part5 対策 26. 助動詞 27. TOEIC Part6 対策 28. 動詞 29. TOEIC Part7 対策 30. Review
使用テキスト ・教材等	スコアが上がる TOEIC L&R テスト本番模試 600 問 改訂版
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に語彙増強に努め、目標の英検級の合格、及び TOEIC スコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかりと暗記すること

科目名	リーディング&ライティング I ③ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	村田 愛美 (実務経験 : オーストラリアの商社にて 3 年間、貿易業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英文の基本構造を理解し、平易でありかつまとまりのある文章を書く能力を養成することを目的とする。また、英語のパラグラフのしくみを理解した上で、自分の考えを論理的で独立性の高い文にまとめる演習を行う。それらを通して語彙や文法の定着を図り、ライティングやスピーキングにも活かせる様々な英語表現を習得する。また、その技能を TOEIC スコアアップに繋げる訓練を行う。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 形容詞 2. TOEIC Part1 対策 3. 副詞 4. TOEIC Part2 対策 5. 前置詞 6. TOEIC Part3 対策 7. 接続詞 8. TOEIC Part4 対策 9. 関係詞 10. TOEIC Part5 対策 11. 比較 12. TOEIC Part6 対策 13. 仮定法 14. TOEIC Part7 対策 15. Review
使用テキスト ・教材等	スコアが上がる TOEIC L&R テスト本番模試 600 問 改訂版
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に語彙増強に努め、目標の英検級の合格、及び TOEIC スコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかりと暗記すること

科目名	リーディング&ライティング I ④ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	佐藤 麻希 (実務経験: 名港海運(株)にて 2 年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて 2 年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	リーディング&ライティング I は、TOEIC リーディング Part 7 長文問題を、時間を意識しながら解答することと、決められた時間内にひとつでも多くの問題を解けるような力をつけることを目標にします。そのための語彙力アップは必須のため、毎回の授業で語彙テストを実施します。そして、問題出題の傾向を学び、それぞれの問題の解法のコツ・ヒントを身につけることで、英語力をはかる目安として様々な業界で活用されている TOEIC テストにおいて、航空業界就職に必要とされる 650 点獲得を目指すことを目的とします。授業の方法としては、TOEIC 問題に取り組みながら音読も行い、接客業に必要な英語の基礎能力を身につけていきます。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. スラッシュリーディングの方法を学ぶ 2. テスト 1: 広告、チャット、メッセージ問題に取り組む 3. テスト 1: リビュー、インフォメーション、広告問題に取り組む 4. テスト 1: ウェブページ、レター、チャット問題に取り組む 5. テスト 1: レター、記事&メモ、ダブルレター問題に取り組む 6. テスト 1: レター&メール&図面問題に取り組む 7. テスト 1: 広告&チャット&メール問題に取り組む 8. テスト 1: 広告&ダブルメール問題に取り組む 9. テスト 1: 第 2 講から 8 講までの復習 10. テスト 2: ポストカード、チャット、お知らせ問題に取り組む 11. テスト 2: レター、記事、旅程表問題に取り組む 12. テスト 2: チャット、メール、インフォメーション問題に取り組む 13. テスト 2: 記事、アンケート&レポート問題に取り組む 14. テスト 2: プレスリリース&メール問題に取り組む 15. テスト 2: 第 10 講から 14 講までの復習
使用テキスト ・教材等	スコアが上がる TOEIC L&R テスト本番模試 600 問 改訂版
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。 また、授業内で行う単語テストの結果も加味する。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと。
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること。

科目名	リーディング&ライティング I ④ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	佐藤 麻希 (実務経験：名港海運(株)にて2年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて2年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	リーディング&ライティング I は、前期で身につけた知識と語彙力を駆使し、TOEICリーディング Part 7 長文問題の正解率をあげることを目標にします。そのための語彙力アップは必須のため、後期も毎回の授業で語彙テストを実施します。そして、問題出題の傾向を学び、それぞれの問題の解法のコツ・ヒントを身につけることで、英語力をはかる目安として様々な業界で活用されている TOEIC テストにおいて、前期より、より良い点数を獲得することを目的とします。 授業の方法としては、TOEIC 問題に取り組みながら音読も行い、接客業に必要な英語の基礎能力を身につけていきます。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. テスト 2：リスト&スケジュール&メール問題に取り組む 2. テスト 2：商品説明&レビュー&返信問題に取り組む 3. テスト 2：お知らせ&メール&記事問題に取り組む 4. 第 1 講から 3 講までの復習 5. テスト 3：請求書、アナウンス、広告問題に取り組む 6. テスト 3：クーポン、チャット、登録カード問題に取り組む 7. テスト 3：記事、チャット、お知らせ問題に取り組む 8. テスト 3：メール、お知らせ&メール問題に取り組む 9. テスト 3：広告&ブックレビュー問題に取り組む 10. テスト 3：パンフレット&用紙&メール問題に取り組む 11. テスト 3：記事&メール&テキストメッセージ問題に取り組む 12. テスト 3：ダブルメール&用紙問題に取り組む 13. 第 5 講から 12 講までの復習 14. 公式問題集 8 の Part 7 に取り組む 15. 第 14 講の解答と解説を行う
使用テキスト ・教材等	スコアが上がる TOEIC L&R テスト本番模試 600 問 改訂版
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。 また、授業内で行う単語テストの結果も加味する。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと。
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること。

科目名	リスニング演習 I ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	塩瀬 史子 (実務経験: 外資系航空会社にて 24 年間乗務。スーパーバイザーとして人材育成やトレーニングのインストラクター、チェックフライト等の業務指導にも携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	リスニング演習 I では TOEIC の形式や特徴をつかみ効率的な解き方を身につけます。よりよく聞き取るために語彙力をつけ、人の動作、関連性、モノの配置など状況を把握し適切に応えられるようにします。航空業界で学んだ経験を活かし、生徒の学習意欲を高められるよう工夫しながら授業を進めたいと思います。(講義) 繰り返し練習することにより集中力を高めポイントをつかめるようにします。(演習) 国別の英語の発音にも慣れるよう学習します。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の概要と評価方法の説明、Greetings and Introduction 2. 第一回 模擬試験 Part 1 3. Part 1 練習問題 4. 第一回 模擬試験 Part 2 5. Part 2 練習問題 6. 第一回 模擬試験 Part 3 7. Part 3 練習問題 8. 第一回 模擬試験 Part 4 9. Part 4 練習問題 10. 復習 傾向と対策 11. 第二回 模擬試験 Part 1 12. Part 1 練習問題 13. 第二回 模擬試験 Part 2 14. Part 2 練習問題 15. 前期のまとめ
使用テキスト ・教材等	スコアが上がる TOEIC L&R テスト本番模試 600 問 改訂版 (旺文社) 練習問題プリント
成績評価方法 及び 基準	期末試験 リスニングテスト 100 点満点中 60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	映画やテレビ番組など英語音声があるものは英語で聞いてみましょう。 空港に出向くなど、なりたい自分をイメージして学習意欲を高めましょう
履修に 当たっての 留意点	リスニングで大切な集中力を繰り返し練習して身につけましょう。 疑問点はその場で解決するよう積極的に質問してください。

科目名	リスニング演習 I ① (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	塩瀬 史子 (実務経験: 外資系航空会社にて 24 年間乗務。スーパーバイザーとして人材育成やトレーニングのインストラクター、チェックフライト等の業務指導にも携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	前期に引き続き語彙力をつけ、戦略的にあらゆるシーンでの聞く力を高め、より効率的に TOEIC のスコアを伸ばします。航空業界での経験を活かし実践で役に立つ英語の聞き取りにも力を入れます。(講義) 繰り返し練習することにより、形式や特徴をつかんで攻略します。集中力を高められるよう工夫しながら取り組みます。音声のスピード、国別の英語の発音なども考慮して練習します。(演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第二回 模擬試験 Part 3 2. Part 3 練習問題 3. 第三回 模擬試験 Part 4 4. Part 4 練習問題 5. 復習 傾向と対策 6. 第三回 模擬試験 Part 1 7. Part 1 練習問題 8. 第三回 模擬試験 Part 2 9. Part 2 練習問題 10. 第三回 模擬試験 Part 3 11. Part 3 練習問題 12. 第三回 模擬試験 Part 4 13. Part 4 練習問題 14. 後期復習 15. 1 年間のまとめ
使用テキスト ・教材等	スコアが上がる TOEIC L&R テスト本番模試 600 問 改訂版 (旺文社) 練習問題プリント
成績評価方法 及び 基準	期末試験 リスニングテスト 100 点満点中 60 点以上を合格とします。
授業時間外 に必要な 学修内容	映画やテレビ番組など英語音声があるものは英語で聞いてみましょう。 空港に出向くなど、なりたい自分をイメージして学習意欲を高めましょう
履修に 当たっての 留意点	リスニングで大切な集中力を繰り返し練習して身につけましょう。 疑問に思うことはその場で解決するために積極的に質問してください。

科目名	リスニング演習 I ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	佐藤 麻希 (実務経験: 名港海運(株)にて 2 年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて 2 年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	リスニング演習 I は、TOEIC リスニング問題に頻出の語彙及び表現を覚えながら各パートの問題出題の傾向を学び、それぞれのパートの解法のコツ・ヒントを身につけることで、英語力をはかる目安として様々な業界で活用されている TOEIC テストにおいて、航空業界就職に必要なとされる 650 点獲得を目指すことを目的とします。 授業の方法としては、TOEIC 問題に取り組みながら音読も行い、接客業に必要な会話力及びリスニングの基礎能力を身につけていきます。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Part1 写真描写問題の頻出表現を覚える。ペアワークを実施する 2. Part1 写真描写問題に取り組む 3. Part2 W/H で始まる疑問詞問題に取り組む 4. Part2 Yes/No 疑問文・Or を含む疑問文・否定疑問文に取り組む 5. Part2 許可・依頼・勧誘・提案に関する表現問題に取り組む 6. Part3 設問の先読みの方法・ポイントを身に付ける 7. Part3 語句の言い換えに慣れる 8. Part3 話の意図を問う問題の解き方を学ぶ 9. Part3 3 人の会話問題に慣れる。図表問題を解けるようになる 10. Part4 一人が話すスピードに慣れる練習をする (シャドーイング) 11. Part4 Part3 で学んだ解き方のコツを活用し問題に取り組む 12. Part4 話の意図を問う問題の解き方を学ぶ 13. まとめ① Part1 & Part2 問題に取り組む 14. まとめ② Part3 の音読に取り組む。問題に取り組んだ後解説する 15. まとめ③ Part4 の問題に取り組む、解答及び解説する
使用テキスト ・教材等	スコアが上がる TOEIC L&R テスト本番模試 600 問 改訂版
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること

科目名	リスニング演習 I ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	佐藤 麻希 (実務経験: 名港海運(株)にて 2 年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて 2 年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	リスニング演習 I は、前期で学んだ TOEIC リスニングのパート毎の解法のコツ・ヒントを活用し、より高い得点を獲得することを目的とします。 授業の方法としては、TOEIC 問題に取り組みながら音読も行い、接客業で必要な会話とリスニングのより高い能力を身につけていきます。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Part2 難易度が高い問題 (間接的な応答が正答になる問題) に取り組む 2. Part3 音読 (シャドーイング) に挑戦する。ペアワークを行う 3. Part3 語彙力をあげるため、長文を読んで書く練習をする 4. Part3 問題に取り組む。解答及び解説をする 5. Part3 前回の復習を行う。語彙テストを行う 6. Part4 音読 (シャドーイング) に取り組み、内容を把握する力をつける 7. Part4 問題に取り組む。解答及び解説をする 8. Part4 前回の復習を行う。語彙テストを行う 9. Part1&2 Part1 は全問正解、Part2 は 20 問以上の正解を目指す 10. Part1&2 前回の復習及び解説を行う 11. Part3 全問題に取り組む、前期からの伸びを把握する 12. Part4 全問題に取り組む、前期からの伸びを把握する 13. まとめ① Part1-4 に取り組む。答え合わせをする 14. まとめ② 前回の復習及び解説をする 15. まとめ③ 苦手なパートのおさらいをする
使用テキスト ・教材等	スコアが上がる TOEIC L&R テスト本番模試 600 問 改訂版
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること

科目名	リスニング演習 I ③ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	松下 和子 (実務経験: ECC 外語学院にて英会話及び TOEIC、英検等英語資格試験対策講座の講師歴約 20 年、大手企業、大学での TOEIC、英検、英会話講師歴約 10 年)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	実際の TOEIC 試験同様の問題形式の問題集を使って、Part 1~Part 4 まで各パート毎に問題を解くためのコツを身につけ、効率良く TOEIC スコアを伸ばしていくよう指導する。新出単語は単語テストを毎回実施し、確実に身につけていく。適宜ペアーでの音読練習を取り入れ、確実に聞けるようにしていく。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. シラバスの確認及び Part1~Part4 リスニング模擬テスト 2. 第 1 回模擬試験 Part 1 の問題を解く→解説→再度問題を解く 3. 第 1 回模擬試験 Part 2 の問題を解く→解説→再度問題を解く 4. 第 1 回模擬試験 Part 2 の問題を解く→解説→再度問題を解く 5. 第 1 回模擬試験 Part 3 の問題を解く→解説→再度問題を解く 6. 第 1 回模擬試験 Part 3 の問題を解く→解説→再度問題を解く 7. 第 1 回模擬試験 Part 3 の問題を解く→解説→再度問題を解く 8. 第 1 回模擬試験 Part 4 の問題を解く→解説→再度問題を解く 9. 第 1 回模擬試験 Part 4 の問題を解く→解説→再度問題を解く 10. 第 1 回模擬試験 Part 4 の問題を解く→解説→再度問題を解く 11. 第 1 回模擬試験 Part 4 の問題を解く→解説→再度問題を解く 12. 第 2 回模擬試験 Part 1 の問題を解く→解説→再度問題を解く 13. 第 2 回模擬試験 Part 2 の問題を解く→解説→再度問題を解く 14. 第 2 回模擬試験 Part 3 の問題を解く→解説→再度問題を解く 15. 期末テスト
使用テキスト ・教材等	スコアが上がる TOEIC L&R テスト 本番模試 600 問
成績評価方法 及び 基準	期末テスト 50 点、TOEIC IP テストスコア 30 点、平常点 20 点の計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で扱った問題の復習
履修に 当たっての 留意点	毎レッスンテキスト、ノート、辞書を持参し、積極的に授業に参加すること

科目名	リスニング演習 I ③ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	松下 和子 (実務経験: ECC 外語学院にて英会話及び TOEIC、英検等英語資格試験対策講座の講師歴約 20 年、大手企業、大学での TOEIC、英検、英会話講師歴約 10 年)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	実際の TOEIC 試験同様の問題形式の問題集を使って、Part 1~Part 4 まで各パート毎に問題を解くためのコツを身につけ、効率良く TOEIC スコアを伸ばしていくよう指導する。新出単語は単語テストを毎回実施し確実に身につけていく。適宜ペアーでの音読練習を取り入れ確実に聞けるようにしていく。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. シラバスの再確認及び後期目標の設定 2. 第 2 回模擬試験 Part 3 の問題を解く→解説→再度問題を解く 3. 第 2 回模擬試験 Part 3 の問題を解く→解説→再度問題を解く 4. 第 2 回模擬試験 Part 3 の問題を解く→解説→再度問題を解く 5. 第 2 回模擬試験 Part 4 の問題を解く→解説→再度問題を解く 6. 第 2 回模擬試験 Part 4 の問題を解く→解説→再度問題を解く 7. 第 2 回模擬試験 Part 4 の問題を解く→解説→再度問題を解く 8. 第 2 回模擬試験 Part 4 の問題を解く→解説→再度問題を解く 9. 第 3 回模擬試験 Part 1 の問題を解く→解説→再度問題を解く 10. 第 3 回模擬試験 Part 2 の問題を解く→解説→再度問題を解く 11. 第 3 回模擬試験 Part 3 の問題を解く→解説→再度問題を解く 12. 第 3 回模擬試験 Part 3 の問題を解く→解説→再度問題を解く 13. 第 3 回模擬試験 Part 4 の問題を解く→解説→再度問題を解く 14. 第 3 回模擬試験 Part 3 の問題を解く→解説→再度問題を解く 15. 期末テスト
使用テキスト ・教材等	スコアが上がる TOEIC L&R テスト 本番模試 600 問
成績評価方法 及び 基準	期末テスト 50 点、TOEIC IP テストスコア 30 点、平常点 20 点の計 100 点満点とし、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業で扱った問題の復習
履修に 当たっての 留意点	毎レッスンテキスト、ノート、辞書を持参し、積極的に授業に参加すること

科目名	リスニング演習 I ④ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	村田 愛美 (実務経験：オーストラリアの商社にて 3 年間、貿易業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	TOEIC リスニング問題の Part 1 から Part 4 までのそれぞれの問題形式に慣れ、攻略法を身に付けることを目的とします。 修了時まで、ネイティブスピーカーによってナチュラルスピードで話されている英語を理解できるように、演習問題を繰り返し行います。 習得状況を確認するための小テストを定期的に行い、目標の TOEIC スコア達成を目指します。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 写真描写問題- 人をよく観察しよう (1) 2. 写真描写問題- 人をよく観察しよう (2) 3. 写真描写問題- 写っているものや、場所・状態をよく観察しよう 4. 写真描写問題 まとめ 5. リスニング演習 1 6. 応答問題- 質問文の出だし (Wh-) に注意しよう 7. 応答問題- 疑問詞 (How) で始まる質問に慣れよう 8. 応答問題- Yes/No 疑問文、or を含む疑問文、否定疑問文に慣れよう 9. 応答問題- 許可、依頼、勧誘・提案に関する表現に慣れよう 10. 応答問題- 文を最後まで注意して聞こう 11. 応答問題 まとめ 12. リスニング演習 2 13. 会話問題- 設問を先読みして、聞き取りのポイントをおさえよう 14. 会話問題- 設問の種類を分析しよう 15. リスニング演習 3
使用テキスト ・教材等	スコアが上がる TOEIC L&R テスト本番模試 600 問 改訂版
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に目標の TOEIC スコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだリスニングのポイント・文法・単語をしっかりと暗記すること

科目名	リスニング演習 I ④ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	村田 愛美 (実務経験：オーストラリアの商社にて 3 年間、貿易業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	TOEIC リスニング問題の Part 1 から Part 4 までのそれぞれの問題形式に慣れ、攻略法を身に付けることを目的とします。 修了時まで、ネイティブスピーカーによってナチュラルスピードで話されている英語を理解できるように、演習問題を繰り返し行います。 習得状況を確認するための小テストを定期的に行い、目標の TOEIC スコア達成を目指します。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. リスニング演習 1 2. 会話問題- 誰に関する設問か考えよう 3. 会話問題- 語句の言い換えに注意し、後で確認しよう 4. 会話問題- 話し手の意図を理解しよう 5. 会話問題- 3 名の会話問題に慣れよう 6. 会話問題- 会話と図表の情報を関連させよう 7. 会話問題 まとめ 8. リスニング演習 2 9. 説明文問題- 設問を先読みして、聞き取りのポイントをおさえよう 10. 説明文問題- 設問の種類を分析しよう 11. 説明文問題- 語句の言い換えに注意し、後で確認しよう 12. 説明文問題- 話し手の意図を理解しよう 13. 説明文問題- 説明文と図表の情報を関連させよう 14. 説明文問題 まとめ 15. リスニング演習 3
使用テキスト ・教材等	スコアが上がる TOEIC L&R テスト本番模試 600 問 改訂版
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に目標の TOEIC スコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだリスニングのポイント・文法・単語をしっかりと暗記すること

科目名	接客マナー I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	中根 美沙 (実務経験：北海道国際航空(株)、(株)エアージャパン とともに客室乗務職)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	グランドスタッフ・客室乗務員・空港スタッフなど、エアライン業界を中心とした接客業を志す学生たちが、現場に出た際に役立つ社会人としてのマナーを身に付けることを目的とする。特に接客をする人間として、相手の立場に立った考え方や行動が出来るように学習を進めていく。一年生は、一年後に就職活動をするにあたり、まずは必要な言葉遣い・マナー・立居振る舞いが身に付くよう、実践も交えながら授業を行う。 授業は主に秘書検定のテキストを使用し、社会人として必要な資質やビジネスマナーを学ぶ。また、問題集を解きながら学びが自分のものとなるようにし、秘書検定 2 級の取得を目指す。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ルールとマナーの違いを理解する (自分自身の考えと話し合い) 2. 第一印象・身だしなみ・お辞儀の種類・挨拶の基本 3. 美しい立居振る舞いと言葉遣いの基本 4. 敬語の種類と基本のルール (尊敬語・謙譲語・丁寧語を理解する) 5. 間違いやすい敬語の使い方と敬語の使い分け 6. エアライン業界で役立つ接遇用語・接遇表現 7. 敬語・接遇表現の練習問題と実践 (実践問題を解き、応用する) 8. 受付対応、来客対応、取り次ぎの対応 (ロールプレイングを行う) 9. 席次のマナー (エレベーター、会議室、応接室、和室、車、電車など) 10. 慶事・弔事の種類とマナー 11. 贈答のマナーと表書き、水引の種類と使い分け (実物を目で見えて理解を深める) 12. 郵便物の種類と使い分け 13. 郵便物の送付方法とマナーについて 14. ビジネス文書 (社内文書、社外文書、社交文書) について 15. 前期のまとめと問題演習
使用テキスト ・教材等	秘書検定 2 級集中講義、秘書検定実問題集 2 級
成績評価方法 及び 基準	筆記試験において 60%以上正解で合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	正しく美しい日本語が身に付くよう、日頃から言葉遣いや敬語の使い方に注意しながら話すよう心掛けること。
履修に 当たっての 留意点	ホスピタリティマインドが必要とされるエアライン業界を常に意識し、相手の立場に立って物事を捉えられるようにすること。

科目名	接客マナー I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	中根 美沙 (実務経験：北海道国際航空(株)、(株)エアージャパン とともに客室乗務職)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	グランドスタッフ・客室乗務員・空港スタッフなど、エアライン業界を中心とした接客業を志す学生たちが、現場に出た際に役立つ社会人としてのマナーを身に付けることを目的とする。特に接客をする人間として、相手の立場に立った考え方と行動が出来るように学習を進めていく。一年生は、一年後に就職活動をするにあたり、まずは必要な言葉遣い・マナー・立居振る舞いが身に付くよう、実践も交えながら授業を行う。 授業は主に秘書検定のテキストを使用し、社会人として必要な資質やビジネスマナーを学ぶ。また、問題集を解きながら学びが自分のものとなるようにし、秘書検定 2 級の取得を目指す。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生と社会人の違いを理解する (自己管理能力、責任能力について話し合う) 2. 社会人としての常識とビジネスマナーについて (働く観点から物事を考えてみる) 3. 上手な人間関係をつくる為に必要なこと、コミュニケーション能力について 4. 仕事に取り組む姿勢と機転を利かせて対応する能力について 5. 秘文書の取扱いと注意点 6. ファイリングと名刺の整理 7. カタカナ用語、略語 (実際に使われている場面や例を挙げて理解を深める) 8. 技能① (ビジネス文書、ビジネスメールの作成をする) 9. 技能② (グラフの使い分けと書き方が出来るようにする) 10. スケジュール管理と職場環境の整備 11. 間違いやすい日本語について 12. 紛らわしい日本語の理解 13. アルバイト用語と正しい言葉遣い (悪い例とその理由を話し合う) 14. 注意したい今どきの話し方について 15. 後期のまとめと問題演習
使用テキスト ・教材等	秘書検定 2 級集中講義、秘書検定実問題集 2 級
成績評価方法 及び 基準	筆記試験において 60%以上正解で合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	正しく美しい日本語が身に付くよう、日頃から言葉遣いや敬語の使い方に注意しながら話すよう心掛けること。
履修に 当たっての 留意点	ホスピタリティマインドが必要とされるエアライン業界を常に意識し、相手の立場に立つて物事を捉えられるようにすること。

科目名	プレゼンテーション I A1 (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	伊東 沙織 (実務経験：自分未来きょういく株式会社 英会話スクール NOVA 部門にて、外国人講師採用・指導を含むマネジメント全般を 4 年半)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	客室乗務員・グランドスタッフなどの採用面接に備え、自身を魅力的に素敵に表現できるようにトレーニングを行う。接客に必要な立ち居振る舞いや好感のある第一印象を身に付けるとともに、自分の考え方を自分の言葉で表現できる姿を目指す。近年の採用試験では、多くの企業がオンラインでの面接を取り入れ、主流となっていることから、授業ではオンライン面接のノウハウを徹底的に学び、自身の魅せ方を最大限に引き出す。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 素敵な第一印象とは (接客の 5 原則) 2. 航空業界にふさわしい身だしなみを整える 3. 美しい立ち居振る舞い 4. 話し方トレーニング (声・表情・言葉遣い) 5. 活動履歴を探る 6. 活動履歴を素敵にプレゼンテーション 7. 自己 PR の作り方① 8. 自己 PR の作り方② 9. 自己 PR 録画の注意点 10. 自己 PR リハーサル 11. プレゼンテーション前期末試験 ※事前実施 (1 分間自己 PR 動画提出) 12. 提出動画フィードバック 13. わたしってどんな人? (自己分析の進め方) 14. まわりの人からどう見られているか 15. 前期まとめ
使用テキスト ・教材等	担当者が作成した資料、パワーポイント
成績評価方法 及び 基準	実技試験による評価：100 点満点で評価し、60 点以上を合格とする。 (定期試験 80 点、平常授業 20 点)
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の生活において、いつも頭で考えることを意識する。 自身の活動履歴をまとめる。
履修に 当たっての 留意点	接客の 5 原則を意識し、感じの良い表情・話し方・立ち居振る舞いを心がけ、積極的に発言する。

科目名	プレゼンテーション I A1 (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	伊東 沙織 (実務経験: 自分未来きょういく株式会社 英会話スクール NOVA 部門にて、外国人講師採用・指導を含むマネジメント全般を 4 年半)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	客室乗務員・グランドスタッフなどの採用面接に備え、自身を魅力的に素敵に表現できるようにトレーニングを行う。接客に必要な立ち居振る舞いや好感のある第一印象を身に付けるとともに、自分の考え方を自分の言葉で表現できる姿を目指す。近年の採用試験では、多くの企業がオンラインでの面接を取り入れ、主流となっていることから、授業ではオンライン面接のノウハウを徹底的に学び、自身の魅せ方を最大限に引き出す。また、後期はグループディスカッションを取り入れ、チームの中での動きを学ぶ。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 採用面接を知る (仕組み・注意すべき点・ポイント) 2. 面接練習① 入室・自己紹介 3. 面接練習② 自分の好きを素敵に表現 4. 面接練習③ プラスの表現・パワーワード 5. 面接練習④ 経験を語る 6. 面接練習⑤ 接客サービスについて考える 7. 志望動機の作り方① 企業研究の重要性 8. 志望動機の作り方② 仕事の適性を考える 9. 志望動機+自己 PR 10. 進級試験 ※事前実施 (志望動機+1 分間自己 PR 録画提出) 11. 提出動画フィードバック 12. グループディスカッション① チームワークについて 13. グループディスカッション② 学生と社会人の違いについて 14. 面接練習⑤ ブラッシュアップ 15. 面接練習⑥ ブラッシュアップ
使用テキスト ・教材等	担当者が作成した資料、パワーポイント
成績評価方法 及び 基準	実技試験による評価: 100 点満点で評価し、60 点以上を合格とする。 (定期試験 80 点、平常授業 20 点)
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の生活において、いつも頭で考えることを意識し、丁寧な言葉遣い、ポジティブな表現を意識する。
履修に 当たっての 留意点	接客の 5 原則を意識し、感じの良い表情・話し方・立ち居振る舞いを心がけ、積極的に発言する。

科目名	プレゼンテーション I A2 (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	加藤 舞 (実務経験：株式会社ドリームスカイ名古屋にて7年間グランドスタッフ業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	客室乗務員・グランドスタッフなどの採用面接に備え、自身を魅力的に素敵に表現できるようにトレーニングを行う。接客に必要な立ち居振る舞いや好感のある第一印象を身に付けるとともに、自分の考え方を自分の言葉で表現できる姿を目指す。近年の採用試験では、多くの企業がオンラインでの面接を取り入れ、主流となっていることから、授業ではオンライン面接のノウハウを徹底的に学び、自身の魅せ方を最大限に引き出す。
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 素敵な第一印象とは (接客の5原則) 2. 航空業界にふさわしい身だしなみを整える 3. 美しい立ち居振る舞い 4. 話し方トレーニング (声・表情・言葉遣い) 5. 活動履歴を探る 6. 活動履歴を素敵にプレゼンテーション 7. 自己PRの作り方① 8. 自己PRの作り方② 9. 自己PR録画の注意点 10. 自己PRリハーサル 11. プレゼンテーション前期末試験 ※事前実施 (1分間自己PR動画提出) 12. 提出動画フィードバック 13. わたしってどんな人? (自己分析の進め方) 14. まわりの人からどう見られているか 15. 前期まとめ
使用テキスト ・教材等	担当者が作成した資料、パワーポイント
成績評価方法 及び 基準	実技試験による評価：100点満点で評価し、60点以上を合格とする。 (定期試験 80点、平常授業 20点)
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の生活において、いつも頭で考えることを意識する。 自身の活動履歴をまとめる。
履修に 当たっての 留意点	接客の5原則を意識し、感じの良い表情・話し方・立ち居振る舞いを心がけ、積極的に発言する。

科目名	プレゼンテーション I A2 (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	加藤 舞 (実務経験: 株式会社ドリームスカイ名古屋にて 7 年間グランドスタッフ業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	客室乗務員・グランドスタッフなどの採用面接に備え、自身を魅力的に素敵に表現できるようにトレーニングを行う。接客に必要な立ち居振る舞いや好感のある第一印象を身に付けるとともに、自分の考え方を自分の言葉で表現できる姿を目指す。近年の採用試験では、多くの企業がオンラインでの面接を取り入れ、主流となっていることから、授業ではオンライン面接のノウハウを徹底的に学び、自身の魅せ方を最大限に引き出す。また、後期はグループディスカッションを取り入れ、チームの中での動きを学ぶ。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 採用面接を知る (仕組み・注意すべき点・ポイント) 2. 面接練習① 入室・自己紹介 3. 面接練習② 自分の好きを素敵に表現 4. 面接練習③ プラスの表現・パワーワード 5. 面接練習④ 経験を語る 6. 面接練習⑤ 接客サービスについて考える 7. 志望動機の作り方① 企業研究の重要性 8. 志望動機の作り方② 仕事の適性を考える 9. 志望動機+自己 PR 10. 進級試験 ※事前実施 (志望動機+1 分間自己 PR 録画提出) 11. 提出動画フィードバック 12. グループディスカッション① チームワークについて 13. グループディスカッション② 学生と社会人の違いについて 14. 面接練習⑤ ブラッシュアップ 15. 面接練習⑥ ブラッシュアップ
使用テキスト ・教材等	担当者が作成した資料、パワーポイント
成績評価方法 及び 基準	実技試験による評価: 100 点満点で評価し、60 点以上を合格とする。 (定期試験 80 点、平常授業 20 点)
授業時間外 に必要な 学修内容	日々の生活において、いつも頭で考えることを意識し、丁寧な言葉遣い、ポジティブな表現を意識する。
履修に 当たっての 留意点	接客の 5 原則を意識し、感じの良い表情・話し方・立ち居振る舞いを心がけ、積極的に発言する。

科目名	セルフプロデュース I (青春ガールズクワイア) (前期 60 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	伊東 沙織 (実務経験: 自分未来きょういく株式会社 英会話スクール NOVA 部門にて、外国人講師採用・指導を含むマネジメント全般を 4 年半) 大川 通世 (実務経験: なし) 加藤 孝弥 (実務経験: (株)パワフルヴォイスにて 2 年 5 か月、現在 猿王にてヴォイストレーナーを務める)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	青春ガールズクワイアの活動を通して、表現力やチームワーク力を磨く。 ライブ出演を通して、自分を客観視する力を身につけ、なりたい自分に近づけていく。 また、チームの中での役割を見つけ、「当事者意識」をもって全体に貢献できるようになることが最大の目標。授業は発声練習、ステージング、MC の方法、視線の配り方、魅力的に見えるパフォーマンスを伝授。ライブパフォーマンスについては、観客の前で披露できるレベルになるまでトレーニングをする。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 青春ガールズクワイアの歴史、会則解説 2. 音域チェック、演奏曲パフォーマンス練習 3. 歌唱力チェック、演奏曲パフォーマンス練習 4. 発声の基本、演奏曲パフォーマンス練習 5. リズムについて、演奏曲パフォーマンス練習 6. 魅力的な表情について、演奏曲パフォーマンス練習 7. チームで歌うということについて、演奏曲パフォーマンス練習 8. ハーモニーについて、演奏曲パフォーマンス練習 9. リードボーカルオーディション、演奏曲パフォーマンス練習 10. リードボーカルオーディション、演奏曲パフォーマンス練習 11. MC の役割について、演奏曲パフォーマンス練習 12. 視線について、演奏曲パフォーマンス練習 13. レセプションと観客誘導について 14. 統一美について、演奏曲パフォーマンス練習 15. チームの波動について、演奏曲パフォーマンス練習
使用テキスト ・教材等	発声練習・練習音源 CD、レッスン時に使用するプリント等
成績評価方法 及び 基準	実技試験による評価: ライブ出演、チーム内オーディションのパフォーマンスを評価。 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	「青春ガールズクワイア」はサークル活動でもあるため、ライブ出演前の授業外練習、強化練習に参加。個人練習を通して常に自分のパフォーマンススキルをブラッシュアップする必要がある。
履修に 当たっての 留意点	青春ガールズクワイアの一員として「当事者意識」を持ち、チームに貢献する意識を持つ。

科目名	セルフプロデュース I (青春ガールズクワイア) (後期 60 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	伊東 沙織 (実務経験: 自分未来きょういく株式会社 英会話スクール NOVA 部門にて、外国人講師採用・指導を含むマネージメント全般を 4 年半) 大川 通世 (実務経験: なし) 加藤 孝弥 (実務経験: (株)パワフルヴォイスにて 2 年 5 か月、現在 猿王にてヴォイストレーナーを務める)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	青春ガールズクワイアの活動を通して、表現力やチームワーク力を磨く。 ライブ出演を通して、自分を客観視する力を身につけ、なりたい自分に近づけていく。 また、チームの中での役割を見つけ、「当事者意識」をもって全体に貢献できるようになることが最大の目標。授業は発声練習、ステージング、MC の方法、視線の配り方、魅力的に見えるパフォーマンスを伝授。ライブパフォーマンスについては、観客の前で披露できるレベルになるまでトレーニングをする。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ステージの構成を考える、演奏曲パフォーマンス練習 2. 音域を広げる、演奏曲パフォーマンス練習 3. リードボーカルオーディション、演奏曲パフォーマンス練習 4. リードボーカルオーディション、演奏曲パフォーマンス練習 5. チーム内での役割について、演奏曲パフォーマンス練習 6. リーダーに求められるもの、演奏曲パフォーマンス練習 7. ライブ観客動員について、演奏曲パフォーマンス練習 8. 観客対応について、演奏曲パフォーマンス練習 9. パートリーダーについて、演奏曲パフォーマンス練習 10. 音響・照明について、演奏曲パフォーマンス練習 11. チーム力強化について、演奏曲パフォーマンス練習 12. 広報、演出について、演奏曲パフォーマンス練習 13. テンションの上げ方について、演奏曲パフォーマンス練習 14. 青春ガールズクワイアのブランド力を高めるために 15. 次世代への引継ぎ、2 年生ラストライブ
使用テキスト ・教材等	発声練習・練習音源 CD、レッスン時に使用するプリント等
成績評価方法 及び 基準	実技試験による評価: ライブ出演、チーム内オーディションのパフォーマンスを評価。 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	「青春ガールズクワイア」はサークル活動でもあるため、ライブ出演前の授業外練習、強化練習に参加。個人練習を通して常に自分のパフォーマンススキルをブラッシュアップする必要がある。
履修に 当たっての 留意点	青春ガールズクワイアの一員として「当事者意識」を持ち、チームに貢献する意識を持つ。

科目名	セルフプロデュース I (ビューティメイク) (前期 30 時間 (90 分/コマ))	必修・選択
担当教官	小嶋祐里 (実務経験:2003 年よりエステティックサロン yurihana 経営、エステティック学、セルフケアエクササイズ講師)	
学科・学年	国際エアライン科 1 年	
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>「到達目標」 肌と表情筋について理解し、好印象になれる正しいスキンケア、フェイスエクササイズ法を身につける。</p> <p>「授業の方法」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皮膚科学を学び皮膚の構造を理解する。 ・健やかで美しい肌づくりの為のスキンケアの重要性を理解する。 ・実際にクレンジング、洗顔、保湿を行い、正しいスキンケアを身につける。 ・皮膚を支える表情筋について理解する。 ・メンタルヘルスの重要性を理解する。 ・表情筋によってコミュニケーション能力の向上を考察し、評価する。 	
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 皮膚科学 2. 皮膚科学 3. 正しいスキンケア 4. 食生活 5. スキンケア実践 6. アロマセラピー総論 7. 大脳生理学 8. フェイスエクササイズ 9. フェイスエクササイズ 10. メンタルヘルス 11. コミュニケーション能力の向上 12. 呼吸法 13. 呼吸法、復習 14. 試験 15. まとめ 	
使用テキスト ・教材等	講師作成プリント 美肌検定 日本エステティック協会	
成績評価方法 及び 基準	フェイスエクササイズの実技テスト エクササイズを行う際の注意点、回数、呼吸法を間違えず、効果目的の説明内容によって評価する。 実技 70 点、説明 30 点、の計 100 点満点で採点 (60 点以上合格)	
授業時間外に 必要な学修内容	スキンケアやフェイスエクササイズを日頃から取り入れ、ブラッシュアップをはかります。	
履修に当たって の留意点	学生同士お互いの変化に気づき、認め合い、個々の能力を高めあうことを積極的に行うこと。	

科目名	セルフプロデュース I (ビューティメイク) (後期 30 時間 (90 分/コマ))	必修・選択
担当教官	小嶋祐里 (実務経験:2003 年よりエステティックサロン yurihana 経営、エステティック学、セルフケアエクササイズ講師)	
学科・学年	国際エアライン科 1 年	
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>「到達目標」 アロマセラピーやバランスのよい食事について理解し、身体に与える影響を知る。 またそれを活用し、自身の生活に取り入れ健康的な身体を守ることができる。</p> <p>「授業の方法」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アロマセラピーについて理解する ・アロマセラピーの精油の取り扱いに注意し、身体へもたらす影響を知る ・アロマセラピーを自身の生活に取り入れ、検証する ・アロマセラピーをカレッジフェスティバルで活用できるよう計画、実行する ・学生同士、互いの変化を理解し、評価する 	
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. アロマセラピー総論 前期復習 2. 精油について 3. 香りと大脳生理学 4. バスボム作り 5. カレッジフェスティバル準備 6. カレッジフェスティバル準備 7. 睡眠と美容 8. 美容食 9. 体幹ストレッチ 10. ニキビ改善方法 11. アロマハンドトリートメント実技練習 12. アロマハンドトリートメント実技練習 13. アロマハンドトリートメント実技練習 14. 試験 15. まとめ 	
使用テキスト ・教材等	<p>講師作成プリント</p> <p>正しいスキンケア事典 (吉木信子)</p>	
成績評価方法 及び 基準	<p>アロマハンドトリートメントの実技テスト</p> <p>回数や手順を間違えず、ツボ指圧の効果目的の説明内容によって評価する。</p> <p>実技 70 点、説明 30 点、の計 100 点満点で採点 (60 点以上合格)</p>	
授業時間外 に必要な 学修内容	<p>良質な睡眠、正しいスキンケア方法やバランスの良い食事を日頃から取り入れ、美しく健康な身体を手に入れます。</p> <p>ハンドトリートメントを習得し、ホスピタリティーを磨きます。</p>	
履修に 当たっての 留意点	<p>学生同士お互いの変化に気づき、認め合い、個々の能力を高めあうことを積極的に行うこと。</p>	

科目名	セルフプロデュース I (ソーシャルマナー) (前期 30 時間 (90 分/コマ))	必修・選択
担当教官	酒井 英津子 (実務経験：なし)	
学科・学年	国際エアライン科 1 年	
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	接客業、主に航空業界に就くことを目指している人を対象としたクラスです。お客様に対して、「心温まるホスピタリティーとは何か」を学びます。お客様から「素敵な女性 (男性)」と思われるような話し方、センスを身に付けます。(演習) また、どのようなお客様に対しても対応できる知識も学びます。国内外のニュースや話題を取り上げながら一般常識や語彙力を修得し、自分の考えや意見を相手に上手く伝えられるよう指導いたします。(講義)	
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業概要と自己紹介 2. 国語力のテスト (表現力を測る) 3. コロナ禍における日本企業の現状 4. コロナ禍における海外企業の現状 5. アフターコロナで航空業界はどうなるのか? 6. ディスカッション (テーマ：未定) 7. ロシアと EU 8. アメリカと中国の行方 9. アジアの中の日本 10. 小論文 (テーマ：未定) 11. SDG's と企業 12. AI と企業 13. AI とホスピタリティー 14. スピーチ (テーマ：あなたにとってホスピタリティーとは?) 15. まとめ 	
使用テキスト ・教材等	授業時に担当者が作成し、その都度配布する資料を使用します。	
成績評価方法 及び 基準	ディスカッション 20 点、小論文 20 点、スピーチ 20 点、期末テスト 40 点、計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とします。	
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から、新聞や本を読む習慣をつけてください。	
履修に 当たっての 留意点	ネット上やテレビで放映されているニュースを、常にチェックしてください。	

科目名	セルフプロデュース I (ソーシャルナー) (後期 30 時間 (90 分/コマ))	必修・選択
担当教官	酒井 英津子 (実務経験：なし)	
学科・学年	国際エアライン科 1 年	
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	後期はより自分の内面を掘り下げながら「コミュニケーションのとり方」も指導いたします。自分の性格を、心理テストや作文を書くことによって客観的に捉え、上手く人間関係を築くための心や、発想の仕方を考えていきます。更に自分の考えを、相手に上手く分かりやすく伝える訓練として、発表やディスカッションの場を設けます。 またコミュニケーションをスムーズにとるには、語彙力、文章力も求められます。前期以上に、ポキャブラリーの増進を目指します。(講義と演習)	
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の性格を知る (心理テスト) 2. 性格は変えられるー持って生まれた性格、つくられた性格 3. 自分のセールスポイントは？ (小論文①) 4. 自分のセールスポイントは？ (発表①) 5. 自分を発信するとは？ 6. コミュニケーションの裏表 7. まとめ 8. 話し方を変える～また会いたくなる人になれているか?!～ 9. 大人らしさって何だろう (ディスカッション) 10. 価値観を問う～コンプレックスと付き合う～ 11. 人生に奥行きを持たせる 12. 成功者の伝記を読む 13. どんな自分になりたいか (小論文②) 14. どんな自分になりたいか (発表②) 15. まとめ 	
使用テキスト ・教材等	授業時に担当者が作成し、その都度配布する資料を使用します。	
成績評価方法 及び 基準	小論文①25 点、発表①25 点、小論文②25 点、発表②25 点、 計 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とします。	
授業時間外 に必要な 学修内容	毎日、簡単な日記をつけてみましょう。	
履修に 当たっての 留意点	常に「進化する」自分を目指してください。	

科目名	セルフプロデュース I (ボディコントロール) (前期 30 時間 (90 分/コマ))	必修・選択
担当教官	伊東 沙織 (実務経験 : RYT200 修了 本校にて授業を実施)	
学科・学年	国際エアライン科 1 年	
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>航空業界で求められる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・容姿や雰囲気 ・健康でしなやかな身体 ・強く落ち着いたメンタリティ <p>などを獲得するために、主にヨガのライフスタイルを学び、実践する。</p> <p>また、自分の内面 (性格・習慣・理想や目標) と、ジャーナリングの時間も設けて毎回書き出して向き合うことで、頭と心を整理して、いま自分が夢を実現するためにしたいこと・すべきことを明確にして、学校生活をより充実させることを目標とする。</p>	
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の目的・スケジュールについて / ジャーナリング 2. 自分の呼吸・身体を知って整える (初級ヨガ) / アンケート / ジャーナリング 3. 自分の呼吸・身体を知って整える (初級ヨガ) / ジャーナリング 4. 姿勢改善・体幹&集中力強化 (太陽礼拝) / ジャーナリング 5. 姿勢改善・体幹&集中力強化 (太陽礼拝) / ジャーナリング 6. 下半身のシェイプアップ / ジャーナリング 7. 下半身のシェイプアップ / ジャーナリング 8. 集中力強化のバランストレーニング / セルフコンパッションワークシート 9. 集中力強化のバランストレーニング / セルフコンパッションワークシート 10. 上半身のしなやかさを手に入れる / ジャーナリング 11. 上半身のしなやかさを手に入れる / ジャーナリング 12. 身体の内側から整えるダイエット (デトックスヨガ) / ジャーナリング 13. 身体の内側から整えるダイエット (デトックスヨガ) / ジャーナリング 14. 前向きな気持ちに切り替えるリラクセス法 (リラクセスヨガ) / ジャーナリング 15. 総復習で身体の変化を観察しよう 	
使用テキスト ・教材等	なし	
成績評価方法 及び 基準	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内で行う実技を 50 点満点で採点 ・期末試験の筆記試験を 50 点満点で採点 <p>以上 100 点満点のうち、60 点以上で合格</p>	
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から良い姿勢、習慣、考え方を心がけて、自分の内面・外見の両方をブラッシュアップすることを意識して生活する	
履修に 当たっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・使用する教室をいつもきれいな状態に保つ ・使用するヨガマットや用品の衛生管理を徹底する ・怪我のないよう、教員の指示に従い、段階別に無理のないよう受講する 	

科目名	セルフプロデュース I (ボディコントロール) (後期 30 時間 (90 分/コマ))	必修・選択
担当教官	伊東 沙織 (実務経験 : RYT200 修了 本校にて授業を実施)	
学科・学年	国際エアライン科 1 年	
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>航空業界で求められる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・容姿や雰囲気 ・健康でしなやかな身体 ・強く落ち着いたメンタリティ <p>などを獲得するために、主にヨガのライフスタイルを学び、実践する。</p> <p>また、自分の内面 (性格・習慣・理想や目標) と、ジャーナリングの時間も設けて毎回書き出して向き合うことで、頭と心を整理して、いま自分が夢を実現するためにしたいこと・すべきことを明確にして、学校生活をより充実させることを目標とする。</p>	
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 姿勢改善・体幹強化のヨガ (太陽礼拝) / ジャーナリング 2. 姿勢改善・体幹強化のヨガ (太陽礼拝) / ジャーナリング 3. ボディバランスを観察し、スタイルを整える / ジャーナリング 4. ボディバランスを観察し、スタイルを整える / ジャーナリング 5. 美しい下半身を作るヨガ / セルフコンパッションワークシート 6. 美しい下半身を作るヨガ / セルフコンパッションワークシート 7. 集中力アップのバランストレーニング / ジャーナリング 8. 集中力アップのバランストレーニング / ジャーナリング 9. 内側から整えるダイエット (デトックスヨガ) / ジャーナリング 10. 内側から整えるダイエット (デトックスヨガ) / ジャーナリング 11. 音楽を取り入れたスタミナ強化のヨガ / ジャーナリング 12. 音楽を取り入れたスタミナ強化のヨガ / ジャーナリング 13. 中級のヨガポーズにチャレンジして、スタイルアップ / ジャーナリング 14. 中級のヨガポーズにチャレンジして、スタイルアップ / ジャーナリング 15. 総復習・一年間の自分と向き合っのジャーナリング 	
使用テキスト ・教材等	なし	
成績評価方法 及び 基準	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内で行う実技を 50 点満点で採点 ・期末試験の筆記試験を 50 点満点で採点 <p>以上 100 点満点のうち、60 点以上で合格</p>	
授業時間外 に必要な 学修内容	日頃から良い姿勢、習慣、考え方を心がけて、自分の内面・外見の両方をブラッシュアップすることを意識して生活する	
履修に 当たっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・使用する教室をいつもきれいな状態に保つ ・使用するヨガマットや用品の衛生管理を徹底する ・怪我のないよう、教員の指示に従い、段階別に無理のないよう受講する 	

科目名	エアラインキャリアガイダンス I ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	加藤 舞 (実務経験: 株式会社ドリームスカイ名古屋にて 7 年間グランドスタッフ業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	航空業界、または目指す業界に必要な基礎知識を身につけるとともに、社会の仕組み、働く意味、キャリアプランを考える。また、採用試験について学び、自己分析と受験のための知識領域を広げる。 授業の方法としてはワークシートを使用しながら、解説→ワークシート記入→発表を基本とし、必要に応じてグループワークを取り入れる。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の表情、声は相手のためにある ～見られている自分を意識する～ 2. 人はなぜ働くのか ～三人のレンガ職人～ 3. 航空業界の採用試験とは ～今自分がやるべきことを知る～① 4. 航空業界の採用試験とは ～今自分がやるべきことを知る～② 5. 目的と目標の違い ～目標設定の重要性を知る～ 6. 劣等感との和解 ～劣等感をなくさずに克服する～ 7. 仕事に生かせる強みと、克服すべき弱み 8. 自分の人生において、なぜ航空業界で働くことが必要なのか 9. 「チーズはどこへ消えた」から学ぶ ～変化を恐れない。現状維持を恐れよ～ 10. 自分の考えを自分らしい言葉で語る ～考えは言葉の質と量で決まる～ 11. リフレーミングトレーニング① ～プラスの言葉で語る～ 12. リフレーミングトレーニング② ～夢を楽しく (面白く) 語る～ 13. 「7つの習慣」から学ぶ ～人生のミッションゴールとは～① 14. 「7つの習慣」から学ぶ ～人生のミッションゴールとは～② 15. 前期まとめ (前期授業の振り返り)
使用テキスト ・教材等	プリント教材、アプリ動画、ビジネス番組、ドキュメンタリー番組など。
成績評価方法 及び 基準	平常授業の評価 20 点と定期試験 (筆記またはレポート提出) で評価し採点。 60 点以上を合格とする。
授業時間外に 必要な 学修内容	書籍、新聞、TVニュース、ネットニュースなどから視野を広げる。 課題として指示されたワークシートの作成。
履修に 当たっての 留意点	自分の人生において大切にしたいものと、働く上で大切にしたいものの共通点を見つける。

科目名	エアラインキャリアガイダンス I ① (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	加藤 舞 (実務経験: 株式会社ドリームスカイ名古屋にて 7 年間グランドスタッフ業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	航空業界、または目指す業界に必要な基礎知識を身につけるとともに、社会の仕組み、働く意味、キャリアプランを考える。また、採用試験について学び、自己分析と受験のための知識領域を広げる。 授業の方法としてはワークシートを使用しながら、解説→ワークシート記入→発表を基本とし、必要に応じてグループワークを取り入れる。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 企業理念、ビジョンとは 2. 自分の活動履歴を書き出す 3. 自分の人生の美学について考える 4. 自分の好きなことを振り返る ~強みは必ず好きなことの中にある~ 5. 学習領域とパフォーマンス領域 ~大切なことがもっと上達する方法~ 6. エントリーシートで伝えたいこと 7. 自己 PR ビンゴ 8. 入社後の三年後、五年後について考える 9. 「正社員・契約社員・派遣社員の働き方の違い」※グループワーク 10. 「学生と社会人の違い」※グループワーク 11. 「これからの航空業界で求められることは」※グループワーク 12. 「働く上で大切なことは」※グループワーク 13. 「良いチームワークとは」※グループワーク 14. 「結婚、出産後の働き方」について※グループワーク 15. 後期まとめ (後期授業の振り返り)
使用テキスト ・教材等	プリント教材、アプリ動画、ビジネス番組、ドキュメンタリー番組など。
成績評価方法 及び 基準	平常授業の評価 20 点と定期試験 (筆記またはレポート提出) で評価し採点。 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	書籍、新聞、TVニュース、ネットニュースなどから視野を広げる。 課題として指示されたワークシートの作成。
履修に 当たっての 留意点	自分の人生において大切にしたいものと、働く上で大切にしたいものの共通点を見つける。

科目名	エアラインキャリアガイダンス I ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	伊藤 洋子 (実務経験：なし)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	航空業界、または目指す業界に必要な基礎知識を身につけるとともに、社会の仕組み、働く意味、キャリアプランを考える。また、採用試験について学び、自己分析と受験のための知識領域を広げる。 授業の方法としてはワークシートを使用しながら、解説→ワークシート記入→発表を基本とし、必要に応じてグループワークを取り入れる。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の表情、声は相手のためにある ～見られている自分を意識する～ 2. 人はなぜ働くのか ～三人のレンガ職人～ 3. 航空業界の採用試験とは ～今自分がやるべきことを知る～① 4. 航空業界の採用試験とは ～今自分がやるべきことを知る～② 5. 目的と目標の違い ～目標設定の重要性を知る～ 6. 劣等感との和解 ～劣等感をなくさずに克服する～ 7. 仕事に生かせる強みと、克服すべき弱み 8. 自分の人生において、なぜ航空業界で働くことが必要なのか 9. 「チーズはどこへ消えた」から学ぶ ～変化を恐れない。現状維持を恐れよ～ 10. 自分の考えを自分らしい言葉で語る ～考えは言葉の質と量で決まる～ 11. リフレーミングトレーニング① ～プラスの言葉で語る～ 12. リフレーミングトレーニング② ～夢を楽しく (面白く) 語る～ 13. 「7つの習慣」から学ぶ ～人生のミッションゴールとは～① 14. 「7つの習慣」から学ぶ ～人生のミッションゴールとは～② 15. 前期まとめ (前期授業の振り返り)
使用テキスト ・教材等	プリント教材、アプリ動画、ビジネス番組、ドキュメンタリー番組など。
成績評価方法 及び 基準	平常授業の評価 20 点と定期試験 (筆記またはレポート提出) で評価し採点。 60 点以上を合格とする。
授業時間外に 必要な 学修内容	書籍、新聞、TVニュース、ネットニュースなどから視野を広げる。 課題として指示されたワークシートの作成。
履修に 当たっての 留意点	自分の人生において大切にしたいものと、働く上で大切にしたいものの共通点を見つける。

科目名	エアラインキャリアガイダンス I ② (後期 30 時間 (90 分/コマ))	必修・選択
担当教官	伊藤 洋子 (実務経験：なし)	
学科・学年	国際エアライン科 1 年	
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	航空業界、または目指す業界に必要な基礎知識を身につけるとともに、社会の仕組み、働く意味、キャリアプランを考える。また、採用試験について学び、自己分析と受験のための知識領域を広げる。 授業の方法としてはワークシートを使用しながら、解説→ワークシート記入→発表を基本とし、必要に応じてグループワークを取り入れる。	
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 企業理念、ビジョンとは 2. 自分の活動履歴を書き出す 3. 自分の人生の美学について考える 4. 自分の好きなことを振り返る ～強みは必ず好きなことの中にある～ 5. 学習領域とパフォーマンス領域 ～大切なことがもっと上達する方法～ 6. エントリーシートで伝えたいこと 7. 自己 PR ビンゴ 8. 入社後の三年後、五年後について考える 9. 「正社員・契約社員・派遣社員の働き方の違い」※グループワーク 10. 「学生と社会人の違い」※グループワーク 11. 「これからの航空業界で求められることは」※グループワーク 12. 「働く上で大切なことは」※グループワーク 13. 「良いチームワークとは」※グループワーク 14. 「結婚、出産後の働き方」について※グループワーク 15. 後期まとめ (後期授業の振り返り) 	
使用テキスト ・教材等	プリント教材、アプリ動画、ビジネス番組、ドキュメンタリー番組など。	
成績評価方法 及び 基準	平常授業の評価 20 点と定期試験 (筆記またはレポート提出) で評価し採点。 60 点以上を合格とする。	
授業時間外 に必要な 学修内容	書籍、新聞、TVニュース、ネットニュースなどから視野を広げる。 課題として指示されたワークシートの作成。	
履修に 当たっての 留意点	自分の人生において大切にしたいものと、働く上で大切にしたいものの共通点を見つける。	

科目名	エアライン業界研究 (CA) I (前期 15 時間 (45 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	和田 香織 (実務経験：全日本空輸株式会社にて 8 年 4 ヶ月、客室乗務員業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	この授業は客室乗務員になる為に必要な知識を得る事を目的としています。 国内外の各航空会社の必要最低限の企業概要から客室乗務員の日常業務やサービス方法まで様々な知識を学びます。また、それらに必要な情報を学生自身が収集し、求められる人材・必要なスキルは何なのか、自分に足りないものは何なのかを考え、その素養を身に付けることを目指します。 与えられた課題について纏めておいた情報をプレゼンテーションし、人前で話す際に必要な客室乗務員が実践する美しい立ち居振る舞いや言葉遣いを学び、自身の課題を見つけ、改善を目指します。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 業界研究の方法・ポイント 3. 国内にある航空会社について 4. 会社概要 JAL 5. 客室乗務員の 1 日の仕事の流れ 6. 会社概要 ANA 7. 身だしなみ・第一印象の重要性 8. 会社概要 スターフライヤー 9. 保安業務について 10. 美しい立ち居振る舞い 11. 美しい言葉遣い 12. 機内サービスについて 13. 機内サービス比較① 14. 機内サービス比較② 15. 前期まとめ (前期授業の振り返り)
使用テキスト ・教材等	授業時に担当者が作成し、その都度配布する資料を使用する。 その他必要な資料については都度指示する。
成績評価方法 及び 基準	筆記試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	指示された事柄に関する関係資料の収集と、情報のまとめを作成すること。 事前準備と振り返りが必要。
履修に 当たっての 留意点	収集した情報を必ず発表し、質疑応答時には積極的に参加すること。

科目名	エアライン業界研究 (CA) I (後期 15 時間 (45 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	和田 香織 (実務経験：全日本空輸株式会社にて 8 年 4 ヶ月、客室乗務員業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>前期に続き客室乗務員になる為に更に多くの知識を得る事を目的とします。 前期の学びを生かして実践していきます。</p> <p>引き続き必要な情報を収集し、間もなく始まる就職活動に向けて、自分に必要なスキルは何なのかを考えます。</p> <p>客室乗務員になる為に必ず身につけておかなければならない立ち居振る舞いや、心遣い、言葉使いを実践し身につけます。</p> <p>お客様の前に立った時の自分自身を想像し、サービスをする者として必要な気配りや心配りを学びます。(講義)</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己管理・時間管理の重要性 2. 電子機器類の取り扱いについて 3. 手荷物について① 4. 手荷物について② 5. LCC とは 6. LCC について 7. 機内アナウンス 8. 機内アナウンス実践 9. 会社概要 ソラシドエア 10. スペシャルミールについて 11. 国際社会における異文化理解 12. 国際線機内サービスについて 13. ビジネスクラスサービスについて 14. 接客について 15. 1 年を振り返って
使用テキスト ・教材等	<p>授業時に担当者が作成し、その都度配布する資料を使用する。</p> <p>その他必要な資料については都度指示する。</p>
成績評価方法 及び 基準	筆記試験において 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	<p>指示された事柄に関する関係資料の収集と、情報のまとめを作成すること。</p> <p>事前準備と振り返りが必要。</p>
履修に 当たっての 留意点	収集した情報を必ず発表し、質疑応答時には積極的に参加すること。

科目名	エアライン業界研究 (GS) I (前期 15 時間 (45 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	加藤 舞 (実務経験: 株式会社ドリームスカイ名古屋にて7年間グランドスタッフ業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	旅客機運送における空港でのグランドスタッフの業務について詳しく知ってもらう。 航空業界の仕組みや基礎知識を学び、GS業務について理解を深める。 空港アナウンスやチェックインなどロールプレイを通じて身に付け、同時に接客業務に必要な立ち居振る舞い、言葉遣い、マナーを習得する。(講義・実習)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. GS(グランドスタッフ)の仕事・役割について① 2. GSの仕事・役割について② 3. GSに必要な要素① 4. GSに必要な要素② 5. GSとしての身だしなみ・立ち居振る舞い 6. 航空会社のサービス ~航空運賃編~ 7. 航空会社のサービス ~マイレージプログラム編~ 8. 航空会社のサービス ~プライオリティサービス編~ 9. チェックイン業務 ① 出入国書類 (旅券・VISA・出入国カードについて) 10. チェックイン業務 ② 手荷物のルール 11. チェックイン業務 ③ コンフィギュレーション (座席配列について) 12. チェックインにトライ① (ロールプレイ) 13. チェックインにトライ② (ロールプレイ) 14. まとめ 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	ANA グランドスタッフ入門 担当者が作成した資料、パワーポイントを使用
成績評価方法 及び 基準	実技テスト、定期試験の点数を総合評価 100点満点で採点し、60点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	空港へ行く機会や飛行機に乗る機会をできるだけ多く作り、 現場で働く人物や業務をよく観察すること
履修に 当たっての 留意点	空港や航空機を利用してこれまでに見たことや感じたことを整理しておくこと 自分がどのような性格、特徴なのかを日頃から意識し生活すること

科目名	エアライン業界研究 (GS) I (後期 15 時間 (45 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	加藤 舞 (実務経験: 株式会社ドリームスカイ名古屋にて 7 年間グランドスタッフ業務に携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>旅客機運送における空港でのグランドスタッフの業務について詳しく知ってもらう。 航空業界の仕組みや基礎知識を学び、GS 業務について理解を深める。 空港アナウンスやチェックインなどロールプレイを通じて身に付け、同時に接客業務に必要な立ち居振る舞い、言葉遣い、マナーを習得する。(講義・実習)</p> <p>航空会社に就職するために、採用試験について知り、企業研究をすすめる。 入社後のビジョンを明確にし実際に働くことをイメージする。</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 空港・飛行機を利用する前に (フィリピン研修に向けて課題説明) 2. フィリピン研修課題発表 (PR 社搭乗記など) 3. アライアンスについて 4. コードシェアについて 5. 時刻表を読み解く 6. 機内食について 7. 確認テスト 8. 空港アナウンス① 9. 空港アナウンス② 10. アナウンス発表会 (テスト) 11. アナウンス発表会 (テスト) 12. アナウンスフィードバック 13. GS のトレーニング (OJT について) 14. 入社後の生活とキャリア 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	ANA グランドスタッフ入門 担当者が作成した資料、パワーポイントを使用
成績評価方法 及び 基準	実技テスト、定期試験の点数を総合評価 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	空港へ行く機会や飛行機に乗る機会をできるだけ多く作り、 現場で働く人物や業務をよく観察すること
履修に 当たっての 留意点	空港や旅行カウンターへ立ち寄り、航空会社の時刻表 (冊子) を手に入れておくこと

科目名	空港業務概論（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	加藤 舞（実務経験：株式会社ドリームスカイ名古屋にて7年間グランドスタッフ業務に携わる）
学科・学年	国際エアライン科 1年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	航空業界の仕組みを理解する。 旅客機を飛ばすために関わる機関や航空規則について正しい知識を身に付ける。 航空業界ではどのような仕事があり、企業がどのような人材を求めているかを探るとともに、将来客室乗務職やグランドスタッフ業務といった航空業界で働く意欲に結び付ける。 （講義）
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 航空業界を知る 2. 航空業界の仕事の流れ 3. 飛行機を飛ばすために（各部署作業工程図） 4. 航空業界の仕事① 5. 航空業界の仕事② 6. 航空業界の仕事③ 7. 航空業界の仕事④ 8. CIQ（税関・入国審査・検疫）① 9. CIQ（税関・入国審査・検疫）② 10. 旅客運送のプロセス（出発→到着→飛行機が到着するまで）① 11. 旅客運送のプロセス（出発→到着→飛行機が到着するまで）② 12. 飛行機を飛ばすために（各部署作業工程図） 13. 確認テスト 14. まとめ 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	ANA グランドスタッフ入門 担当者が作成した資料、動画、パワーポイントを使用
成績評価方法 及び 基準	確認テスト、課題発表、定期試験の点数を総合評価 100点満点で採点し、60点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	空港へ行く機会や飛行機に乗る機会をできるだけ多く作り、 現場で働く人物や業務をよく観察すること
履修に 当たっての 留意点	日本や世界の地理、都市についてしっかりと予習をしておくこと

科目名	空港業務概論（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	加藤 舞（実務経験：株式会社ドリームスカイ名古屋にて7年間グランドスタッフ業務に携わる）
学科・学年	国際エアライン科 1年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	航空業界の仕組みを理解する。 旅客機を飛ばすために関わる機関や航空規則について正しい知識を身に付ける。 航空業界ではどのような仕事があり、企業がどのような人材を求めているかを探るとともに、卒業後の進路である客室乗務職やグランドスタッフ業務といった航空業界で働く意欲に結び付ける。また、実際に航空業界で使用されている空港コードや都市コードの3レター、2レターを覚え、将来の業務に役立てる。（講義）
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本の空港・都市① 2. 日本の空港・都市② 3. 世界の空港・都市① 4. 世界の空港・都市② 5. 時差について 6. 確認テストⅠ 7. 日本の航空会社 8. 世界の航空会社 9. 確認テストⅡ 10. 航空アルファベット 11. エアライン専門用語 12. IATA と ICAO の役割 13. Tariff Conference Area (TC) について 14. まとめ 15. まとめ
使用テキスト ・教材等	ANA グランドスタッフ入門 担当者が作成した資料、動画、パワーポイントを使用
成績評価方法 及び 基準	確認テスト、課題発表、定期試験の点数を総合評価 100点満点で採点し60点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・空港へ行く機会や飛行機に乗る機会をできるだけ多く作り、現場で働く人物や業務をよく観察すること ・航空会社について研究、下調べをすること
履修に 当たっての 留意点	日本や世界の地理、都市についてしっかりと予習をしておくこと

科目名	中国語 I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	胡 麗君 (実務経験：中国語の個人レッスン 10 年、通訳業務にも長年携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	近年、来日観光・ビジネスする人々が増え続け、中国語は仕事・生活中に必要性が高まりつつある。中国語ピンインの習得、簡単な文型、自己紹介、簡単な航空用語ができるようになるまでのレベルを目指す。 パワーポイントを使用する。中国語を楽しく学んでほしいので、中国で有名な映画や流行的な歌などを利用して授業を進める。毎回、前回の復習を行う。必要に応じて参考資料としてプリントの配布も行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 16. 中国概要、教室用語 17. ピンイン 1 及び声調、発音練習、簡単な日常挨拶言葉 18. 声調練習、聴解練習 19. ピンイン 2、発音練習、簡単な日常挨拶言葉 20. 声調練習、聴解練習 21. ピンイン 3、簡単な挨拶言葉、発音練習 22. 声調練習、聴解練習 23. ピンイン 4、簡単な挨拶言葉、発音練習 24. ピンイン読む力、聴解練習 25. 人称代名詞、諾否 (是, 不是)、一般疑問文 26. 自己紹介文章解読 27. 自己紹介練習、航空用語及び会話練習 28. 中国映画及び中国歌鑑賞 29. 前期復習、聴解練習 30. 前期テスト
使用テキスト ・教材等	ケンタくんの中国語 I 中検準 4 級試験問題
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容・定期テストなどを総合評価。 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日常用語及び航空用語を積極的に調べること。
履修に 当たっての 留意点	授業中積極的に中国語を使って (一言でもいいので) 会話すること。 授業で使用するテキストを見ながら、各自で予習・復習しておくこと。

科目名	中国語 I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	胡 麗君 (実務経験：中国語の個人レッスン 10 年、通訳業務にも長年携わる)
学科・学年	国際エアライン科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	近年、来日観光・ビジネスする人々が増え続け、中国語は仕事・生活中に必要性が高まりつつある。中国語ピンインの習得、簡単な文型、自己紹介、簡単な空港会話ができるようになるまでのレベルを目指す。中国語検定準 4 級を目指す。 パワーポイントを使用する。中国語を楽しく学んでほしいので、中国で有名な映画や流行的な歌などを利用して授業を進める。毎回、前回の復習を行う。必要に応じて参考資料としてプリントの配布も行う。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 指示代詞、連体修飾語を作る”的“、疑問詞疑問文 2. 文章解読、練習問題 3. 聴解練習、空港用語及び会話練習 4. 数字、(大・小) 数字+量詞、文法：有・多少・几 5. 文章解読、練習問題 6. 聴解練習、空港用語及び会話練習 7. 形容詞述語文、反復疑問紋、“呢” 疑問文 8. 文章解読、練習問題 9. 指示代詞、有・在、助動詞：想・要 10. 文章解読、練習問題 11. 日付け・時を表す言葉、名詞述語文、“了・吧” の使い方 12. 文章解読、聴解練習、空港用語 13. 連動文、時間量、前置詞 14. 文章解読・聴解練習 15. 後期テスト
使用テキスト ・教材等	ケンタくんの中国語 中検準 4 級試験問題
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容・定期テストなどを総合評価。 100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	日常会話及び空港用語を積極的に調べること。
履修に 当たっての 留意点	授業中積極的に中国語を使って (一言でもいいので) 会話すること。 授業で使用するテキストを見ながら、各自で予習・復習しておくこと。